

業績目録

業績目録

I 著書 (Book, Book chapter)

欧文著書

1982年

1. Furukawa, T., Yamada, K., Kushiku, K., Ono, N. (分担執筆)
Taurine in Nutrition and Neurology, Plenum Press, 1982.

1992年

2. Kimura, H., Yamada, K., Nakaoda, M., Nagashima, M. (分担執筆)
 α - Adrenoceptors : Signal transduction, ionic channels, and effector organs, 209-212, Excerpta Medica, 1992.

2009年

3. Ikeda, R., Yoshida, K., Inoue, I. (分担執筆)
Roles of PLZF and FAZF in osteoblast differentiation, Focus on Zinc Finger Protein Research, 293-301, 2009.

和文著書

1980年

1. 池田 良雄、植木 昭和、大森 義二、山田 勝士 (分担執筆)
Andres Goth 薬理学 第9版上、廣川書店、1980.
2. 池田 良雄、植木 昭和、大森 義二、山田 勝士 (分担執筆)
Andres Goth 薬理学 第9版下、廣川書店、1980.

1987年

3. 古川 達雄、山田 勝士 (分担執筆)
医薬品有害作用の予測、177-186、R&D プランニング、1987.

1996年

4. 山田 勝士 (分担執筆)
疾患と今日の処方、133-144、225-244、331-338、医歯薬出版、1996.

1997年

5. 下堂 権洋 (分担執筆)
医薬品情報システムと薬歴管理、医療情報学 第2巻、日本医療情報学会、158-163、1997.

1998年

6. 下堂 権洋、下園 拓郎、山田 勝士
DI業務の変遷とインターネットへの展開、医学書院、1998.
7. 本屋 敏郎、山田 勝士 (分担執筆)
薬効別医薬品の適正使用指針、98、36-42、医薬ジャーナル社、1998.
8. 宮田 健、本屋 敏郎、山田 勝士 (分担執筆)
薬物治療学、36-46、朝倉書店、1998.

1999年

9. 下堂 権洋 (分担執筆)
科学的薬物療法と患者本位の医療をめざして：「薬物療法の評価～そのためには～学の立場から」、薬事日報社、114-121、1999.

-
10. 中村 和男、山田 勝士 (分担執筆)
診断・治療の進歩と新しい薬剤、446-452、医薬ジャーナル社、1999.
 11. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
病気と薬の説明ガイド 1999 パーキンソン病、パーキンソン症候群治療薬と患者への説明
薬局、50、50-61、南山堂、1999.

2000年

12. 山田 勝士、本屋 敏郎、下堂 権洋 (分担執筆)
実践医療薬学、250-258、じほう、2000.

2001年

13. 下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
薬の辞典、609-624、朝倉書店、2001.
14. 野田 陽子、下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
エクセルナース薬シリーズ 脳神経編、116-125、メディカルレビュー社、2001.
15. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
病気と薬の説明ガイド 2001 高尿酸血症・痛風治療薬と患者への説明
薬局別冊、52、988-1000、南山堂、2001.

2002年

16. 下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
薬効別医薬品の適正使用指針、33-59、医薬ジャーナル社、2002.
17. 下堂 権洋 (分担執筆)
薬剤師の臨床業務における情報活用法 「医薬品の評価」、エルゼビア・サイエンス ミクス、30-35、2002.
18. 山田 勝士 (分担執筆)
カッシング薬理学 (原著8版)、36-50、51-63、527-548、549-564、丸善株式会社、2002.
19. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
病気と薬の説明ガイド 2002 消化性潰瘍治療薬と患者への説明
薬局別冊、53、843-871、南山堂、2002.

2003年

20. 下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
医学大辞典、医学書院、2003.
21. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
病気と薬の説明ガイド 2003 虚血性心疾患治療薬 (狭心症・心筋梗塞) と患者への説明
薬局、54、629-658、南山堂、2003.

2004年

22. 武田 泰生、山田 勝士 (分担執筆)
イラストレイテッド薬理学「中枢神経系作用薬」、101-111、133-141、142-148、丸善株式会社、2004.
23. 山田 勝士、屋地 慶子、新川 輝俊、下園 拓郎、有馬 純子 (分担執筆)
疾患と今日の処方、43-96、275-302、363-389、447-485、医歯薬出版、2004.
24. 下園 拓郎、松元 一明、山田 勝士 (分担執筆)
病気と薬の説明ガイド2004 「糖尿病治療薬と患者への説明」、薬局別冊、55、1171-1203、南山堂、2004.

2005年

25. 有馬 純子、柴山 良彦、大磯 茂、松元 一明、武田 泰生、山田 勝士 (分担執筆)
カッシング薬理学 (原著9版)、35-49、50-62、506-527、528-542、丸善株式会社、2005.
26. 松元 一明、仮屋 権博子、山田 勝士 (分担執筆)
病気と薬の説明ガイド2005 「過敏性腸症候群と患者への説明」、薬局別冊、56、1026-11042、南山堂、2005.
27. 下堂 権洋、松元 一明 (分担執筆)
医薬品卸からの情報収集、医薬品情報学、45-55、南山堂、2005.
28. 下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
スタンダード薬学シリーズ 薬と疾病Ⅲ、薬物治療 (2) および薬物治療に役立つ情報、228-233、東京化学同人、2005.

2006年

29. 宮田 篤郎、牛山 美奈、菅原 英輝 (分担執筆)

多機能神経ペプチド PACAP 受容体の構造と機能の多様性、内分泌・糖尿病科、特集「GPCR 研究の最前線」、421-428、2006.

30. 松元 一明、下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
病気と薬の説明ガイド2006 「抗不整脈薬」、薬局別冊、57、1570-1588、南山堂、2006.
31. 下園 拓郎、山田 勝士
よむ薬きく薬、南日本新聞社、2006.
32. 下園 拓郎、山田 勝士 (分担執筆)
医学大辞典 第19版、南山堂、2006.

2007年

33. 松元 一明、有馬 純子、山田 勝士 (分担執筆)
病気と薬の説明ガイド2007 「抗悪性腫瘍薬」、薬局別冊、58、1792-1810、南山堂、2007.

2008年

34. 有馬 純子、牛之濱 風見、牛山 美奈、池田 龍二、茂見 茜里、柴山 良彦、菅原 英輝、藤崎 裕子、屋地 慶子、松元 一明、武田 泰生、山田 勝士 (分担執筆)
病気と薬パーフェクト BOOK 2008、1000-1001、1005、1008、1012-1013、1019-1021、1024-1025、1034-1036、1040-1041、1044-1045、1051-1052、1058、南山堂、2008.
35. 園田 純一郎、山田 勝士、本屋 敏郎 (分担執筆)
Pharmacotherapy (改訂版)、447-449、460-462、ネオメディカル、2008.
36. 山田 勝士 (分担執筆)
薬剤師生涯研修ガイド - プロフェッショナル薬剤師になろう -、薬ゼミ情報教育センター、2008.

2009年

37. 河内 明夫、柴田 由香里、本屋 敏郎 (分担執筆)
今日の OTC 薬 (小児に対する OTC 薬の選択)、386-393、南江堂、2009.
38. 有馬 純子、柴山 良彦、松元 一明、武田 泰生、山田 勝士 (分担執筆)
カッシング薬理学 原書10版、36-64、493-527、丸善株式会社、2009.
39. 下堂 蘭 権洋、松元 一明 (分担執筆)
医薬品卸からの情報収集、医薬品情報学 改訂2版、52-63、南山堂、2009.

II 総説論文 (Review article)

欧文総説

2002年

1. Furukawa, T., Ikeda, R., Haraguchi, M., Akiyama, S.
Thymidine phosphorylase, a new molecular target for anti-cancer therapy.
Current Topics in Biochemical Research, 4: 90-95, 2002.

2006年

2. Inoue, I., Ikeda, R., Tsukahara, S.
Current topics in pharmacological research on bone metabolism: promyelotic leukemia zinc finger (PLZF) and tumor necrosis factor-alpha-stimulated gene 6 (TSG-6) identified by gene expression analysis play roles in the pathogenesis of ossification of the posterior longitudinal ligament.
J. Pharmacol. Sci., 100: 205-210, 2006.

2008年

3. Furukawa, T., Komatsu, M., Ikeda, R., Tsujikawa, K., Akiyama, S.
Copper transport systems are involved in multidrug resistance and drug transport.
Curr. Med. Chem., 15: 3268-78, 2008.

和文総説

1973年

1. 山田 勝士、小川 暢也、植木 昭和
学習分離効果 (dissociation of learning) について
ファルマシア、9、838-843、1973.

1975年

2. 武元 和博、福田 健夫、末永 典子、山田 勝士、瀧下 修一
6-hydroxydopamine を幼若時に脳室内に投与したラットのストレス潰瘍
医学のあゆみ、95、17-18、1975.

1980年

3. 山田 勝士
鎮痛薬の作用機序—モルヒネおよびモルヒネ様ペプチドによる鎮痛機序
福岡大学医学紀要、7、377-386、1980.

1984年

4. 山田 勝士、古川 達雄
抗ドパミン剤の作用機序
日本臨牀、42、40-46、1984.

1986年

5. 山田 勝士、古川 達雄
TRH, LH-RH
日本臨牀、44、382-383、1986.
6. 山田 勝士、古川 達雄
甲状腺ホルモン
日本臨牀、44、389-390、1986.
7. 山田 勝士、古川 達雄
抗甲状腺薬
日本臨牀、44、391-392、1986.

1992年

8. 山田 勝士
あくび行動の発現機構と中枢神経作用の薬効評価
九州実験動物雑誌、8、29-36、1992.

1994年

9. 本屋 敏郎、山田 勝士
鉄欠乏性貧血治療薬の生体内動態
薬局、45、1277-1281、1994.
10. 本屋 敏郎、山口 辰哉、山田 勝士
医薬分業の実際 あなたは処方せんを読めますか・処方解析
ファルマシア、30、378-381、1994.
11. 下堂 権洋
第13回医療情報学連合大会レポート：薬剤情報システム1
月刊薬事、36、661-662、1994.
12. 熊之細 透、夏越 祥次、徳田 和信、島田 麻里緒、相良 光久、新川 輝俊、中村 和男、山田 勝士、
福崎 裕延、愛甲 孝
Bleomycin・ポリ乳酸固形剤の薬剤徐放性と抗腫瘍効果
癌と化学療法、21、2248-2250、1994.

1995年

13. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
免疫調節薬の生体内動態
薬局、46、33-39、1995.

-
14. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
プロトンポンプ阻害薬と他剤との薬物相互作用
薬局、46、43-49、1995.
 15. 中村 和男、仮屋 博子、山田 勝士
食事と薬の相互関係：抗血栓薬と食事
臨床と薬物治療、14、933-935、1995.
 16. 下園 拓郎、若松 弘文、本屋 敏郎、山田 勝士
外来患者の医薬分業に対する意識変化調査
医薬ジャーナル、31、91-95、1995.
 17. 下園 拓郎、下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学医学部附属病院における抗生物質の使用状況
化学療法の領域、11、83-94、1995.
 18. 平川 亘、門田 紘輝、朝倉 哲彦、横山 俊一、寺田 耕作、春園 明宏、平野 宏文、八代 一孝、
窪田 優子、下堂 権洋
Methotrexate 封入 Fibrin Glue による悪性脳腫瘍に対する局所化学療法
癌と化学療法、22、805-809、1995.
 19. 永島 真理子、藤川 麻衣子、山田 勝士、古川 達雄
あくび行動に関与する神経性ペプチドおよびムスカリン受容体サブタイプについて
Neurosciences、21、153-156、1995.

1996年

20. 徳田 和信、夏越 祥次、島田 麻里緒、熊之細 透、吉澤 秀和、上村 芳三、幡手 泰雄、中村 和男、
山田 勝士、愛甲 孝
ポリ乳酸固形剤の局所化学療法に関する基礎的検討
癌と化学療法、23、1516-1518、1996.
21. 中村 和男、豊平 均、仮屋 博子、山田 勝士、森山 由紀則、平 明
人工弁置換術後早期におけるプロトンポンプフラグメント1+2測定の有用性
医学と薬学、35、839-845、1996.
22. 下堂 権洋
第15回医療情報学連合大会レポート：注射オーダリング関連システム2
月刊薬事、38、1612-1613、1996.

1997年

23. 仮屋 博子、中村 和男、山田 勝士
院内製剤の品質試験と評価
月刊薬事、39、1141-1145、1997.
24. 下園 拓郎、新川 輝俊、本屋 敏郎、山田 勝士
軟膏剤混合調剤の実態について
医薬ジャーナル、33、137-142、1997.
25. 中村 和男、田中 紘輝、豊平 均、仮屋 博子、浜田 信男、門野 潤、森山 由紀則、山田 勝士、
平 明
外科手術後の栄養状態の評価— Rapid turnover protein を中心に—
医学と薬学、38、335-342、1997.
26. 下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士
すべての患者への情報提供をめざして
月刊薬事、39、1821-1825、1997.
27. 下堂 権洋
意志の疎通
薬事新報、1941、3、1997.

1998年

28. 山口 辰哉、本屋 敏郎、山田 勝士
塩基性 NSAID とアスピリン喘息
喘息 (春季)、11、45-48、1998.
29. 下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、熊本 一朗
薬剤の適正使用を目指して—薬歴データベースの構築から薬剤疫学への応用—
医療情報学、18、115-123、1998.
30. 下堂 権洋

第16回医療情報学連合大会レポート
月刊薬事、40、1612-1613、1998.

31. 下堂 蘭 権洋
第17回医療情報学連合大会レポート：処方オーダーリングシステム
月刊薬事、40、1652-1653、1998.

1999年

32. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
利尿薬
薬局、50、1647-1655、1999.
33. 柴山 良彦、下堂 蘭 権洋、大磯 茂、本屋 敏郎、山田 勝士
インターネットと副作用情報
総合臨床、48、1445-1448、1999.
34. 有馬 純子、本屋 敏郎、山田 勝士、福田 健夫
薬物動態と TDM
臨牀透析、15、1641-1648、1999.
35. 下園 拓郎、川原 陽子、大磯 茂、本屋 敏郎、山田 勝士
医薬品情報の薬剤使用動向に及ぼす影響
医薬ジャーナル、35、152-157、1999.

2000年

36. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
生活習慣病クリニカルガイド 高血圧症治療薬
薬局、51、461-497、2000.
37. 下園 拓郎、下堂 蘭 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学医学部附属病院における抗癌剤の使用状況
化学療法の領域、16、824-837、2000.
38. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学医学部附属病院における医薬品の使用動向について
医薬ジャーナル、36、1419-1423、2000.

2001年

39. 中村 和男、仮屋 蘭 博子、前原 珠代、山田 勝士、浜田 信男、石崎 直樹、中村 登、坂田 隆造
癌患者における腫瘍マーカーと栄養状態との関連性
静脈経腸栄養、16、53-60、2001.
40. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
新薬展望 2001 消化器系用薬
医薬ジャーナル、37、191-199、2001.
41. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
外来患者への外用剤・注射剤の服薬指導 点耳剤
薬局、52、1385-1395、2001.
42. 山口 辰哉、大磯 茂、野田 陽子、山田 勝士
糖尿病を合併する高血圧症患者への指導
薬局、52、2381-2389、2001.

2002年

43. 屋地 慶子、下堂 蘭 権洋、山田 勝士
リハビリテーション科における服薬指導－血圧コントロールに対する認識の改善について－
Pharmacy Today、15、2-6、2002.
44. 岩下 佳敬、佐多 照正、中尾 承司、本田 香奈恵、山下 カオリ、石田 和久、田辺 元、本屋 敏郎、
山田 勝士
手術前に服用中止を考慮すべき薬剤一覧表」の作成とその評価－抗凝固薬（抗血小板薬を含む）を中心に－
医薬ジャーナル、38、1344-1349、2002.
45. 大磯 茂
セレン欠乏は腫瘍形成に関与する遺伝子転写を変化させる
ファルマシア、890-891、2002.

2003年

46. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
抗生物質と薬物療法（セフェム系抗生物質）
薬局、54、1441-1457、2003.
47. 下堂 権洋、山田 勝士
新規医薬品採用における薬剤師の役割
薬局、54、31-35、2003.
48. 下堂 権洋
薬剤師養成制度とその問題点 ～病院としての立場から～
日本病院薬剤師会雑誌、39、1415-1417、2003.

2004年

49. 宮田 篤郎、菅原 英輝、岩田 慎一、清水 隆雄、寒川 賢治
PACAP 遺伝子の神経特異的発現調節機序
日本薬理学会雑誌、123、235-242、2004.
50. 岩下 佳敬、佐多 照正、石田 和久、中尾 承司、西田 香奈恵、山下 カオリ、新井田 香、多賀 真弓、
尻無濱 岸子、田辺 元、本屋 敏郎、柴山 良彦、山田 勝士
外来化学療法への薬剤師の参加と役割
薬事新報、2337、1007-1022、2004.
51. 屋地 慶子、下堂 権洋、新川 輝俊、下園 拓郎、山田 勝士
長期投与における処方監査の注意点・留意点
薬局、55、2486-2491、2004.
52. 下堂 権洋、山田 勝士
医薬分業と21世紀の処方せんのあり方
薬局、55、2917-2922、2004.

2005年

53. 屋地 慶子、下堂 権洋、山田 勝士
処方せんの疑義照会とキャンセル内容の解析
Pharmacy Today、18、19-23、2005.
54. 原口 みさ子、中島 融一、池田 龍二、古川 龍彦、住澤 知之、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼ
がん分子標的治療、3、108-115、2005.
55. 茂見 茜里、下堂 権洋、仮屋 博子、中村 和男、山田 勝士
医療安全と薬剤師の役割、薬剤管理指導（服薬指導）
薬局、56、3073-3080、2005.

2006年

56. 菅原 英輝
PACAP 遺伝子の神経特異的発現調節機序の解析
薬剤学、若手研究者紹介、66、420-424、2006.

2007年

57. 松元 一明、大磯 茂、山田 勝士
カテーテル敗血症に対する抗菌薬の選び方・使い方
薬局、58、2083-2089、2007.
58. 松元 一明、大磯 茂、山田 勝士
抗真菌薬
月刊薬事、49、1329-1337、2007.
59. 池田 龍二
抗がん剤で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
薬学雑誌、127、1097-1102、2007.
60. 池田 龍二、吉田 健一、井ノ上 逸朗
骨芽細胞分化における PLZF の機能的関与
生体の科学、58、152-157、2007.

2008年

61. 松元 一明、下堂 権洋、山田 勝士

神経症の薬物療法と精神科専門薬剤師の役割
医薬ジャーナル、44、111-118、2008.

62. 松元 一明、武田 泰生、山田 勝士
学会発表・論文執筆のコツ
月刊薬事、9月臨時増刊号、50、1627-1633、2008.
63. 本屋 敏郎、河内 明夫、柴田 由香里
保険薬局薬剤業務に主眼をおいた臨床薬学教育との取り組み
日本病院薬剤師会雑誌、44、711-714、2008.

2009年

64. 松元 一明、山田 勝士
PK-PD 情報で副作用のマネジメントをする
薬局、60、126-132、2009.
65. 下堂 蘭 権洋
薬剤師のモラルディレンマと倫理教育の重要性
薬学雑誌、129、783-784、2009.

2010年

66. 菅原 英輝、牛之濱 風見、山田 勝士
がん疼痛コントロールと薬学的管理—ジェネラリストからスペシャリストへ—、患者状態にあわせた剤形を選択する
薬局、61、108-113、2010.

Ⅲ 原著論文 (Original article)

欧文論文

1970年

1. Furukawa, T., Yamada, K., Kushiku, K.
Reversal of dopamine pressor action after ephedrine tachyphylaxis.
Arch. int. Pharmacodyn., 186:298-309, 1970.

1977年

2. Suenaga, N., Yamada, K., Fukuda, T.
Correlation between central catecholamine level and post-decapitation convulsion in rats treated with 6-hydroxydopamine.
Brain Res., 122:165-169, 1977.
3. Fukuda, T., Yamada, K., Suenaga, N., Takishita, S.
Changes in spontaneous activity and emotional responses of rats treated with 6-hydroxydopamine at the suckling age.
Arch. int. Pharmacodyn., 230:100-111, 1977.

1979年

4. Yamada, K., Furukawa, T.
Serotonergic function in mouse head twitches induced by lithium and reserpine.
Psychopharmacology, 61:255-260, 1979.
5. Furukawa, T., Yamada, K., Kohno, Y., Nagasaki, N.
Brain serotonin metabolism with relation to the head twitches elicited by lithium in combination with reserpine in mice.
Pharmacol. Biochem. Behav., 10:547-549, 1979.

1980年

6. Yamada, K., Furukawa, T.
Direct evidence for involvement of dopaminergic inhibition and cholinergic activation in yawning.
Psychopharmacology, 67:39-43, 1980.

-
7. Yamada, K., Furukawa, T.
Dopaminergic inhibition involved in the α -naphthoxyacetic acid-induced jumping behavior in mice.
Eur. J. Pharmacol., 63:321-326, 1980.
 8. Furukawa, T., Yamada, K.
The α -naphthoxyacetic acid-elicited retching involves dopaminergic inhibition in mice.
Pharmacol. Biochem. Behav., 12:735-738, 1980.
 9. Ushijima, I., Yamada, K., Furukawa, T., Noda, Y., Todoroki, M., Inanaga, K.
Biphasic effects of thyrotropin-releasing hormone on exploratory behavior in mice.
Arch. int. Pharmacodyn., 247:257-263, 1980.
 10. Yamada, K., Furukawa, T.
Behavior of rats and mice administered active metabolites of fluphenazine, 7-hydroxy-fluphenazine and fluphenazine-sulfoxide.
Arch. int. Pharmacodyn., 248:76-85, 1980.

1981年

11. Yamada, K., Furukawa, T.
The yawning elicited by α -melanocyte stimulating hormone involves serotonergic- dopaminergic- cholinergic neuron link in rats.
Naunyn-Schmiedeberg's Arch. Pharmacol., 316:155-160, 1981.
12. Yamada, K., Furukawa, T.
Barrel rotation induced by vasopressin and involvement of dopaminergic and cholinergic function in rats.
Arch. int. Pharmacodyn., 251:88-94, 1981.

1982年

13. Ushijima, I., Yamada, K., Noda, Y., Furukawa, T.
Jumping behavior induced by thyrotropin releasing hormone in combination with apomorphine in mice.
Psychopharmacology, 76:1-4, 1982.
14. Yamada, K., Furukawa, T.
Catalepsy produced by long-acting neuroleptics, fluphenazine enanthate and fluphenazine decanoate, in mice.
Pharmacology, 24:147-155, 1982.
15. Ushijima, I., Yamada, K., Furukawa, T.
Lithium in combination with haloperidol or thyrotropin-releasing hormone induces jumping in mice.
Psychopharmacology, 76:136-138, 1982.
16. Yamada, K., Demarest, K.T., Moore, K.E.
Lack of effect of a behaviorally active dose of α -melanotropin on biochemical indices of dopaminergic neuronal activity in the rat.
J. Neural Trans., 55:189-199, 1982.

1983年

17. Yamada, K., Matsuki, J., Furukawa, T.
Wet-dog body shaking induced by electrical stimulation of hippocampus in the intact and reserpinized rat.
Res. Commun. Pathol. Chem. Pharmacol., 39:29-37, 1983.
18. Yamada, K., Matsuki, J., Ushijima, I., Inoue, T., Furukawa, T.
Behavioral studies of shaking behavior induced by thyrotropin-releasing hormone and morphine withdrawal in rats.
Arch. int. Pharmacodyn., 262:24-33, 1983.

1984年

19. Furukawa, T., Matsuki, J., Yamada, K.
Central effects of brovincamine, a potential cerebral vasodilator.
Med. Bull. Fukuoka Univ., 11:19-24, 1984.
20. Ushijima, I., Yamada, K., Furukawa, T.
Acute and long-term effects of thyrotropin releasing hormone on behavior mediated by dopaminergic and cholinergic activities in mice.
Psychopharmacology, 82:301-305, 1984.
21. Yamada, K., Demarest, K.T., Moore, K.E.
Effects of behaviorally active doses of thyrotropin-releasing hormone and its analog MK-771 on

dopaminergic neuronal systems in the brain of the rat.
Neuropharmacology, 23:735-739, 1984.

22. Ushijima, I., Yamada, K., Noda, Y., Furukawa, T.
Progressive augmentation of locomotor activity in mice by long-term treatment with thyrotropin releasing hormone.
Arch. int. Pharmacodyn., 270:29-37, 1984.
23. Ushijima, I., Yamada, K., Inoue, T., Tokunaga, T., Furukawa, T.
Muscarinic and nicotinic effects on yawning and tongue protruding in the rat.
Pharmacol. Biochem. Behav., 21:297-300, 1984.
24. Ushijima, I., Yamada, K., Noda, Y., Furukawa, T.
High doses of clonidine elicit jumping behavior in the mouse.
Res. Commun. Chem. Pathol. Pharmacol., 45:367-377, 1984.

1985年

25. Yamada, K., Inoue, T., Tanaka, M., Furukawa, T.
Prolongation of latencies for passive avoidance responses in rats treated with aniracetam or piracetam.
Pharmacol. Biochem. Behav., 22:645-648, 1985.
26. Ushijima, I., Mizaki, Y., Imaizumi, J., Yamada, M., Noda, Y., Yamada, K., Furukawa, T.
Characteristics of yawning behavior induced by apomorphine, physostigmine and pilocarpine.
Arch. int. Pharmacodyn., 273:196-201, 1985.
27. Takano, Y., Takeda, Y., Yamada, K., Kamiya, H.
Substance K, a novel tachykinin injected bilaterally into the ventral tegmental area of rats increases behavioral.
Life Sci., 37:2507-2514, 1985.

1986年

28. Yamada, K., Matsuo, N., Matsuda, T., Tanaka, M., Furukawa, T., Koja, T., Fukuda, T.
Effects of new neuroleptics, isofloxythepin and zotepine, on post-decapitation convulsions and prolactin secretion in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 24:1445-1449, 1986.
29. Ushijima, I., Yamada, K., Furukawa, T.
Behavioral effects of lithium on presynaptic sites of catecholaminergic neurons in the mouse.
Arch. int. Pharmacodyn., 282:58-67, 1986.
30. Yamada, K., Tanaka, M., Shibata, K., Furukawa, T.
Involvement of septal and striatal dopamine D-2 receptors in yawning behavior in rats.
Psychopharmacology, 90:9-13, 1986.

1987年

31. Shibata, K., Yamada, K., Furukawa, T.
Possible neuronal mechanisms involved in the neurotensin-induced catalepsy in mice.
Psychopharmacology, 91:288-292, 1987.
32. Tateishi, N., Takano, Y., Honda, K., Yamada, K., Kamiya, Y., Kamiya, H.
Effects of intrahippocampal injections of the cholinergic neurotoxin AF64A on presynaptic cholinergic markers and on passive avoidance response in the rat.
Clin. Exp. Pharmacol. Physiol., 14:611-618, 1987.

1988年

33. Matsuo, N., Yamada, K., Kumagai, M., Nagashima, M., Matsumoto, S., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Effects of minaprine, a novel antidepressant, on prolactin secretion in the rat.
J. Pharm. Pharmacol., 40:66-68, 1988.
34. Abe, M., Tokunaga, T., Yamada, K., Furukawa, T.
 γ -Aminobutyric acid and taurine antagonize the central effects of angiotensin and renin on the intake of water and salt, and on blood pressure in rats.
Neuropharmacology, 27:309-318, 1988.
35. Yamada, K., Matsuo, N., Kumagai, M., Nagashima, M., Nojima, H., Hashizume, N., Oguro, K., Fukuda, T., Furukawa, T.
Inhibition of post-decapitation convulsions in the rat by dibenzothiepin neuroleptics via α 1-adrenoceptor blockade.

-
- Eur. J. Pharmacol., 148:205-212, 1988.
36. Kumagai, M., Yamada, K., Matsuo, N., Furukawa, T.
Inhibition via muscarinic M-1 receptor stimulation of the TRH-induced prolactin release in estrogen-primed rats.
Arch.int. Pharmacodyn., 293:236-244, 1988.
37. Matsuo, N., Yamada, K., Matsumoto, S., Domae, M., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Effects of isofloxythepin enantiomers on prolactin secretion and post decapitation convulsions in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 30:1081-1083, 1988.

1989年

38. Yamada, K., Kumagai, M., Nagashima, M., Matsuo, N., Furukawa, T.
Effects of thyrotropin-releasing hormone analogues on body shaking and prolactin levels in estrogen-primed and nonprimed rats.
Arch. int. Pharmacodyn., 297:235-246, 1989.
39. Matsumoto, S., Yamada, K., Nagashima, M., Matsuo, N., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Potentiation by serotonergic inhibition of yawning induced by dopamine receptor agonists in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 32:815-818, 1989.
40. Yamada, K., Matsuo, N., Nagashima, M., Kumagai, M., Furukawa, T.
Dopamine receptor blocking action of a dibenzothiepin derivative isofloxythepin in rats.
Clin. Exp. Pharmacol. Physiol., 16:109-116, 1989.
41. Matsumoto, S., Yamada, K., Nagashima, M., Domae, M., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Occurrence of yawning and decrease of prolactin levels via stimulation of dopamine D2-receptors after administration of SND 919 in rats.
Naunyn-Schmiedeberg's Arch. Pharmacol., 340:21-25, 1989.
42. Yamada, K., Matsumoto, S., Nagashima, M., Kumagai, M., Kimura, H., Furukawa, T.
Involvement of central β -adrenoceptors in the regulation of yawning responses.
Naunyn-Schmiedeberg's Arch. Pharmacol., 340:26-30, 1989.

1990年

43. Yamada, K., Matsumoto, S., Nagashima, M., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Potentiation of yawning responses to the dopamine receptor agonists B-HT 920 and SND 919 by pindolol in the rat.
J. Neural Trans., 79:19-24, 1990.
44. Yamada, K., Nagashima, M., Kimura, H., Matsumoto, S., Furukawa, T.
Possible involvement of differing classes of dopamine D-2 receptors in yawning and stereotypy in rats.
Psychopharmacology, 100:141-144, 1990.
45. Domae, M., Yamada, K., Hanabusa, Y., Matsumoto, S., Furukawa, T.
Decrease of prolactin secretion via stimulation of pituitary dopamine D-2 receptors after application of talipexole and SND 919.
Eur. J. Pharmacol., 179:75-82, 1990.

1992年

46. Domae, M., Yamada, K., Hanabusa, Y., Furukawa, T.
Inhibitory effects of endothelin-1 and endothelin-3 on prolactin release: possible involvement of endogenous endothelin isopeptides in the rat anterior pituitary.
Life Sci., 50:715-722, 1992.
47. Kimura, H., Yamada, K., Nagashima, M., Matsumoto, S., Ishii, Y., Yoshida, S., Fujii, K., Furukawa, T.
Role of adrenergic neuronal activity in the yawning induced by tacrine and NIK-247 in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 43:985-991, 1992.
48. Nagashima, M., Yamada, K., Kimura, H., Matsumoto, S., Furukawa, T.
Hyperthermia induced by the dopamine D1 receptor agonist SK&F38393 in combination with the dopamine D2 receptor agonist talipexole in the rat.
Pharmacol. Biochem. Behav., 43:993-997, 1992.

1994年

49. Domae, M., Yamada, K., Inoue, T., Satoh, M., Furukawa, T.
Endothelins stimulate cyclic AMP accumulation in the isolated rat anterior pituitary gland: Possible involvement of ETA receptor activation and prostaglandin E2 production.

-
- J. Pharmacol. Exp. Ther., 270:55-60, 1994.
50. Kumanohoso, T., Natsugoe, S., Shimada, M., Aikou, T., Nakamura, K., Yamada, K., Fukuzaki, H.
In vivo activity of bleomycin incorporated with biodegradable poly-D, L-lactic acid and implanted in the mediastinum of dogs.
J. Surg. Oncol., 57:178-182, 1994.

1995年

51. Nakamura, K., Natsugoe, S., Kumanohoso, T., Aikou, T., Shinkawa, T., Yamada, K., Fukuzaki, H.
Controlled release of poly-D, L-lactic acid containing bleomycin.
Anti-Cancer Drug, 6:483-487, 1995.
52. Natsugoe, S., Shimada, M., Kumanohoso, T., Tokuda, K., Baba, M., Yoshinaka, H., Fukumoto, Y., Nakamura, K., Yamada, K., Nakashima, T., Aikou, T.
Enhanced efficacy of bleomycin adsorbed on silica particles against lymph node metastasis in patients with esophageal cancer: a pilot study.
Surgery, 117:636-641, 1995.
53. Fujikawa, M., Yamada, K., Nagashima, M., Furukawa, T.
Involvement of β -adrenoceptors in regulation of the yawning induced by neuropeptides, oxytocin and α -melanocyte-stimulating hormone, in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 50:339-343, 1995.
54. Kurashima, M., Yamada, K., Nagashima, M., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Effects of putative dopamine D3 receptor agonists, 7-OH-DPAT, and quinpirole, on yawning, stereotypy, and body temperature in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 52:503-508, 1995.

1996年

55. Kurashima, M., Domae, M., Inoue, T., Nagashima, M., Yamada, K., Shirakawa, K., Furukawa, T.
Inhibitory effects of putative dopamine D3 receptor agonists, 7-OH-DPAT and quinpirole, on prolactin secretion in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 53:379-383, 1996.
56. Inoue, T., Domae, M., Yamada, K., Furukawa, T.
Effects of the novel antipsychotic agent 7-[4-[4-(2,3-dichlorophenyl)-1-piperazinyl]butyloxy]-3, 4-dihydro-2(1H)-quinolinone (opc-14597) on prolactin release from the rat anterior pituitary gland.
J. Pharmacol. Exp. Ther., 277:137-143, 1996.
57. Fujikawa, M., Nagashima, M., Inoue, T., Yamada, K., Furukawa, T.
Partial agonistic effects of OPC-14597, a potential antipsychotic agent, on yawning behavior in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 53:903-909, 1996.
58. Nakamura, K., Natsugoe, S., Kumanohoso, T., Shinkawa, T., Kariyazono, H., Yamada, K., Baba, M., Yoshinaka, H., Fukumoto, T., Aikou, T.
Prophylactic action of allopurinol against chemotherapy-induced stomatitis inhibition of superoxide dismutase and proteases.
Anti-Cancer Drug, 7: 235-239, 1996.
59. Kimura, H., Yamada, K., Nagashima, M., Furukawa, T.
Involvement of catecholamine receptor activities in modulating the incidence of yawning in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 53:1017-1021, 1996.
60. Fujikawa, M., Yamada, K., Nagashima, M., Domae, M., Furukawa, T.
The new muscarinic M1-receptor agonist YM796 evokes yawning and increases oxytocin secretion from the posterior pituitary gland in rats.
Pharmacol. Biochem. Behav., 55:55-60, 1996.

1997年

61. Nakamura, K., Toyohira, H., Kariyazono, H., Yamada, K., Moriyama, Y., Taira, A.
Relationship between changes in F1+2 and TAT levels and blood coagulation early after prosthetic replacement.
Thromb. Res., 86: 161-171, 1997.
62. Kariyazono, H., Nakamura, K., Shinkawa, T., Moriyama, Y., Toyohira, H., Taira, A., Yamada, K.
Inhibitory effects of antibiotics on platelet aggregation in vitro.
Hum. Exp. Toxicol., 16:662-666, 1997.
63. Motoya, T., Shimozono, T., Yamaguchi, T., Shinkawa, T., Nakamura, K., Shimodozono, Y., Wakamatsu, H.,

Yamada, K.

Effects of Milk and Aluminium Hydroxide on the Absorption of Norfloxacin, Ciprofloxacin and Tosufloxacin in Healthy Volunteers.

J. Appl. Ther., 1: 213-217, 1997.

64. Natsugoe, S., Kumasohono, T., Tokuda, K., Shimada, M., Mueller, J., Nakamura, K., Yamada, K., Aikou, T.
Controlled release of cisplatin incorporated into biodegradable poly-d, l-lactic acid.
Anticancer Res., 17:1957-1960, 1997.

1998年

65. Moriyama, Y., Nakamura, K., Kariyazono, H., Toyohira, H., Taira, A.
Influence of low-intensity anticoagulation and low-dose antiplatelet agent on coagulation-fibrinolysis system after mechanical valve replacement.
J. Thoac. Cardiovas. Surg., 115:952-954, 1998.
66. Kawachi, A., Motoya, T., Miyashita, M., Shimodozono, Y., Yamada, K.
Different effects of nonsteroidal anti-inflammatory drugs on the protein binding of warfarin and its enantiomers.
J. Appl. Ther. Res., 2:101-108, 1998.
67. Kawachi, A., Motoya, T., Miyashita, M., Yamada, K.
The angiotensin AT1 receptor antagonist, losartan, induces barrel rotation in rat.
Eur. J. Pharmacol., 363:103-106, 1998.
68. Gohshi, A., Honda, K., Tominaga, K., Takano, Y., Motoya, T., Yamada, K., Kamiya, H.
Changes in adrenocorticotrophic hormone (ACTH) release from the cultured anterior pituitary cells of streptozotocin-induced diabetic rats.
Biol. Pharm. Bull., 21:795-799, 1998.
69. Kouda, K., Natsugoe, S., Shimada, M., Kumanohoso, T., Baba, M., Takao, S., Nakamura, K., Yamada, K., Yoshizawa, H., Hatate, Y., Aikou, T.
Design and testing of a new cisplatin form using a base material by combining poly-d, l-lactic acid and polyethylene glycol acid against peritoneal metastasis.
Int. J. cancer., 76:709-712, 1998.

1999年

70. Nakamura, K., Moriyama, Y., Kariyazono, H., Hamada, N., Toyohira, H., Taira, A., Yamada, K.
Influence of preoperative nutritional state on inflammatory response after surgery.
Nutrition, 15:834-841, 1999.
71. Nakamura, K., Kariyazono, H., Shinkawa, T., Yamaguchi, T., Yamashita, T., Ayukawa, O., Moriyama, Y., Yotsumoto, G., Toyohira, H., Taira, A., Yamada, K.
Inhibitory effects of H2-receptor antagonists on platelet function in vitro.
Hum. Exp. Toxicol., 18:487-492, 1999.
72. Nakamura, K., Kariyazono, H., Moriyama, Y., Toyohira, H., Kubo, H., Yotsumoto, G., Taira, A., Yamada, K.
Effects of sarpogrelate hydrochloride on platelet aggregation, and its relation to the release of serotonin and P-selectin.
Blood Coagul. Fibrin., 10:513-519, 1999.
73. Miyashita, M., Motoya, T., Kawachi, A., Yamada, K.
Effects of sodium ferrous citrate, ferrous fumarate and ferrous sulphate on the absorption of cefdinir and cefixime.
J. Appl. Ther. Res., 2:261-268, 1999.
74. Shimodozono, Y.
Experimental Studies of Concerning Medication Counseling to Patients: the Dezincification of "after meal", the Effect of Water on Esophageal Passage of Medicine, and the Effect of Green Tea on Iron Absorption.
Medical Journal of Kagoshima University, 51:1-10, 1999.

2000年

75. Agemura, H., Motoya T., Yamada, K.
Different effects of high protein-binding drugs on the binding of phenytoin, valproic acid, and salicylic acid to human serum proteins.
J. Appl. Ther. Res., 3:19-30, 2000.
76. Li, H., Yashiki, S., Sonoda, J., Lou, H., Ghosh, S. K., Byrnes, J. J., Lema, C., Fujiyoshi, T., Karasuyama, M., Sonoda, S.

Green tea polyphenols induce apoptosis in vitro in peripheral blood T lymphocytes of Adult T-cell Leukemia patients.

Jpn. J. Cancer Res., 91:34-40, 2000.

77. Okumura, H., Chen, Z. S., Sakou, M., Sumizawa, T., Furukawa, T., Komatsu, M., Ikeda, R., Suzuki, H., Hirota, K., Aikou, T., Akiyama, S.
Reversal of P-glycoprotein and multidrug-resistance protein-mediated drug resistance in KB cells by 5-O-benzoylated taxinine K.
Mol. Pharmacol., 58:1563-1569, 2000.
78. Motoya, T., Miyashita, M., Kawachi, A., Yamada, K.
Effect of ascorbic acid on interactions between ciprofloxacin and ferrous sulfate, sodium ferrous citrate or ferric pyrophosphate, in mice.
J. Pharm. Pharmacol., 52:397-401, 2000.

2001年

79. Kariyazono, H., Nakamura, K., Shinkawa, T., Yamaguchi, T., Sakata, R., Yamada, K.
Inhibition of platelet aggregation and release of P-selectin from platelets by cilostazol.
Thromb. Res., 101:445-453, 2001.
80. Nakamura, K., Kariyazono, H., Masuda, H., Sakata, R., Yamada, K.
Effects of sarpogrelate hydrochloride on ADP- or collagen- induced platelet responses in arteriosclerosis obliterans.
Blood Coagul. Fibrin., 12:391-397, 2001.
81. Kitazono, M., Okumura, H., Ikeda, R., Sumizawa, T., Furukawa, T., Nagayama, S., Seto, K., Aikou, T., Akiyama, S.
Reversal of LRP-associated drug resistance in colon carcinoma SW-620 cells.
Int. J. Cancer, 91:126-131, 2001.
82. Mori, S., Takao, S., Ikeda, R., Noma, H., Mataka, Y., Wang, X., Akiyama, S., Aiko, T.
Role of thymidine phosphorylase in Fas-induced apoptosis.
Hum. Cell, 14:323-330, 2001.

2002年

83. Herforth, C., Stone, J.A., Jayewardene, A.L., Blaschke, T.F., Fang, F., Motoya, T., Aweeka, F.T.
Determination of nelfinavir free drug concentrations in plasma by equilibrium dialysis and liquid chromatography/Tandem Mass Spectroscopy: Important factors for method optimization.
Eur. J. Pharm. Sci., 15:185-195, 2002.
84. Ikeda, R., Furukawa, T., Kitazono, M., Ishituka, K., Okumura, H., Tani, A., Sumizawa, T., Haraguchi, M., Komatsu, M., Uchiyama, H., Ren, X., Motoya, T., Yamada, K., Akiyama, S.
Molecular basis for the inhibition of hypoxia-induced apoptosis by 2-deoxy-D-ribose.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 291:806-812, 2002.
85. Nishi, J., Yoshinaga, M., Miyanojima, H., Kawahara, M., Kawabata, M., Motoya, T., Owaki, T., Oiso, S., Kawakami, M., Kamewari, S., Koyama, Y., Wakimoto, N., Tokuda, K., Manago, K., Maruyama, I.
An epidemiologic survey of methicillin-resistant staphylococcus aureus by combined use of mec-HVR genotyping and toxin genotyping in a university hospital in Japan.
Infect. Control Hos. Epidemiol., 23:506-510, 2002.
86. Chi, J., Jayewardene, A.L., Stone, J.A., Motoya, T., Aweeka, F.T.
Simultaneous determination of five HIV protease inhibitors nelfinavir, indinavir, zidovudine, zalcitabine and amprenavir in human plasma by LC/MS/MS.
J. Pharm. Biomed. Anal., 30:675-684, 2002.
87. Kozako, T., Kawachi, A., Cheng, S., Kuchiiwa, S., Motoya, T., Nakagawa, S., Yamada, K.
Role of the vestibular nuclei in endothelin-1-induced barrel rotation in rats.
Eur. J. Pharmacol., 454:199-207, 2002.
88. Uchimiyama, H., Furukawa, T., Okamoto, M., Nakajima, Y., Matsushita, S., Ikeda, R., Gotanda, T., Haraguchi, M., Sumizawa, T., Ono, M., Kuwano, M., Kanzaki, T., Akiyama, S.
Suppression of thymidine phosphorylase-mediated angiogenesis and tumor growth by 2-deoxy-L-ribose.
Cancer Res., 62:2834-2839, 2002.
89. Ishitsuka, K., Ikeda, R., Utsunomiya, A., Uozumi, K., Hanada, S., Suzuki, S., Takeuchi, S., Takatsuka, Y., Takeshita, T., Ohno, N., Arima, T.
Arsenic trioxide induces apoptosis in HTLV-I infected T-cell lines and fresh adult T-cell leukemia cells through CD95 or tumor necrosis factor alpha receptor independent caspase activation.
Leuk. Lymphoma, 43:1107-1114, 2002.

-
90. Mori, S., Takao, S., Ikeda, R., Noma, H., Mataka, Y., Wang, X., Akiyama, S., Aikou, T.
Thymidine phosphorylase suppresses Fas-induced apoptotic signal transduction independent of its enzymatic activity.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 295:300-305, 2002.
91. Che, X., Nakajima, Y., Sumizawa, T., Ikeda, R., Ren, X., Zheng, C., Mukai, M., Furukawa, T., Haraguchi, M., Gao, H., Sugimoto, Y., Akiyama, S.
Reversal of P-glycoprotein mediated multidrug resistance by a newly synthesized 1,4-benzothiazepine derivative, JTV-519.
Cancer Lett., 187:111-119, 2002.
92. Ren, X., Furukawa, T., Aoki, S., Sumizawa, T., Haraguchi, M., Nakajima, Y., Ikeda, R., Kobayashi, M., Akiyama, S.
A positively charged amino acid proximal to the C-terminus of TM17 of MRP1 is indispensable for GSH-dependent binding of substrates and for transport of LTC₄.
Biochemistry, 41:14132-14140, 2002.

2003年

93. Tuvdendorj, D., Oketani, M., Ikeda, R., Kohara, K., Komorizono, Y., Ishibashi, K., Munkhtuvshin, N., Arima, T.
Aspirin induces hepatoma-derived cell apoptosis via a hydrogen peroxide-dependent pathway.
Hepatol. Res., 26:47-54, 2003.
94. Motoya, T., Shibayama, Y., Shimodozono, Y., Wakamatsu, H., Yamada, K.
Development of a computerized drug information leaflet issuing system for outpatients combined with a prescription ordering system.
J. Appl. Ther. Res., 4:34-39, 2003.
95. Sata, T., Ishida, K., Motoya, T., Nakano, R., Honda, K., Nakao, S., Yamashita, K., Iwashita, Y., Ikeda, R., Yamada, K.
Usefulness of drug information leaflets with pictures to improve understanding by elderly patients of their medicines.
J. Appl. Ther. Res., 4:40-45, 2003.
96. Ikeda, R., Furukawa, T., Mitsuo, R., Noguchi, T., Kitazono, M., Okumura, H., Sumizawa, T., Haraguchi, M., Che, X., Uchiyama, H., Nakajima, Y., Ren, X., Oiso, S., Inoue, I., Yamada, K., Akiyama, S.
Thymidine phosphorylase inhibits apoptosis induced by cisplatin.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 301:358-363, 2003.
97. Takeda, Y., Akasaka, K., Lee, S., Kobayashi, S., Kawano, H., Murayama, S., Takahashi, N., Hashimoto, K., Kano, M., Asano, M., Sudo, K., Iwakura, Y., Watanabe, K.
Impaired motor coordination in mice lacking neural recognition molecule NB-3 of the contactin/F3 subgroup.
J. Neurobiol., 56:252-265, 2003.
98. Li, H., Takeda, Y., Niki, H., Ogawa, J., Kobayashi, S., Kai, N., Akasaka, K., Asano, M., Sudo, K., Iwakura, Y., Watanabe, K.
Aberrant responses to acoustic stimuli in mice deficient for neural recognition molecule NB-2.
Eur. J. Neurosci., 17:929-936, 2003.
99. Sakamoto, T., Kawazoe, Y., Shen, J., Takeda, Y., Arakawa, Y., Ogawa, J., Oyanagi, K., Ohashi, T., Watanabe, K., Inoue, K., Eto, Y., Watabe, K.
Adenoviral gene transfer of GDNF, BDNF and TGF β 2, but not CNTF, Cardiotrophin-1 or IGF1, protects injured adult motoneurons after facial nerve avulsion.
J. Neurosci. Res., 72:54-64, 2003.
100. Nie, D., Zhou, Z., Ang, B., Teng, F.Y.H., Xu, G., Xiang, T., Wang, C., Zeng, L., Takeda, Y., Xu, T., Ng, Y., Faivre-Sarrailh, C., Popko, B., Ling, E., Schachner, M., Watanabe, K., Pallen, C.J., Tang, B.L., Xiao, Z.
Nogo-A at CNS paranodes is a ligand of Caspr: possible regulation of K⁺ channel localization.
EMBO J., 22:5666-5678, 2003.
101. Qi-Dong, H., Beng-Ti, A., Meliha, K., Wei-Ping, H., Xiao-Ying, C., Tanya, D., Yasuo, T., Wendy, C., Natesan, S., Yee-Kong, N., Eng-Ang, L., Thomas, M., Deena, S., Radianna, T., Raphael, K., Hideyuki, O., Masato, N., Shigeru, C., Hisamaru, H., Jon, C.A., Melitta, S., Catherine, J.P., Kazutada, W., Zhi-Cheng, X.
F3/Contactin acts as a functional ligand for Notch during oligodendrocyte maturation.
Cell, 115:163-175, 2003.
102. Nohta, H., Sonoda, J., Yoshida, H., Satozono, H., Ishida, J., Yamaguchi, M.
Liquid chromatographic determination of dicarboxylic acids based on intramolecular excimer-forming fluorescence derivatization.

2004年

103. Sugawara, H., Inoue, K., Iwata, S., Shimizu, T., Yamada, K., Mori, M., Miyata, A.
Neural-restrictive silencers in the regulatory mechanism of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) gene expression.
Regul. Pept., 123:9-14, 2004.
104. Masuda, T., Fukamauchi, F., Takeda, Y., Fujisawa, H., Watanabe, K., Okado, N., Shiga, T.
Developmental regulation of notochord-derived repulsion for dorsal root ganglion axons.
Mol. Cell Neurosci., 25:217-227, 2004.
105. Cui, X.Y., Hu, Q.D., Takaya, M., Shimoda, Y., Ang, B.T., Nie, D.Y., Sun, L., Hu, W.P., Karsak, M., Duka, T., Takeda, Y., Ou, L.Y., Dawe, G.S., Yu, F.G., Ahmed, S., Jin, L.H., Schachner, M., Watanabe, K., Arsenijevic, Y., Xiao, Z.C.
NB-3/Notch1 pathway via Deltex1 promotes neural progenitor cell differentiation into oligodendrocytes.
J. Biol. Chem., 279:25858-25865, 2004.
106. Kariyazono, H., Nakamura, K., Arima, J., Ayukawa, O., Onimaru, S., Masuda, H., Iguro, Y., Majima, H.J., Sakata, R., Yamada, K.
Evaluation of anti-platelet aggregatory effects of aspirin, cilostazol and ramatroban on platelet-rich plasma and whole blood.
Blood Coagul. Fibrin., 15:157-167, 2004.
107. Shibayama, Y., Kawachi, A., Ikeda, R., Motoya, T., Yamada, K.
Effects of acute and chronic cyclosporin treatment on digoxin pharmacokinetics.
J. Appl. Ther. Res., 4:38-45, 2004.
108. Shibayama, Y., Ikeda, R., Motaya, T., Yamada, K.
St John's Wort (*Hypericum perforatum*) induces overexpression of multidrug resistance protein 2 (MRP2) in rats: A 30-day ingestion study.
Food Chem. Toxicol., 42:995-1002, 2004.
109. Sonoda, J., Koriyama, C., Yamamoto, S., Kozako, T., Hong Chuan Li, Carolina Lema, Yashiki, S., Fujiyoshi, T., Yoshinaga, M., Nagata, Y., Akiba, S., Takezaki, T., Yamada, K., Sonoda, S.
HTLV-1 provirus load in peripheral blood lymphocytes of HTLV-1 carriers is diminished by green tea drinking.
Cancer Sci., 95:596-601, 2004.
110. Nakajima, Y., Gotanda, T., Uchimiya, H., Furukawa, T., Haraguchi, M., Ikeda, R., Sumizawa, T., Yoshida, H., Akiyama, S.
Inhibition of metastasis of tumor cells overexpressing thymidine phosphorylase by 2-deoxy-L-ribose.
Cancer Res., 64:1794-1801, 2004.
111. Shimizu, T., Katahira, M., Sugawara, H., Inoue, K., Miyata, A.
Diverse effects of intrathecal pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide on nociceptive transmission in mice spinal cord.
Regul. Pept., 123:117-122, 2004.

2005年

112. Ikeda, R., Che, X., Yamaguchi, T., Ushiyama, M., Zheng, C., Okumura, H., Takeda, Y., Shibayama, Y., Nakamura, K., Jeung, H., Furukawa, T., Sumizawa, T., Haraguchi, M., Akiyama, S., Yamada, K.
Cepharanthine potently enhances the sensitivity of anticancer agents in K562 cells.
Cancer Sci., 96:372-376, 2005.
113. Ikeda, R., Yoshida, K., Tsukahara, S., Sakamoto, Y., Tanaka, H., Furukawa, K., Inoue, I.
PLZF promotes osteoblastic differentiation of human mesenchymal stem cells as an upstream regulator of CBFA1.
J. Biol. Chem., 280:8523-8530, 2005.
114. Denaxa, M., Kyriakopoulou, K., Theodorakis, K., Trichas, G., Vidaki, M., Takeda, Y., Watanabe, K., Karagozeos, D.
The adhesion molecule TAG-1 is required for proper migration of the superficial migratory stream in the medulla but not of cortical interneurons.
Developmental Biol., 288:87-99, 2005.
115. Nakamura, M., Sakurai, Y., Takeda, Y., Toda, T.
Comparative proteomics of flotillin-rich Triton X-100-insoluble lipid raft fractions of mitochondria and synaptosome from mouse brain.

-
- J. Electrophoresis, 49:77-83, 2005.
116. Yoshida, H., Araki, J., Sonoda, J., Nohta, H., Ishida, J., Hirose, S., Yamaguchi, M.
Screening method for Organic Aciduria by Spectrofluorometric Measurement of Total Dicarboxylic Acids in Human Urine based on Intramolecular Excimer-Forming Fluorescence Derivatization.
Analytica. Chimica. Acta., 534:177-183, 2005.
117. Nakamura, K., Ueno, T., Yamamoto, H., Iguro, Y., Yamada, K., Sakata, R.
Relationship between cerebral injury and inflammatory responses in patients undergoing cardiac surgery with cardiopulmonary bypass.
Cytokine, 29:95-104, 2005.
118. Nakamura, K., Kariyazono, H., Komokata, T., Hamada, N., Sakata, R., Yamada, K.
Influence of preoperative administration of omega-3 fatty acid-enriched supplement on inflammatory and immune responses in patients undergoing major surgery for cancer.
Nutrition, 21:639-649, 2005.

2006年

119. Onimaru, S., Nakamura, K., Kariyazono, H., Ikeda, R., Ueno, T., Fukumoto, Y., Yabuki, A., Sakata, R., Yamada, K.
Inhibitory effects of edaravone on the production of tumor necrosis factor- α in the isolated heart undergoing ischemia and reperfusion.
Heart Vessels, 21:108-115, 2006.
120. Ikeda, R., Che, X.F., Ushiyama, M., Yamaguchi, T., Okumura, H., Nakajima, Y., Takeda, Y., Shibayama, Y., Furukawa, T., Yamamoto, M., Haraguchi, M., Sumizawa, T., Yamada, K., Akiyama, S.
2-Deoxy-D-ribose inhibits hypoxia-induced apoptosis by suppressing the phosphorylation of p38 MAPK.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 342:280-285, 2006.
121. Nakamura, K., Masuda, H., Kariyazono, H., Arima, J., Iguro, Y., Yamada, K., Sakata, R.
Effects of atorvastatin and aspirin combined therapy on inflammatory responses in patients undergoing coronary artery bypass grafting.
Cytokine, 36:201-210, 2006.
122. Ushiyama, M., Sugawara, H., Inoue, K., Kangawa, K., Yamada, K., Miyata, A.
Characterization of the PAC1 variants expressed in the mouse heart.
Ann. NY. Acad. Sci., 1070:586-590, 2006.
123. Ikeda, R., Yoshida, K., Ushiyama, M., Yamaguchi, T., Iwashita, K., Hutagawa, T., Shibayama, Y., Oiso, S., Takeda, Y., Kariyazono, H., Furukawa, T., Nakamura, K., Akiyama, S., Inoue, I., Yamada, K.
The small heat shock protein α B-crystallin inhibits differentiation-induced caspase 3 activation and myogenic differentiation.
Biol. Pharm. Bull., 29:1815-1819, 2006.
124. Shibayama, Y., Ushinohama, K., Ikeda, R., Yoshimi, Y., Motoya, T., Takeda, Y., Yamada, K.
Effect of methotrexate treatment on expression levels of Mrp2, Bcrp and organic anion transporters Oat1, Oat2 and Oat3 in rats.
Cancer Sci., 97:1260-1266, 2006.
125. Shibayama, Y., Yoshikawa, Y., Matsumoto, K., himodozono, Y., Miyagoe, T., Kurita, M., Kusadome, C., Yamaguchi, M., Nishi, Y., Motoya, T., Takeda, Y., Yamada, K.
A retrospective study of the relationship between methotrexate clearance and hyperuricemia in high-dose methotrexate therapy.
J. Appl. Ther. Res., 6:3-6, 2006.
126. Moro, K., Shiotani, A., Watabe, K., Takeda, Y., Saito, K., Mori, Y., Ogawa, K.
Adenoviral gene transfer of BDNF and GDNF synergistically prevent motoneuron loss in the nucleus ambiguus.
Brain Res., 1076:1-8, 2006.
127. Hayashi, R., Goto, Y., Haga, A., Kobayashi, D., Ikeda, R., Yoshida, K.
Comparative genomics on MCM8 orthologous genes reveals the transcriptional regulation by transcription factor E2F.
Gene, 367:126-134, 2006.
128. Che, X.F., Zheng, C.L., Owatari, S., Mutoh, M., Gotanda, T., Jeung, H.C., Furukawa, T., Ikeda, R., Yamamoto, M., Haraguchi, M., Arima, N., Akiyama, S.
Overexpression of survivin in primary ATL cells and sodium arsenite induces apoptosis by down-regulating survivin expression in ATL cell lines.
Blood, 107:4880-4887, 2006.
129. Tsukahara, S., Ikeda, R., Goto, S., Yoshida, K., Mitsumori, R., Sakamoto, Y., Tajima, A., Yokoyama, T., Toh, S.,

-
- Furukawa, K.I., Inoue, I.
Tumor necrosis factor-alpha stimulated gene-6 inhibits osteoblastic differentiation of human mesenchymal stem cells induced by OS and BMP-2.
Biochem. J., 398:595-603, 2006.
130. Hayashi, R., Goto, Y., Ikeda, R., Yokoyama, K.K., Yoshida, K.
CDCA4: a nuclear factor induced by the E2F transcription factor family that regulates E2F-dependent transcriptional activation and cell proliferation.
J. Biol. Chem., 281:35633-35648, 2006.
131. Tabata, H., Anwar, M., Horai, S., Ando, T., Nakano, A., Wakamiya, J., Koriyama, C., Nakagawa, M., Yamada, K., Akiba, S.
Toenail arsenic levels among residents in Amami-Oshima Island, Japan.
Environ. Sci., 13:149-160, 2006.
132. Motoya, T., Thevanayagam, L.N., Blaschke, T.F., Au, S., Stone, J.A., Jayewardene, A.L., Chi, J., Aweeka, F.T.
Characterization of nelfinavir binding to plasma proteins and the lack of drug displacement interactions.
HIV Med., 7:122-128, 2006.
133. Horai, S., Minagawa, M., Ozaki, H., Watanabe, I., Takeda, Y., Yamada, K., Ando, T., Akiba, S., Abe, S., Kuno, K.
Accumulation of Hg and other heavy metals in the Javan mongoose (*Herpestes javanicus*) captured on Amami-Oshima Island, Japan.
Chemosphere, 65:657-665, 2006.

2007年

134. Ushiyama, M., Ikeda, R., Sugawara, H., Yoshida, M., Mori, K., Kangawa, K., Inoue, K., Yamada, K., Miyata, A.
Differential intracellular signaling through PAC1 isoforms due to alternative splicing in the first extracellular domain and the third intracellular loop.
Mol. Pharmacol., 72:103-111, 2007.
135. Komatsu, M., Furukawa, T., Ikeda, R., Takumi, S., Nong, Q., Aoyama, K., Akiyama, S.I., Keppler, D., Takeuchi, T.
Involvement of mitogen-activated protein kinase signaling pathways in microcystin-LR-Induced apoptosis after its selective uptake mediated by OATP1B1 and OATP1B3.
Toxicol. Sci., 97:407-416, 2007.
136. Owatari, S., Akune, S., Komatsu, M., Ikeda, R., Firth, S.D., Che, X.F., Yamamoto, M., Tsujikawa, K., Kitazono, M., Ishizawa, T., Takeuchi, T., Aikou, T., Mercer, J.F.B., Akiyama, S., Furukawa, T.
Copper-transporting P-type ATPase, ATP7A, confers multidrug resistance and its expression is related to resistance to SN-38 in clinical colon cancer.
Cancer Res., 67:4860-4868, 2007.
137. Ikeda, R., Tsukahara, S., Yoshida, K., Inoue, I.
Gene expression changes induced by TGF-1 and IGF-1 during the chondrogenic differentiation of human mesenchymal stem cells.
J. Biol. Sci., 7:729-736, 2007.
138. Yokomakura, N., Natsugoe, S., Okumura, H., Ikeda, R., Uchikado, Y., Mataka, Y., Takatori, H., Matsumoto, M., Owaki, T., Ishigami, S., Aikou, T.
Improvement in radiosensitivity using small interfering RNA targeting p53R2 in esophageal squamous cell carcinoma.
Oncol. Rep., 18:561-567, 2007.
139. Ikeda, R., Yoshida, K., Inoue, I.
Identification of FAZF as a novel BMP2-induced transcription factor during osteoblastic differentiation.
J. Cell. Biochem., 101:147-154, 2007.
140. Ikeda, R., Tsukahara, S., Yoshida, K., Inoue, I.
Gene expression changes induced by TGF-1 and IGF-1 during the chondrogenic differentiation of human mesenchymal stem cells.
J. Biol. Sci., 7:729-736, 2007.
141. Shibayama, Y., Kawachi, A., Onimaru, S., Tokunaga, J., Ikeda, R., Nishida, K., Kuchiiwa, S., Nakagawa, S., Takamura, N., Motoya, T., Takeda, Y., Yamada, K.
Effect of pre-treatment with St John's Wort on nephrotoxicity of cisplatin in rats.
Life Sci., 81:103-108, 2007.
142. Matsumoto, K., Nishi, K., Kikuchi, M., Kadowaki, D., Tokutomi, Y., Tokutomi, N., Suenaga, A., Otagiri, M.
Alpha 1-acid glycoprotein suppresses rat acute inflammatory paw edema through the inhibition of neutrophils activation and prostaglandin E2 generation.
Biol. Pharm. Bull., 30:1226-1230, 2007.

-
143. Akio, K., Yukari, S., Katushi, Y., Mayank, B.D., Toshiro, M.
Endothelin-I-induced barrel rotation: No direct modulation of rat medial vestibular nucleus neuron activity by endothelin-I.
Equilib. Res., 66:9-16, 2007.

2008年

144. Ye, H., Tan, YL., J., Ponniah, S., Takeda, Y., Wang, S.Q., Schachner, M., Watanabe, K., Pallen, C.J., Xiao, Z.C.
Neural recognition molecules CHL1 and NB-3 regulate apical dendrite orientation in the neocortex via PTPa.
EMBO J., 27:188-200, 2008.
145. Ma, Q.H., Futagawa, T., Yang, W.L., Jiang, X.D., Zeng, L., Takeda, Y., Xu, R.X., Bagnard, D., Schachner, M., Furley, A.J., Karagogeos, D., Watanabe, K., Dawe, G.S., Xiao, Z.C.
A TAG1-APP signaling pathway through Fe65 negatively modulates neurogenesis.
Nature Cell Biol., 3:283-294, 2008.
146. Ikeda, R., Tajitsu, Y., Iwashita, K.I., Che, X.F., Yoshida, K., Ushiyama, M., Furukawa, T., Komatsu, M., Yamaguchi, T., Shibayama, Y., Yamamoto, M., Zhao, H.Y., Arima, J., Takeda, Y., Akiyama, S.I., Yamada, K.
Thymidine phosphorylase inhibits the expression of proapoptotic protein BNIP3.
Biochem. Biophys. Res. Commun., 370:220-224, 2008.
147. Saigo, K., Yoshida, K., Ikeda, R., Sakamoto, Y., Murakami, Y., Urashima, T., Asano, T., Kenmochi, T., Inoue, I.
Integration of hepatitis B virus DNA into the myeloid/lymphoid or mixed-lineage leukemia (MLL4) gene and rearrangements of MLL4 in human hepatocellular carcinoma.
Hum. Mutat., 29:703-708, 2008.
148. Kusadome, C., Shibayama, Y., Nishi, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Stability of high-dose methylcobalamin injection.
J. Appl. Ther. Res., 6:15-18, 2008.
149. Shibayama, Y., Motoya, T., Yoshikawa, Y., Matsumoto, K., Fukamizu, T., Fukunaga, N., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Relationship between methotrexate concentration in serum and half-life of methotrexate in high-dose methotrexate therapy: a retrospective study.
J. Appl. Ther. Res., 6:25-28, 2008.
150. Ikeda, R., Iwashita, K., Sumizawa, T., Beppu, S., Tabata, S., Tajitsu, Y., Shimamoto, Y., Yoshida, K., Furukawa, T., Che, X.F., Yamaguchi, T., Ushiyama, M., Miyawaki, A., Takeda, Y., Yamamoto, M., Zhao, H.Y., Shibayama, Y., Yamada, K., Akiyama, S.
Hyperosmotic stress up-regulates the expression of major vault protein in SW620 human colon cancer cells.
Exp. Cell Res., 314:3017-3026, 2008.
151. Horai, S., Furukawa, T., Ando, T., Akiba, S., Takeda, Y., Yamada, K., Kuno, K., Abe, S., Watanabe, I.
Subcellular distribution and potential detoxification mechanisms of mercury in the liver of the Javan mongoose (*Herpestes javanicus*) in Amamioshima Island, Japan.
Environ. Toxicol. Chem., 27:1354-1360, 2008.
152. Nishida, N., Kuchiwa, S., Oiso, S., Futagawa, T., Masuda, S., Takeda, T., Yamada, K.
Up-regulation of matrix metalloproteinase-3 in the dorsal root ganglion of rats with paclitaxel-induced neuropathy.
Cancer Sci., 99:1618-1625, 2008.
153. Tominaga, A., Sugawara, H., Inoue, K., Miyata, A.
Implication of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) for neuroprotection of nicotinic acetylcholine receptor signaling in PC12 cells.
J. Mol. Neurosci., 36:73-78, 2008.
154. Zhao, H.Y., Ooyama, A., Yamamoto, M., Ikeda, R., Haraguchi, M., Tabata, S., Furukawa, T., Che, X.F., Iwashita, K., Oka, T., Fukushima, M., Nakagawa, M., Ono, M., Kuwano, M., Akiyama, S.
Down regulation of c-Myc and induction of an angiogenesis inhibitor, thrombospondin-1, by 5-FU in human colon cancer KM12C cells.
Cancer Lett., 270:156-163, 2008.
155. Zhao, H.Y., Ooyama, A., Yamamoto, M., Ikeda, R., Haraguchi, M., Tabata, S., Furukawa, T., Che, X.F., Zhang, S., Oka, T., Fukushima, M., Nakagawa, M., Ono, M., Kuwano, M., Akiyama, S.
Molecular basis for the induction of an angiogenesis inhibitor, thrombospondin-1, by 5-fluorouracil.
Cancer Res., 68:7035-41, 2008.

2009年

156. Nishi, Y., Shibayama, Y., Kusadome, C., Takeda, E., Takeda, Y., Yamada, K.
Solubility of etoposide in infusions.
J. Appl. Ther. Res., 7:22-25, 2009.
157. Matsumoto, K., Takeda, Y., Takeshita, A., Fukunaga, N., Shigemi, A., Yaji, K., Shimodozono, Y., Yamada, K., Ikawa K., Morikawa, N.
Renal function as a predictor of linezolid-induced thrombocytopenia.
Int. J. Antimicrob. Agents, 33:98-99, 2009.
158. Shibayama, Y., Sata, T., Furuno, Y., Motoya, T., Matsumoto, K., Fukamizu, T., Fukunaga, N., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
A retrospective study of the relationship between high-dose methotrexate chemotherapy-related toxicity and concomitant drugs: non-steroidal anti-inflammatory drugs and sulfamethoxazole.
J. Appl. Ther. Res., 7:11-14, 2009.
159. Shibayama, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Effect of methotrexate treatment on expression levels of organic anion transporter polypeptide 2, P-glycoprotein and bile salt export pump in rats.
Biol. Pharm. Bull., 32:493-496, 2009.
160. Matsumoto, K., Ikawa, K., Abematsu, K., Fukunaga, N., Nishida, K., Fukamizu, T., Shimodozono, Y., Morikawa, N., Takeda, Y., Yamada, K.
Correlation between voriconazole trough plasma concentration and hepatotoxicity in patients with different CYP2C19 genotypes.
Int. J. Antimicrob. Agents, 34:91-94, 2009.
161. Shigemi, A., Matsumoto, K., Yaji, K., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Miyahara, H., Kawamura, H., Orita, M., Tokuda, K., Nishi, J., Yamada, K.
Correlation between meropenem and doripenem usage density and the incidence of carbapenem-resistant *Pseudomonas aeruginosa*.
Int. J. Antimicrob. Agents, 34:589-591, 2009.
162. Oiso, S., Takeda, Y., Futagawa, T., Miura, T., Kuchiiwa, S., Nishida, K., Ikeda, R., Kariyazono, H., Watanabe, K., Yamada, K.
Contactin-associated protein (Caspr) 2 interacts with carboxypeptidase E in the CNS.
J. Neurochem., 109:158-167, 2009.
163. Ayukawa, O., Nakamura, K., Kariyazono, H., Ikeda, R., Arima, J., Shinkawa, T., Iwase, H., Sakata, R., Yamada, K.
Enhanced platelet responsiveness due to chilling and its relation to CD40 ligand level and platelet-leukocyte aggregate formation.
Blood Coagul. Fibrin., 20:176-184, 2009.
164. Ushiyama, M., Ikeda, R., Nitta, T., Tazitsu, Y., Miyawaki, A., Nishizawa, Y., Yamaguchi, T., Yamaguchi, H., Akatsuka, C., Shimodozono, Y., Ushinohama, K., Sugawara, H., Sugihara, K., Nakamura, N., Takeda, Y., Yamada, K.
Stability of hospital preparations of Azunol Water Gargles for pain relief in oral cancer patients with oral mucositis.
Cancer Therapy, 7:277-281, 2009.
165. Ushiyama, M., Ikeda, R., Yamaguchi, H., Miyawaki, A., Nitta, T., Yamaguchi, T., Tazitsu, Y., Nishizawa, Y., Shimodozono, Y., Hijioka, H., Furukawa, T., Akiyama, S., Nakamura, N., Takeda, Y., Yamada, K.
Adverse events of superselective intra-arterial infusion chemotherapy in patients with oral cancer.
J. Appl. Ther. Res., 7:58-64, 2009.
166. Toyoshima, M., Sakurai, K., Shimazaki, K., Takeda, Y., Nakamoto, M., Serizawa, S., Shimoda, Y., Watanabe, K.
Preferential localization of neural cell recognition molecule NB-2 in developing glutamatergic neurons in the rat auditory brainstem.
J. Comp. Neurol., 531:349-362, 2009.
167. Sakurai, K., Ueda, H., Matsubara, K., Takeda, Y., Karageos, D., Shimoda, Y., Watanabe, K.
Contribution of the neural cell recognition molecule NB-3 to synapse formation between parallel fibers and Purkinje cells in mouse.
Developmental Neurobiol., 69:811-824, 2009.

2010年

168. Iwashita, K., Ikeda, R., Takeda, Y., Sumizawa, T., Furukawa, T., Yamaguchi, T., Akiyama, S., Yamada, K.
Major vault protein forms complexes with hypoxia-inducible factor (HIF)-1 α and reduces HIF-1 α level in ACHN human renal adenocarcinoma cells.

-
- Cancer Sci., 101:920-926, 2010.
169. Matsushita, S., Ikeda, R., Nishizawa, Y., Che, X. F., Furukawa, T., Miyadera, K., Tabata, S., Ushiyama, M., Tajitsu, Y., Yamamoto, M., Takeda, Y., Minami, K., Matakai, H., Kanzaki, T., Yamada, K., Kanekura, T., Akiyama, S.
The role of thymidine phosphorylase in the induction of early growth response protein-1 and thrombospondin-1 by 5-fluorouracil in human cancer carcinoma cells.
Int. J. Oncol., 36:1193-1200, 2010.
170. Matsumoto, K., Takeshita, A., Ikawa, K., Shigemi, A., Yaji, K., Shimodozono, Y., Morikawa, N., Takeda, Y., Yamada, K.
Higher linezolid exposure and higher thrombocytopenia frequency in patients with renal dysfunction.
Int. J. Antimicrob. Agents, 36:179-181, 2010.
171. Matsumoto, K., Kanazawa, N., Ikawa, K., Fukamizu, T., Shigemi, A., Yaji, K., Shimodozono, Y., Morikawa, N., Takeda, Y., Yamada, K.
Determination of teicoplanin trough concentration target and appropriate total dose during the first 3 days: a retrospective study in patients with MRSA infections.
J. Infect. Chemother., 16:193-199, 2010.
172. Matsumoto, K., Nishi, K., Kikuchi, M., Watanabe, H., Nakajou, K., Komori, H., Kadowaki, D., Suenaga, A., Otagiri, M.
Receptor-mediated uptake of human alpha 1-acid glycoprotein in into liver parenchymal cells in mice.
Drug Metab. Pharmacokinet., 25:101-107, 2010.
173. Tominaga, A., Sugawara, H., Futagawa, T., Inoue, K., Sasaki, K., Minamino, N., Hatakeyama, M., Handa, H., Miyata, A.
Characterization of the testis-specific promoter region in the human pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) gene.
Genes Cells, 15:595-606, 2010.
174. Miyawaki, A., Ikeda, R., Hijioka, H., Ishida, T., Ushiyama, M., Nozoe, E., Nakamura, N.
SUVmax of FDG-PET correlates with the effects of neoadjuvant chemoradiotherapy for oral squamous cell carcinoma.
Oncol. Rep., 23:1205-1212, 2010.
175. Hirashima, M., Tsuda, K., Hamada, T., Okamura, H., Furukawa, T., Akiyama, S., Tajitsu, Y., Ikeda, R., Komatsu, M., Doe, M., Morimoto, Y., Shiro, M., van Soest, R.W., Takemura, K., Iwagawa, T.
Cytotoxic isomalabaricane derivatives and a monocyclic triterpene glycoside from the sponge *Rhabdastrella globostellata*.
J. Nat. Prod., 73:1512-1518, 2010.
176. Takumi, S., Komatsu, M., Furukawa, T., Ikeda, R., Sumizawa, T., Akenaga, H., Maeda, Y., Aoyama, K., Arizono, K., Ando, S., Takeuchi, T.
p53 plays an important role in cell fate determination after exposure to microcystin-LR.
Environ. Health Perspect., 118:1292-1298, 2010.
177. Ushiyama, M., Ikeda, R., Yoshida, M., Mori, K., Kangawa, K., Sugawara, H., Inoue, K., Yamada, K., Miyata, A.
Alternative splicing of the pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) receptor contributes to function of PACAP-27.
J. Mol. Neurosci., 42:341-348, 2010.
178. Shibayama, Y., Nagano, M., Fujii, A., Taguchi, M., Takeda, Y., Yamada, K.
Safety evaluation of black rice vinegar (Kurosu) from a Jar on food-drug interaction: 30-day ingestion study on expressions of drug metabolism enzymes and transporters in rats.
J. Health Sci., 56:712-716, 2010.
179. Sakurai, K., Toyoshima, M., Takeda, Y., Shimoda, Y., Watanabe, K.
Synaptic formation in subsets of glutamatergic terminals in the mouse hippocampal formation is affected by a deficiency in the neural cell recognition molecule NB-3.
Neurosci. Lett., 473:102-106, 2010.
180. Ikeda, R., Vermeulen, L.C., Lau, E., Jiang, Z., Pomplun, M., Kolesar, J.M.
Establishment and characterization of irinotecan-resistant human non-small cell lung cancer A549 cells.
Molecular Medicine Reports, 6:1031-1034, 2010.
181. Ikeda, R., Vermeulen, L.C., Jiang, Z., Lau, E., Kolesar, J.M.
Gemcitabine and Paclitaxel Repress the Production of Vascular Endothelial Growth Factor Induced by Deferoxamine in Human Non-small Cell Lung Cancer A549 cells.
Experimental and therapeutic medicine, 1:853-857, 2010.

2011年

182. Ikeda, R., Vermeulen, L.C., Lau, E., Jiang, Z., Sachidanandam, K., Yamada, K., Kolesar, J.M.
Isolation and characterization of gemcitabine-resistant in human non-small cell lung cancer A549 cells.
Int. J. Oncol., 38:513-519, 2011.
183. Ikeda, R., Vermeulen, L.C., Lau, E., Jiang, Z., Kavanaugh, S. M., Yamada, K., Kolesar, J.M.
Isolation and characterization of erlotinib-resistant in human non-small cell lung cancer A549 cells.
Oncology Letters, 2:91-94, 2011.
184. Kanazawa, N., Matsumoto, K., Ikawa, K., Fukamizu, T., Shigemi, Akari, Yaji, K., Shimodozono, Y., Morikawa, N., Takeda, Y., Yamada, K.
An initial dosing method for teicoplanin based on the area under the serum concentration-time curve (AUC) required for MRSA eradication.
Journal of Infection and Chemotherapy, 2011, in press.
185. Kamino, M., Kishida, M., Kibe, T., Ikoma, K., Iijima, M., Hirano, H., Tokudome, M., Chen, L., Koriyama, C., Yamada, K., Arita, K., Kishida, S.
Wnt-5a signaling is correlated with infiltrative activity in human glioma by inducing cellular migration and MMP-2.
Cancer Science, 2011, in press.
186. Shibayama, Y., Nakano, K., Maeda, H., Taguchi, M., Ikeda, R., Sugawara, M., Iseki, K., Takeda, Y., Yamada, K.
Multidrug resistance protein 2 implicates anticancer drug-resistance to sorafenib.
Biol. Pharm. Bull., 2011, in press.
187. Shibayama, Y., Iwashita, Y., Yoshikawa, Y., Kondo, T., Ikeda, R., Takeda, Y., Sugawara, M., Yamada, K., Iseki, K.
Effect of 5-fluorouracil treatment on SN-38 absorption from intestine in rats.
Life Sci., 2011, submitted.
188. Futagawa, T., Ma, QH., Chen, ZC., Wei, Z., Lu, L., Oiso, S., Nishida, K., Kuchiiwa, S., Jiang, XD., Watanabe, K., Dawe, G. S., Takeda, Y., Xiao, ZC., Yamada, K.
The interaction of contactin associated protein (Caspr) 4 with ligand of Numb protein X (LNx) 2 promotes neurogenesis in the developmental brain.
Cell Res., 2011, submitted.

和文論文

1969年

1. 古川 達雄、大関 正弘、櫛来 和司、山田 勝士、川越 哲美
KCLによる心運動障害に対する ubiquinone-9の保護的作用について
応用薬理、3、161-165、1969.

1975年

2. 末永 典子、山田 勝士、日高 賢志、福田 健夫
PCBの脳内カテコラミンに及ぼす影響
福岡医誌、66、589-592、1975.

1976年

3. 比嘉 和夫、田中 経一、吉田 達彦、西川 望、宮原 護、松永 万鶴子、清川 博之、小川 暢也、山田 勝士
新合成鎮痛剤 ID-1229 (ヒトにおける ID-1229と pentazocine との比較) について
新薬と臨床、25、1109-1114、1976.

1977年

4. 植木 昭和、五味田 裕、荒木 泰典、山田 勝士、吉村 裕之、片岡 泰文
5-0-(chlorophenyl)-1-methyl-7-nitro-1, 3-dihydro-2H-1, 4-benzodiazepin-2-one (ID-690) の行動薬理学的研究
日薬理誌、73、243-255、1977.
5. 山田 勝士、日高 賢志、末永 典子、上田 潤一、福田 健夫
PCBによる水銀の脳内侵入量および脳内アミンに及ぼす影響
福岡医誌、68、349-353、1977.
6. 古川 達雄、深沢 英子、平賀 裕子、藤 玉枝、櫛来 和司、山田 勝士
Metolazone についての薬理学的研究
医学研究、47、297-310、1977.

1979年

7. 山田 勝士、服部 修造、箱田 達哉、宮崎 三千代、藤 玉枝、古川 達雄
抗炎症剤の局所応用による抗浮腫効果の検定法に関する研究
日薬理誌、75、789-798、1979.
8. 古川 達雄、山田 勝士、櫛来 和司
Angiotensin の作用に対する taurine の拮抗作用
含硫アミノ酸、2、101-109、1979.

1980年

9. 阿部 正義、櫛来 和司、守下 秀治、山田 勝士、松木 純子、古川 達雄
Alprazolam およびその主要代謝物についての薬学的研究
医学研究、50、495-507、1980.

1984年

10. 山田 勝士、熊谷 雅之、田中 真理子、柴田 和彦、古川 達雄
Kainic acid およぼす TRH analogue 誘発 body shaking に及ぼす muscimol および taurine の影響
含硫アミノ酸、7、11-15、1984.
11. 山田 勝士、徳永 恒夫、安倍 正弘、古川 達雄
Renin の中枢作用に対する GABA および taurine の拮抗
含硫アミノ酸、7、47-53、1984.

1987年

12. 柴田 和彦、安倍 正弘、松田 年浩、山田 勝士、古川 達雄
自然発症高血圧ラットにおける taurine 内服投与による angiotensin II および renin の中枢性血圧作用の減弱
含硫アミノ酸、10、63-71、1987.

1991年

13. 山田 勝士、古川 達雄
新規抗うつ薬 setiptiline についての行動薬理学的研究
日薬理誌、97、31-39、1991.

1994年

14. 小宅 正、太田 伸、北澤 式文、黒山 政一、相良 悦郎、下堂 権洋、
政田 幹夫（日本病院薬剤師会第9小委員会）
薬剤疫学に関する調査研究
病院薬学、20、88-91、1994.
15. 熊之細 透、夏越 祥次、島田 麻里緒、相良 光久、徳田 和信、愛甲 孝、新川 輝俊、中村 和男、
山田 勝士、福崎 裕延
プレオマイシン・ポリ乳酸固形剤の薬剤徐放性と組織移行性に関する実験的検討
リンパ学、17、15-18、1994.

1995年

16. 本屋 敏郎、下園 拓郎、山口 辰哉、新川 輝俊、中村 和男、下堂 権洋、若松 弘文、山田 勝士
ニューキノロン系抗菌剤の吸収に及ぼす牛乳の影響
TDM 研究、12、263-264、1995.
17. 豊平 均、中村 和男、仮屋 博子、山田 勝士、森山 由紀則、下川 新二、西元寺 秀明、平 明
人工弁置換術後早期における抗凝固剤と抗血小板剤併用の意義
胸部外科、48、749-755、1995.
18. 平川 亘、門田 紘輝、朝倉 哲彦、横山 俊一、寺田 耕作、春園 明宏、平野 宏文、八代 一孝、
窪田 優子、下堂 権洋
Methotrexate 封入 Fibrin Glue による悪性脳腫瘍に対する局所化学療法
癌と化学療法、22、805-809、1995.
19. 小宅 正、太田 伸、北澤 式文、黒山 政一、相良 悦郎、下堂 権洋、政田 幹夫、
橋本 ひろ美（日本病院薬剤師会第9小委員会）
薬剤疫学に関する調査研究 - 薬剤師による薬剤疫学的研究について -
病院薬学、21、14-21、1995.

1996年

20. 下堂 蘭 権洋、熊本 一期、松崎 聖一、本屋 敏郎、山田 勝士
外来処方箋における過去10年間の処方内容推移
薬剤疫学、2、117-124、1996.
21. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(1)
日本病院薬剤師会雑誌、32、1240-1243、1996.

1997年

22. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(2)
日本病院薬剤師会雑誌、33、111-113、1997.
23. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(3)
日本病院薬剤師会雑誌、33、341-344、1997.
24. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(4)
日本病院薬剤師会雑誌、33、627-629、1997.
25. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(5)
日本病院薬剤師会雑誌、33、857-859、1997.
26. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(6)
日本病院薬剤師会雑誌、33、1179-1182、1997.
27. 本屋 敏郎、宮下 正日出、山田 勝士
服薬指導に関する文献情報(7) (完)
日本病院薬剤師会雑誌、33、1461-1464、1997.

1999年

28. 大磯 茂、下園 拓郎、川原 陽子、本屋 敏郎、山田 勝士
アミノフィリンまたはイソニアジドと整腸剤との配合変化
日本病院薬剤師会雑誌、35、37-44、1999.

2000年

29. 佐多 照正、岩下 佳敬、辻 夏織、中尾 承司、本田 香奈恵、井ノ下 陽子、中野 理美子、石田 和久、
本屋 敏郎、山田 勝士
高齢者に対する服薬指導の工夫とその成果－写真付き薬剤情報文書による服薬指導の効果－
日本病院薬剤師会雑誌、36、907-909、2000.
30. 石田 和久、中野 理美子、井ノ下 陽子、本田 香奈恵、中尾 承司、辻 夏織、佐多 照正、岩下 佳敬、
本屋 敏郎、山田 勝士
薬剤科による自己血輸血の推進とその成果
日本病院薬剤師会雑誌、36、1095-1097、2000.

2001年

31. 下園 拓郎、柴山 良彦、下堂 蘭 権洋、山田 勝士
医薬品情報としての薬剤使用動向
医薬品情報学、3、132-133、2001.
32. 折井 孝男、後藤 伸之、下堂 蘭 権洋、田中 照夫、政田 幹夫、久保田 潔、清水 直容、
真山 武志 (平成12年度学術委員会 学術第5小委員会報告)
薬剤疫学的手法を利用した医薬品適正使用に関する研究
日本病院薬剤師会雑誌、37、157-160、2001.
33. 佐多 照正、石田 和久、中野 理美子、井ノ下 陽子、本田 香奈恵、中尾 承司、山下 夏織、
岩下 佳敬、本屋 敏郎、山田 勝士
高齢者の服用薬剤に関する理解度の持続性と再学習に及ぼす写真付き薬剤情報文書の効果
日本病院薬剤師会雑誌、37、221-223、2001.

2002年

34. 折井 孝男、後藤 伸之、下堂 蘭 権洋、田中 照夫、政田 幹夫、久保田 潔、清水 容、

真山 武志 (平成13年度学術委員会 学術第5小委員会報告)

薬剤疫学的手法を利用した医薬品適正使用に関する研究

日本病院薬剤師会雑誌、38、1025-1029、2002.

35. 後藤 伸之、下堂 蘭 権洋、田中 照夫、政田 幹夫、折井 孝男
病院情報システムに蓄積された薬剤データの薬剤疫学的手法を利用した医薬品適正使用研究
医療情報学、22、321-329、2002.

2003年

36. 栗田 美穂、大磯 茂、柴山 良彦、下堂 蘭 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士
バンコマイシンの投与設計における TDM 法とノモグラム法との比較
TDM 研究、20、175-176、2003.
37. 折井 孝男、鎌田 志乃ぶ、後藤 伸之、下堂 蘭 権洋、田中 照夫、政田 幹夫、久保田 潔、
清水 直容、真山 武志 (平成13年度学術委員会 学術第5小委員会報告)
薬剤疫学的手法を利用した医薬品適正使用に関する研究-中間報告-
日本病院薬剤師会雑誌、39、(1)、80-84、2003.

2005年

38. 宮越 妙子、松元 一明、大磯 茂、下堂 蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
テイコプラニン維持量設定ノモグラムの作成
日本病院薬剤師会雑誌、41、1267-1270、2005.

2006年

39. 池田 龍二、車 暁芳、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、柴山 良彦、中村 和男、古川 龍彦、
秋山 伸一、山田 勝士
セファランチンによる抗癌剤のアポトーシス増強作用とそのメカニズム
アルカロイド研究会会誌、32、111-115、2006.

2008年

40. 牛山 美奈、池田 龍二、新田 哲也、田實 祐介、宮脇 昭彦、山口 辰哉、下堂 蘭 権洋、牛之濱 風見、
松井 竜太郎、杉原 一正、中村 典史、山田 勝士
口腔癌治療時に汎用される院内製剤アズノール含嗽水の安定性と細菌学的検討
歯科薬物療法、27、143-150、2008.
41. 桐野 友子、緒方 敦子、下堂 蘭 恵、野元 佳子、川平 和美、茂見 茜里
CYP2C19遺伝子多型によるフェニトイン中毒の脳卒中片麻痺の1例
リハビリテーション医学、45、617-622、2008

2009年

42. 金子 生、猪川 和朗、福原 慶、森川 則文、福永 直子、深水 知英、松元 一明、下堂 蘭 権洋、
武田 泰生、山田 勝士
シクロスポリンおよびタクロリムスの TDM 支援ソフトウェアの開発
TDM 研究、26、52-58、2009.

2010年

43. 竹下 鮎美、松元 一明、茂見 茜里、猪川 和朗、森川 則文、武田 泰生、山田 勝士
腎機能障害を有する術後 MRSA 感染症患者2例におけるリネゾリドの体内動態
日本外科感染症学会雑誌、7、373-376、2010.
44. 富重 恵利紗、河内 明夫、柴田 由香里、福森 正郎、園田 純一郎、鳴海 恵子、山田 勝士、
本屋 敏郎
実務実習事前学習における「薬局製剤実習」の実施とその評価
医療薬学、36、817-825、2010.

V 学会発表

国際学会

1981年

1. Yamada, K., Furukawa, T.
The yawning elicited by α -melanocyte-stimulating hormone involves serotonergic-dopaminergic-cholinergic neuron link in rats.
Eighth International Congress of Pharmacology, Tokyo, July 19-24, 1981.

1982年

2. Yamada, K., Demarest, K., T., Moore, K., E.
Lack of effect of a behaviorally active dose of α -melanotropin (α MSH) on dopaminergic neurons in the rat brain.
ASPET/SOT, August 15-19, 1982.

1983年

3. Yamada, K., Demarest, K., T., Moore, K., E.
Differential actions of thyrotropin-releasing hormone (TRH) on dopaminergic neuronal systems in the rat brain.
67th Federation Annual Meeting, Chicago, April 10-15, 1983.

1985年

4. Yamada, K., Tatsuo, F.
Neuronal mechanisms involved in yawning behavior in rats.
The 4th Japanese-Korea joint Sminar on Pharmacology, Gifu, August 22, 1985.

1987年

5. Yamada, K., Matsumoto, S., Nagashima, M., Kumagai, M., Mashuo, N., Furukawa, T.
Involvement of β -adrenoceptors in yawning behavior.
10th International Congress of Pharmacology, Sydney, August 23-28, 1987.

1990年

6. Yamada, K., Matsumoto, S., Nagashima, M., Kimura, H., Furukawa, T.
Involvement of central β -adrenoceptors in the regulation of yawing responses.
Third International Symposium of Neurotransmitter Receptors Neuroreceptor Mechanisms in Brain, Hiroshima, February 5-8, 1990.
7. Domae, M., Yamada, K., Matsumoto, S., Furukawa, T.
Decrease of prolactin secretion via stimulation of pituitary dopamine D-2receptors after application of talipexole and SND 919.
17th Congress of Collegium International Neuro-Psychopharmacologium, Kyoto, September 10-14, 1990.
8. Yamada, K., Nagashima, M., Kimura, H., Furukawa, T.
Involvement of central adrenergic neuron activities in the regulation of yawing induced by tacrine, a potential therapeutical agent for alzheimer' s disease.
17th Congress of Collegium International Neuro-Psychopharmacologium, Kyoto, September 10-14, 1990.

1991年

9. Yamada, K., Matsumoto, S., Domae, M., Nagashima, M., Furukawa, T.
Occurrence of yawing and decrease of prolactin levels via stimulation of dopamine D2-receptors after administration of talipexole in rats.
10th International Symposium on Parkinson' s Disease, Tokyo, October 27-30, 1991.
10. Kimura, H., Yamada, K., Nakaoda, M., Furukawa, T.
Different role of central α - and β -adrenoceptors in the regulation of yawing responses in rats.
Alpha Adrenoceptors Conference, Tokyo, August 9-10, 1991.

1992年

11. Yamada, K., Matsumoto, S., Domae, M., Nagashima, M., Furukawa, T.
Occurrence of yawing and decrease of prolactin levels via stimulation of dopamine D2-receptors after administration of talipexole and SND 919 in rats.
18th Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologium Congress, Nice, June 28-July 2, 1992.

1993年

12. Yamada, K., Domae, M., Inoue, T., Satoh, M., Furukawa, T.
Involvement of prostaglandin E2 in the cyclic AMP accumulation induced by endothelin ETA receptor activation in the isolated rat anterior pituitary gland.
First International Congress on Hormones, Brain and Neuropsychopharmacology, Greece, September 13-17, 1993.

1995年

13. Motoya, T., Shimozono, T., Yamaguchi, T., Shinkawa, T., Nakamura, K., Shimodozono, Y., Wakamatsu, H., Yamada, K.
Different effect of milk on absorption of new quinolone antibiotic.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 1995 (55th International Congress of FIP), Stockholm, August 27-September 1, 1995.

1997年

14. Kawachi, A., Motoya, T., Miyashita, M., Shimodozono, Y., Yamada, K.
Reevaluation of the protein-binding interaction between warfarin and NSAIDs at therapeutic concentrations.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 1997 (57th International Congress of FIP), Vancouver, August 31-September 5, 1997.
15. Miyashita, M., Motoya, T., Kawachi, A., Yamada, K.
Comparative effects of ferrous sulfate, sodium ferrous citrate and ferrous fumarate on the absorption of cefdinir and cefixime in mice.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 1997 (57th International Congress of FIP), Vancouver, August 31-September 5, 1997.

1998年

16. Kawachi, A., Miyashita, M., Motoya, T., Yamada, K.
Studies of arginine⁸-vasopressin- and endothelin-1-induced barrel rotation in rats.
XIIIth International Congress of Pharmacology, Munich, July 26-31, 1998.

1999年

17. Kariyazono, H., Nakamura, K., Yamada, K.
Effects of sarpogrelate hydrochloride on platelet function in vitro.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 1999 (59th International Congress of FIP), Barcelona, September 5-10, 1999.
18. Nakamura, K., Kariyazono, H., Yamada, K.
Inhibitory effects of H2-receptor antagonists on platelet function in vitro.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 1999 (59th International Congress of FIP), Barcelona, September 5-10, 1999.
19. Shibayama, Y., Motoya, T., Shimodozono, Y., Wakamatsu, H., Shinkawa, T., Shimozono, T., Nakamura, K., Yamada, K.
A computerized drug information leaflet issue system for outpatients combined with a prescription ordering system.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 1999 (59th International Congress of FIP), Barcelona, September 5-10, 1999.
20. Nakamura, K., Kariyazono, H., Toda, R., Moriyama, Y., Yamada, K.
Usefulness of coadministration of tacrolimus and diltiazem in a heart transplant recipient.
International Conference on Drug Interaction, Hamamatsu, October 21-23, 1999.

2000年

21. Kariyazono, H., Nakamura, K., Shinkawa, T., Yamaguchi, T., Oiso, S., Moriyama, Y., Yamada, K.
Anti-platelet effects of corforsin darorate in vitro.

-
- VII World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics IUPHAR-Division of Clinical Pharmacology & 4th Congress of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics (EACPT), Florence, July 15-20, 2000.
22. Nakamura, K., Moriyama, Y., Kariyazono, H., Yamada, K.
Useful marker for clinical evaluation of anti-platelet drugs.
VII World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics IUPHAR-Division of Clinical Pharmacology & 4th Congress of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics (EACPT), Florence, July 15-20, 2000.
23. Motoya, T., Agemura, H., Shimodozono, Y., Kawachi, A., Arimura, T., Yamashita, M., Shibahara, K., Ishida, K., Yamada, K.
The spread of clinical pharmacy practice in Japan.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2000 (60th International Congress of FIP), Vienna, August 27-September 1, 2000.
24. Kariyazono, H., Nakamura, K., Hamada, N., Sakata, R., Yamada, K.
Nutritional state and alpha-1-acid glycoprotein in cancer patients.
International Symposium on Serum Albumin and Alpha 1-Acid Glycoprotein, Kumamoto, October 3-6, 2000.
25. Kawachi, A., Kozako, T., Cheng, S., Nakagawa, S., Yamada, K.
Barrel rotation induced by central vasopressin or endothelin-1 treatment in rats.
The 15th Korea-Japan Joint Seminar on Pharmacology, Seoul, October 19, 2000.
26. Kitazono, M., Ikeda, R., Sumizawa, T., Furukawa, T., Okumura, H., Seto, K., Aikou, T., Akiyama, S.
Reversal of LRP-associated drug resistance in colon carcinoma SW-620 cells.
91st Annual Meeting, AACR, San Francisco, April 3, 2000.

2001年

27. Nakamura, K., Kariyazono, H., Onimaru, S., Yamada, K.
Relationship between von Willebrand factor and hypercoagulability in patients after mechanical valve replacement.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2000 (61st International Congress of FIP), Singapore, September 2-6, 2001.
28. Kawachi, A., Kozako, T., Cheng, S., Kuchiiwa, S., Nakagawa, S., Yamada, K.
Role of dopamine D3 receptors in thermoregulatory functions in rats.
2001 Collegium International Neuro-Psychopharmacologium, Hiroshima, October 2-5, 2001.
29. Goshi, A., Cheng, S., Kuchiiwa, S., Kawachi, A., Nakagawa, S., Yamada, K.
Barrel rotation induced by intracerebroventricular injections of the angiotensin AT1 receptor antagonists in rats.
2001 Collegium International Neuro-Psychopharmacologium, Hiroshima, October 2-5, 2001.
30. Miyata, A., Sugawara, H., Sano, H., Inoue, H., Matsuo, H., Arimura, A., Kangawa, K.
Characterization of the mouse PACAP gene promoter.
The 5th International Symposium on VIP, PACAP, Secretin, Glucagon and Related Peptides, Santa Barbara, USA, November 4-8, 2001.

2002年

31. Simodozono, Y., Motoya, T., Kurita, M., Oiso, S., Shibayama, Y., Yamada, K.
Comparison between the nomogram method and pharmacokinetic analysis for planning the initial dose of vancomycin.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2002 (62nd International Congress of FIP), Nice, August 31-September 5, 2002.
32. Yamaguchi, T., Motoya, T., Oiso, S., Yamada, K.
The influence of allopurinol on the serum level of theophylline.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2002 (62nd International Congress of FIP), Nice, August 31-September 5, 2002.
33. Nakamura, K., Kariyazono, H., Arima, J., Yamada, K.
Comparison of antiplatelet effects of aspirin or its combination with atolvastatin after coronary artery bypass grafting.
The 16th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology, Tokyo, October 3-5, 2002.
34. Kariyazono, H., Nakamura, K., Arima, J., Onimaru, S., Yamada, K.
Usefulness of combined therapy of aspirin and atolvastatin after coronary artery bypass grafting.

The 19th Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2002), Seoul, October 5-8, 2002.

2003年

35. Futagawa, T., Sugawara, H., Ushiyama, M., Yamada, K., Miyata, A.
Characterization of the testis-specific promoter region in human pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) gene.
The 6th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Hakone, September 1-4, 2003.
36. Sugawara, H., Shimizu, T., Iwata, S., Yamada, K., Mori, N., Miyata, A.
Involvement of neural restrictive silencer (NRS) in the regulatory mechanism of PACAP gene expression.
The 6th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Hakone, September 1-4, 2003.
37. Shimizu, T., Katahira, M., Sugawara, H., Inoue, K., Miyata, A.
Effects of intrathecal PACAP injection on nociceptive transmission in mice.
The 6th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Hakone, September 1-4, 2003.
38. Takeda, Y., Lee, S., Lemmon, V., Futagawa, T., Oiso, S., Shibayama, Y., Watanabe, K., Yamada, K.
Involvement of GPI-anchored adhesion molecules in lipid raft derived from central synaptosome.
33rd Society for Neuroscience annual meeting, New Orleans, November 8-13, 2003.
39. Sugawara, H., Inoue, K., Shimizu, T., Iwata, S., Yamada, K., Miyata, A.
Involvement of neural-restrictive silencer (NRS) in the regulatory mechanism of pituitary adenylate-cyclase activating polypeptide (PACAP) gene expression.
33rd Society for Neuroscience annual meeting, New Orleans, November 8-13, 2003.

2004年

40. Takeda, Y., Futagawa, T., Oiso, S., Lee, S., Lemmon, V., Watanabe, K., Yamada, K.
Molecular organization of lipid rafts derived from central myelin and synaptosome.
The 2nd Pharmaceutical Sciences World Congress, Kyoto, May 29-June 3, 2004.
41. Shibayama, Y., Ushinohama, K., Motoya, T., Takeda, Y., Yamada, K.
Methotrexate treatment downregulates MRP2, OAT1 and OAT3 in rats.
The 2nd Pharmaceutical Sciences World Congress, Kyoto, May 29-June 3, 2004.
42. Motoya, T., Thevanayagam, L. N., Blaschke, T. F., Au S., Stone, J. A., Jayewardene, A. L., Chi, J., Aweeka, F. T., Kawachi, A., Yamada, K.
Protein binding interaction of nelfinavir.
The 2nd Pharmaceutical Sciences World Congress, Kyoto, May 29-June 3, 2004.
43. Nakamura, K., Kariyazono, H., Arima, J., Onimaru, S., Masuda, H., Sakata, R., Yamada, K.
Cooperative effects of aspirin and atorvastatin on platelet function in patients undergoing coronary artery bypass grafting.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2004 (64th International Congress of FIP), New Orleans, September 4-9, 2004.
44. Takeda, Y., Watanabe, K., Yamada, K.
Functional analysis of neural adhesion molecules NB-2 and NB-3 in the central nervous system.
The 17th Korea-Japan Joint Seminar on Pharmacology, Jounju, September 30-October 1, 2004.

2005年

45. Sonoda, J., Kozako, T., Li, H., Yamada, K., Kawahira, K., Arima, N., Sonoda, S.
Green tea polyphenols reduce HTLV-1 provirus load in peripheral blood mononuclear cells of HTLV-1 carriers.
12th International Conference on Human Retrovirology, Montego Bay, June 22-25, 2005.
46. Takeda, Y., Matsumoto, K., Miyagoe, T., Oiso, S., Shimodono, Y., Yamada, K.
Determining dose regimen of teicoplanin used nomogram method.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2005 (65th International Congress of FIP), Cairo, September 2-8, 2005.
47. Kariyazono, H., Nakamura, K., Komokata, T., Nakamura, N., Sakata, R., Yamada, K.
Effects of impact (Japan) on perioperative inflammatory and immune responses in patients undergoing major surgery for cancer.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2005 (65th International Congress of FIP), Cairo, September 2-8, 2005.
48. Ushiyama, M., Sugawara, H., Inoue, K., Yamada, K., Miyata, A.
Diversity of intracellular signaling of PAC1 variants due to combination of alternative splicings in the first extracellular domain and the third intracellular loop.

-
- 7th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Rouen, September 11-14, 2005.
49. Futagawa, T., Oiso, S., Miura, T., Horai, S., Nishida, K., Ishihara, Y., Kuchiiwa, K., Watanabe, K., Takeda, Y., Yamada, K.
Analyses of molecular interaction and distribution of Caspr4 (contactin associated protein 4) in nervous system.
The 35th Annual Meeting of Society for Neuroscience, Washington, November 13-16, 2005.
50. Horai, S., Watanabe, I., Futagawa, T., Oiso, S., Abe, S., Ando, T., Akiba, S., Kuno, K., Takeda, Y., Yamada, K.
Analysis of detoxifying and excreting mechanisms for methyl mercury accumulated in the brain and liver.
The 35th Annual Meeting of Society for Neuroscience, Washington, November 13-16, 2005.
51. Sugawara, H., Futagawa, T., Tominaga, A., Inoue, K., Yamada, K., Miyata, A.
Characterization of the testis-specific promoter region in human pituitary adenylate-cyclase activating polypeptide (PACAP) gene.
The 35th Annual Meeting of Society for Neuroscience, Washington, November 13-16, 2005.

2006年

52. Takeda, Y., Futagawa, T., Oiso, S., Nishida, K., Miura, T., Ishihara, Y., Watanabe, K., Yamada, K.
Expression and molecular interactions of contactin-associated proteins (Caspr) on the brain organization.
The 6th International Symposium on 'Global Renaissance by Green Energy Revolution' The 21st Century COE Program, Nagaoka, January 26-27, 2006.
53. Kariyazono, H., Nakamura, K., Ikeda, R., Yamamoto, H., Sakata, R., Yamada, K.
Influence of ω -3 fatty acid-rich supplement on platelet-leukocyte complex formation in patients undergoing cardiac surgery.
The 5th Korea-Japan Joint Symposium for Clinical Information on Parenteral Drugs, Seoul, July 8-9, 2006.
54. Takeda, Y., Oiso, S., Futagawa, T., Yamada, K.
Characterization and molecular interaction of contactin associated protein 2 (Caspr2) in the central nervous system.
The 18th Japan-Korea Joint Seminar of Pharmacology, Fukui, September 16-17, 2006.
55. Nakamura, K., Kariyazono, H., Ikeda, R., Yamada, K., Sakata, R.
Effects of omega-3 fatty acid supplementation on immune and inflammatory responses in patients undergoing cardiac surgery.
The 21st Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2006), Yokohama, November 18-21, 2006.
56. Sakurai, K., Takeda, Y., Shimoda, Y., Watanabe, K.
Localization of the neural cell recognition molecule NB-3 in the developing rat brain.
The 6th International Symposium on 'Global Renaissance by Green Energy Revolution' The 21st Century COE Program, Nagaoka, January 26-27, 2006.
57. Toyoshima, M., Takeda, Y., Shimoda, Y., Watanabe, K.
Immunohistochemical analysis of neural recognition molecule NB-2 in rat brain.
The 6th International Symposium on 'Global Renaissance by Green Energy Revolution' The 21st Century COE Program, Nagaoka, January 26-27, 2006.

2007年

58. Matsumoto, K., Abematsu, K., Nishida, K., Oiso, S., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
The utility of therapeutic drug monitoring of voriconazole and CYP2C19 genotyping in Japanese.
ASHP 2007 Summer Meeting, San Francisco, June 24-27, 2007.
59. Takeda, E., Arima, J., Shibayama, Y., Simodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Intervention of pharmacists in oncology chemotherapy.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2007 (67th International Congress of FIP), Beijing, August 31-September 6, 2007.
60. Tominaga, A., Sugawara, H., Inoue, K., Iwata, S., Shimizu, T., Miyata, A.
Nicotine augments gene expression of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) in PC12 cells.
The 8th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Manchester, September 3-8, 2007.
61. Tominaga, A., Sugawara, H., Inoue, K., Iwata, S., Shimizu, T., Miyata, A.
Characterization of the testis-specific promoter region in human pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) gene.
The 8th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Manchester, September 3-8, 2007.

2008年

62. Sugawara, H., Fujisaki, Y., Sonoda, J., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Survey of opioid usage and the role of pharmacist of palliative care team in Kagoshima university hospital.
World congress of pharmacy and pharmaceutical sciences 2008 (68th international congress of FIP), Basel,
August 29–September 4, 2008.
63. Takeda, Y., Nishida, K., Yamada, K.
Microarray analysis on gene expression regarding to neuropathic pain induced by anti-cancer drug
paclitaxel.
The 19th Korea-Japan Joint Seminar on Pharmacology, Busan, November 7-8, 2008.
64. Iwashita, K., Ikeda, R., Takeda, Y., Tajitsu, Y., Nishizawa, Y., Yamaguchi, T., Furukawa, T., Akiyama, S.,
Yamada, K.
Major vault protein negatively regulates hypoxia-inducible factor-1 α protein levels in ACHN humanrenal
adenocarcinoma cells under hypoxic conditions.
The 19th Korea-Japan Joint Seminar on Pharmacology, Busan, November 7-8, 2008.
65. Futagawa, T., Ma, Q. H., Xiao, Z. C., Takeda, Y., Yamada, K.
A TAG-1/APP signaling pathway through Fe65 negatively modulates neurogenesis.
The 19th Korea-Japan Joint Seminar on Pharmacology, Busan, November 7-8, 2008.
66. Tabata, S., Yamamoto, M., Ikeda, R., Furukawa, T., Che, X.-F., Zhao, H.-Y., Jia, W., Mukaida, N., Iwashita, K.,
Takeda, Y., Akiyama, S., Yamada, K.
The role of NF- κ B on the enhanced expression of interleukin-8 in thymidine phosphorylate-expressing
tumor cells.
The 19th Korea-Japan Joint Seminar on Pharmacology, Busan, November 7-8, 2008.
67. Takeda, E., Arima, J., Shibayama, Y., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Pharmacist Intervention in Cancer Chemotherapy.
The 22nd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2008), Singapore, November
7-10, 2008.
68. Yaji, K., Takeda, Y., Shimodozono, Y., Yamada, K.
Checking prescriptions using monitoring folder for an oral anticancer drug therapy by pharmacists.
The 22nd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2008), Singapore, November
7-10, 2008.
69. Ikeda, R., Takeda, Y., Akiyama, S., Yamada, K.
Molecular basis for the inhibition of hypoxia-induced apoptosis by thymidine phosphorylase.
The 22nd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2008), Singapore, November
7-10, 2008.

2009年

70. Kondo, T., Matsumoto, K., Tanaka, S., Yamaguchi, T., Nishi, S., Ueno, K., Ogura, T., Takeda, Y., Yamada, K.
Educational workshops by pharmacists improve the knowledge of medical staff about pharmaceutical
treatment for diabetes mellitus.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2009 (69th International Congress of FIP),
Istanbul, September 3-8, 2009.
71. Ushiyama, M., Ikeda, R., Sugawara, H., Inoue, K., Kangawa, K., Yamada, K., Miyata, A.
Alternative splicing of the pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) receptor contribute to
function of PACAP-27.
The 9th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Kagoshima, October 5-8, 2009.
72. Sugawara, H., Tominaga, A., Yamada, K., Miyata A.
The alternative regulation of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) gene expression
by neural-restrictive silencer.
The 9th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides, Kagoshima, October 5-8, 2009.
73. Matsumoto, K., Kondo, T., Kanazawa, N., Yokoyama, Y., Fukamizu, T., Takeda, Y., Mukai, M., Arimura, H.,
Nakazaki, M., Ikawa, K., Morikawa, N., Tei, C., Yamada, K.
Dexamethasone reduced voriconazole plasma level in a patient who carries CYP2C19 mutant.
Asian Federation for Pharmaceutical Sciences 2009, Fukuoka, October 15-18, 2009.
74. Takeda, Y., Nishida, K., Yamada, K.
Molecular mechanism for anti-cancer drug Paclitaxel-induced neuropathic pain -behavior and microarray
analyses-
Asian Federation for Pharmaceutical Sciences 2009, Fukuoka, October 15-18, 2009.
75. Ushiyama, M., Ikeda, R., Yamaguchi, H., Miyawaki, A., Yamaguchi, T., Tazitsu, Y., Nishizawa, Y.,

Shimodouzono, Y., Nakamura, N., Takeda, Y., Yamada, K.

Analysis of adverse events for superselective intra-arterial infusion chemotherapy in patients with oral cancer.

2009 China-Japan Pharmacists' International Forum (CJPIF 2009), Beijing, November 14-15, 2009.

76. Shigemi, A., Matsumoto, K., Yaji, K., Shimodouzono, Y., Takeda, Y., Miyano-hara, H., Orita, M., Tokuda, K., Nish, J., Yamada, K.
Correlation between meropenem and doripenem usage density and the incidence of carbapenem-resistance *Pseudomonas aeruginosa*.
2009 China-Japan Pharmacists' International Forum (CJPIF 2009), Beijing, November 14-15, 2009.

2010年

77. Ushiyama, M., Ikeda, R., Miyawaki, A., Yamaguchi, T., Tazitsu, Y., Nishizawa, Y., Mataka, H., Nakamura, N., Takeda, Y., Yamada, K.
Clinical evaluation and comparison of the two in vitro chemosensitivity test for patients with oral cancer.
World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2010 (70th International Congress of FIP), Lisbon, August 28-September 2, 2010.
78. Futagawa, T., Chen, Z. C., Ma, Q. H., Masuda, S., Xiao, Z. C., Takeda, Y., Yamada, K.
The interaction of contactin associated protein (Caspr) 4 with ligand of Numb protein X (LNx) 2 promotes neurogenesis in the developmental brain.
Glia World 2010, Shonan, October 5-8, 2010.
79. Fujisaki, Y., Sugawara, H., Shimodouzono, Y., Yamaguchi, T., Takeda, Y., Yamada, K.
Evaluation of antiemetics prescribed during cisplatin-based highly emetogenic chemotherapy in patients with advanced urothelial cancer.
The 23rd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2010), Taipei, November 5-8, 2010.
80. Saito, S., Arima, J., Shimodouzono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Role of the pharmacist in the operating room.
The 23rd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2010), Taipei, November 5-8, 2010.
81. Takeda, E., Shigenaga, A., Ushiyama, M., Yaji, K., Shimodouzono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Further attempts at preventing dispensing errors.
The 23rd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress (FAPA 2010), Taipei, November 5-8, 2010.
82. Futagawa, T., Onimaru, T., Chen, Z. C., Masuda, S., Suehiro, Y., Yamaguchi, S., Xiao, Z. C., Takeda, Y., Yamada, K.
The interaction of contactin associated protein (Caspr) 4 with ligand of Numb protein X (LNx) 2 promotes neurogenesis in the developmental brain.
The 20th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology, Kagoshima, November 26-27, 2010.
83. Ikeda, R., Vermeulen, L. C., Kolesar, J. M., Takeda, Y., Yamada, K.
Isolation and characterization of gemcitabine-resistant in human non-small cell lung cancer A549 cells.
The 20th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology, Kagoshima, November 26-27, 2010.

国内学会

1994年

1. 山口 辰哉、本屋 敏郎、中村和男、山田 勝士、木佐貫 彰、野添 新一、田中 弘允、前田 博子
服薬指導で経験した副作用に関する症例報告
日本薬学会第114年会、東京、1994.
2. 揚村 浩文、小原 該一、西牟田 祐昭、本屋 敏郎、山口 辰哉、下堂蘭 権洋、山田 勝士
血清蛋白結合における薬物相互作用に及ぼす併用薬物濃度の影響
日本薬学会第114年会、東京、1994.
3. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士、豊平 均、森山 由紀則、下川 新二、平 明
抗凝固療法時におけるトロンビン・アンチトロンビン III 複合体 (TAT) 及び血小板凝集能の検討
日本薬学会第114年会、東京、1994.
4. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、下堂蘭 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、豊平 均、森山 由紀則、下川 新二、平 明
抗生物質血小板凝集能に及ぼす影響

-
- 日本薬学会第114年会、東京、1994.
5. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、下堂蘭 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士
抗生物質血小板凝集能に及ぼす影響について
第47回日本薬理学会西南部会、長崎、1994.
 6. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士
人工弁置換術後における抗凝固剤と抗血小板剤併用の有用性について
第47回日本薬理学会西南部会、長崎、1994.

1995年

7. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士、田中 紘輝、生駒 明、豊平均、平 明
術後中心静脈栄養時のサイトカイン測定の意義について
日本薬学会第115年会、仙台、1995.
8. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、下堂蘭 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、豊平均、森山 由紀則、平 明
塩酸サルボグレラートの血小板凝集抑制効果の測定方法について
日本薬学会第115年会、仙台、1995.
9. 山口 辰哉、本屋 敏郎、中村 和男、山田 勝士、成尾 鉄朗、日高 史郎、野添 新一、田中 弘允、前田 博子
服薬指導において留意すべき神経性食欲不振症患者の合併症－肝障害と血液障害－
日本薬学会第115年会、仙台、1995.
10. 本屋 敏郎、下園 拓郎、山口 辰哉、新川 輝俊、中村 和男、下堂蘭 権洋、若松 弘文、山田 勝士
ニューキノロン系抗菌剤の吸収に及ぼす牛乳の影響
第12回日本 TDM 学会、福岡、1995.

1996年

11. 山口 辰哉、本屋 敏郎、山田 勝士、安部 智、田中 弘允、前田 博子
服薬指導を実施した虚血性心疾患患者の疾患認識と患者背景
医療薬学フォーラム1996/ 第6回クリニカルファーマシーシンポジウム、長崎、1996.
12. 下堂蘭 権洋、下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士、宇都 由美子、熊本 一郎
WWW を利用した医薬品情報の検索と提供
第16回医療情報学連合大会、東京、1996.
13. 河内 明夫、本屋 敏郎、宮下 正日出、下堂蘭 権洋、山田 勝士
ワルファリンと非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs) の治療濃度における蛋白結合に関する相互作用の見直し
第6回日本病院薬学会年会、仙台、1996.
14. 若松 弘文、柴山 良彦、新川 輝俊、本屋 敏郎、山田 勝士
院外及び院内処方オーダーリングにおける処方修正に関する検討
第60回九州山口薬学大会、唐津、1996.

1997年

15. 仮屋蘭 博子、中村 和男、山下 珠代、山田 勝士、田中 紘輝、浜田 信男、豊平均、平 明
腹部外科手術後のサイトカインおよび rapid turnover protein の推移について
日本薬学会第117年会、東京、1997.
16. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士、豊平均、森山 由紀則、平 明
人工弁置換術後の F1+2、TAT、protein C および血小板凝集能の推移について
日本薬学会第117年会、東京、1997.
17. 宮下 正日出、本屋 敏郎、河内 明夫、山田 勝士
セフジニルと鉄剤の相互作用における硫酸第一鉄、クエン酸第一鉄ナトリウム、フマル酸第一鉄の比較
日本薬学会第117年会、東京、1997.
18. 仮屋蘭 博子、中村 和男、山下 珠代、新川 輝俊、山田 勝士、豊平均、森山 由紀則、久保 博明、平 明
In vitro におけるシロスタゾールの血小板凝集抑制効果と P-selectin 濃度との関連性について
第18回日本臨床薬理学会年会、東京、1997.
19. 中村 和男、仮屋蘭 博子、豊平均、森山 由紀則、平 明
サイトカイン、CRP および RTP による術後早期の栄養管理について
第18回日本臨床薬理学会年会、東京、1997.
20. 若松 弘文、新川 輝俊、下堂蘭 権洋、柴山 良彦、下園 拓郎、中村 和男、本屋 敏郎、山田 勝士
オンラインによる薬剤情報提供システムの構築
第7回日本病院薬学会年会、名古屋、1997.

-
21. 門野 潤、田中 紘輝、浜田 信男、生駒 明、菰方 輝夫、西田 聖剛、中村 登、豊平 均、平 明、
中村 和男、仮屋蘭 博子
術式別手術侵襲と血中炎症性サイトカイン
第49回日本消化器外科学会総会、福岡、1997.
 22. 下堂蘭 権洋、下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学病院における抗生物質の使用実態
第3回日本薬剤疫学研究会、東京、1997.
 23. 河内 明夫、宮下 正日出、郷司 敦司、本屋 敏郎、山田 勝士
Arg8-vasopressin 及び endothelin-1の脳室内投与による胴体回転行動に関する研究
第27回神経精神薬理学会年会、鹿児島、1997.
 24. 高木 望、山口 辰哉、山下 珠代、猪八重 潤子、本屋 敏郎、山田 勝士
治験の特定療養費制度に対する取り組み
第61回九州山口薬学大会、熊本、1997.

1998年

25. 鮎川 修、中村 和男、仮屋蘭 博子、山下 珠代、山田 勝士、豊平 均、森山 由紀則、浜田 信男、
平 明
術後早期における好中球エラスターゼ測定の意義について
日本薬学会第118年会、京都、1998.
26. 柴山 良彦、若松 弘文、新川 輝俊、下堂蘭 権洋、下園 拓郎、中村 和男、本屋 敏郎、山田 勝士、
漆原 寛和、赤尾 茂、細尾 智道、衛藤 宏
処方オーダリングシステムを利用した薬剤情報提供システムの構築
日本薬学会第118年会、京都、1998.
27. 本屋 敏郎、宮下 正日出、河内 明夫、山田 勝士、藤森 浩行、山本 康史、坂之上 知稔、宇佐美 勉、
高本 和雄
ノルフロキサシン及びシプロフロキサシンの吸収に及ぼすクエン酸第一鉄のNaの影響
日本薬学会第118年会、京都、1998.
28. 下園 拓郎、若松 弘文、新川 輝俊、下堂蘭 権洋、中村 和男、本屋 敏郎、山田 勝士
処方オーダリングシステムを利用した薬剤情報提供システムの構築
日本薬学会第118年会、京都、1998.
29. 本屋 敏郎、宮下 正日出、河内 明夫、山田 勝士
鉄剤とセフェム系抗生物質の相互作用
日本薬剤学会第13年会、山梨、1998.
30. 仮屋蘭 博子、中村 和男、森山 由紀則、豊平 均、四元 剛一、平 明、山田 勝士
塩酸サルボグレラートの血小板凝集抑制作用とセロトニンおよびP-セレクチン放出との関連性
第19回日本臨床薬理学会年会、別府、1998.
31. 中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、山下 珠代、森山 由紀則、豊平 均、四元 剛一、
平 明、山田 勝士
H2-受容体拮抗剤の血小板凝集およびP-セレクチン放出に及ぼす影響
第19回日本臨床薬理学会、別府、1998.
32. 山口 辰哉、本屋 敏郎、中村 和男、山田 勝士、森 広安、郡山 暢之、山田 洋、枇榔 貞利、
鄭 忠和、前田 博子
多剤耐性肺結核症における副作用対策の1例
第8回日本病院薬学会年会、横浜、1998.
33. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、大磯 茂、山田 勝士、森山 由紀則、豊平 均、
四元 剛一、平 明
In vitroにおけるアスピリンの血小板凝集およびP-セレクチン放出に及ぼす影響
第15回日本薬学会九州支部大会、福岡、1998.
34. 中尾 承司、岩下 佳敬、佐多 照正、辻 夏織、本田 香奈恵、井ノ下 陽子、中野 理美子、石田 和久、
本屋 敏郎、山田 勝士
薬剤管理指導業務導入とその成果
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
35. 宮下 正日出、本屋 敏郎、河内 明夫、山田 勝士
シプロキサシンと鉄剤の相互作用
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
36. 千々和 真由子、仮屋蘭 博子、本屋 敏郎、山田 勝士
医療薬剤業務時における手指消毒の持続効果に関する検討
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.

-
37. 猪八重 潤子、山口 辰哉、石塚 史子、本屋 敏郎、山田 勝士
新 GCP 施行における治験動向の推移
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 38. 下園 拓郎、川原 陽子、大磯 茂、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学医学部附属病院における医薬品情報と薬剤の使用状況
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 39. 柴山 良彦、若松 弘文、下堂 権洋、梶 恭子、吉村 真、有馬 純子、本屋 敏郎、山田 勝士
近年の麻薬の使用動向
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 40. 梶 恭子、有馬 純子、吉村 真、若松 弘文、本屋 敏郎、山田 勝士
注射薬返却の実態と検討
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 41. 吉村 真、新川 輝俊、柴山 良彦、山崎 陽子、野田 陽子、本屋 敏郎、山田 勝士
全自動錠剤分包機内における錠剤の経時的変化
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 42. 大磯 茂、下園 拓郎、川原 陽子、本屋 敏郎、山田 勝士
アミノフィリンまたはイソニアジドと整腸剤との配合変化
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 43. 川原 陽子、大磯 茂、下園 拓郎、新川 輝俊、山田 勝士
特殊調剤、特殊製剤の実態について
第62回九州山口薬学大会、鹿児島、1998.
 44. 河内 明夫、宮下 正日出、本屋 敏郎、山田 勝士
アンジオテンシンタイプ1 (AT1) 受容体拮抗薬ロサルタンの脳室内投与による胴体回転行動
第28回神経精神薬理学会年会、東京、1998.

1999年

45. 鮎川 修、中村 和男、仮屋 博子、山田 勝士、森山 由紀則、平 明
解離性動脈瘤における血液凝固系および炎症反応の推移
日本薬学会第119年会、徳島、1999.
46. 千々和 真由子、仮屋 博子、野田 陽子、本屋 敏郎、山田 勝士
調剤における手指消毒の意義
日本薬学会第119年会、徳島、1999.
47. 梶 恭子、有馬 純子、吉村 真、若松 弘文、本屋 敏郎、山田 勝士
注射薬返却の削減に関する検討
日本薬学会第119年会、徳島、1999.
48. 中村 和男、仮屋 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、森山 由紀則、山田 勝士
シロスタゾールの抗血小板作用と顆粒内容物放出抑制作用について
第20回日本臨床薬理学会年会、横浜、1999.
49. 仮屋 博子、中村 和男、新川 輝俊、森山 由紀則、山田 勝士
P-セレクチンおよび血小板内サイクリック AMP に及ぼすシロスタゾールの影響
第20回日本臨床薬理学会年会、横浜、1999.
50. 山口 辰哉、本屋 敏郎、中村 和男、山田 勝士、川池 陽一、麻生 克己、加計 正文、有馬 直道、鄭 忠和、前田 博子
服薬指導で経験した大量の清涼飲料水摂取によりケトosisを発症した糖尿病の一例
第9回日本病院薬学会年会、札幌、1999.
51. 大磯 茂、本屋 敏郎、下堂 権洋、山崎 陽子、梶 恭子、山田 勝士、吉永 正夫、川畑 政治、川原 元司、白尾 一定、中野 一司、宮之原 弘晃、亀割 成子
バンコマイシン処方モニタリング及び適正使用推進活動による同薬剤使用状況の変化
第9回日本病院薬学会年会、札幌、1999.
52. 中村 和男、仮屋 博子、森山 由紀則、四元 剛一、山田 勝士
サルボグレートの血小板凝集抑制作用とセロトニンおよびP-セレクチン放出に及ぼす作用について
第52回日本薬理学会西南部会、鹿児島、1999.
53. 仮屋 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、山田 勝士
血小板内サイクリック AMP とセロトニン放出に及ぼすシロスタゾールの影響
第52回日本薬理学会西南部会、鹿児島、1999.
54. 河内 明夫、本屋 敏郎、宮下 正日出、郷司 敦司、小迫 知弘、池田 龍二、下堂 権洋、山田 勝士
ラットの胴体回転行動の発現機構におけるグルタミン酸受容体の関与
第52回日本薬理学会西南部会、鹿児島、1999.

55. 郷司 敦司、小迫 知弘、本屋 敏郎、山田 勝士
ラットにおける体温調節に対するドパミン D3受容体作動薬の影響
第29回神経精神薬理学会年会、広島、1999.
56. 佐多 照正、岩下 佳敬、辻 夏織、本田 香奈恵、中尾 承司、井ノ下 陽子、中野 理美子、石田和久、
本屋 敏郎、山田 勝士
高齢者に対する服薬指導の工夫とその成果
第63回九州山口薬学大会、宮崎、1999.
57. 山崎 陽子、下堂蘭 権洋、大磯 茂、柴山 良彦、梶 恭子、本屋 敏郎、山田 勝士
バンコマイシン TDM による適正使用の向上
第63回九州山口薬学大会、宮崎、1999.
58. 下畝 千恵、中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士、後藤 俊弘、八木 静男、常盤 光弘
生体腎移植患者におけるタクロリムスのトラフ値の推移
第63回九州山口薬学大会、宮崎、1999.
59. 川原 陽子、中村 和男、仮屋蘭 博子、山下 珠代、山田 勝士
血小板作用の保存条件と凝集能に関する検討
第63回九州山口薬学大会、宮崎、1999.

2000年

60. 小迫 知弘、河内 明夫、程 世斌、本屋 敏郎、口岩 聡、中河 志朗、山田 勝士
Endothelin-1誘発胴体回転行動における c-Fos 蛋白の発現
第30回日本神経精神薬理学会年会、仙台、2000.
61. 大磯 茂、本屋 敏郎、宮下 正日出、河内 明夫、山田 勝士
鉄吸収及び薬物相互作用に関するクエン酸第一鉄ナトリウムと硫酸第一鉄の比較
日本薬学会第120年会、岐阜、2000.
62. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、大磯 茂、坂田 隆造、山田 勝士
コルフォルシンダロパートの血小板機能に及ぼす影響
第21回日本臨床薬理学会年会、札幌、2000.
63. 中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、増田 宏、坂田 隆造、山田 勝士
アスピリンの血小板機能に及ぼす影響
第21回日本臨床薬理学会年会、札幌、2000.
64. 山口 辰哉、本屋 敏郎、中村 和男、山田 勝士、時任 紀明、鴨川 泰之、竹中 俊宏、山口 昭彦、
鄭 忠和、前田 博子
ペラプロスト投与により肺高血圧の著明な改善が得られ社会復帰に成功した原発性肺高血圧症の一症例
第21回日本臨床薬理学会、札幌、2000.
65. 古川 裕之、北川 明、工藤 正純、中尾 泰史、手島 みどり、山口 辰哉、西原 茂樹、比嘉 保、
手塚 春樹、宮本 謙一、中野 眞汎
被験者の治験に対する意識に関する多施設共同調査の試み
第21回日本臨床薬理学会、札幌、2000.
66. 屋地 慶子、宮下 正日出、室屋 チエ子、本屋 敏郎、山田 勝士
リハビリテーション科における服薬指導-血圧コントロールに対する認識の改善について-
第10回日本病院薬学会年会、京都、2000.
67. 佐多 照正、石田 和久、中尾 承司、岩下 佳敬、本屋 敏郎、山田 勝士
写真付き薬剤情報文書を用いた高齢者への服薬指導
第10回日本病院薬学会年会、京都、2000.
68. 千々和 真由子、下堂蘭 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士
薬剤部卒前実習生の医療薬剤業務に対する認識度
第10回日本医療薬学会年会、京都、2000.
69. 池田 龍二、北蘭 正樹、石塚 賢治、奥村 浩、谷 綾子、住澤 知之、原口 みさこ、古川 龍彦、
本屋 敏郎、山田 勝士、秋山 伸一
低酸素で誘導されるアポトーシスの2'-デオキシ-D-リボースによる抑制機構
平成12年度日本生化学会九州支部例会、福岡、2000.
70. 住澤 知之、北蘭 正樹、池田 龍二、秋山 伸一
LRP (lung resistance-related protein) の関与する薬剤耐性の克服
平成12年度日本生化学会九州支部例会、福岡、2000.
71. 住澤 知之、北蘭 正樹、池田 龍二、古川 龍彦、奥村 浩、長山 周一、愛甲 孝、秋山 伸一
LRP (lung resistance-related protein) の関与する薬剤耐性の克服
第59回日本癌学会、横浜、2000.
72. 池田 龍二、北蘭 正樹、石塚 賢治、奥村 浩、谷 綾子、小松 正治、住澤 知之、原口 みさこ、

- 古川 龍彦、本屋 敏郎、山田 勝士、秋山 伸一
低酸素で誘導されるアポトーシスの2-デオキシ-D-リボースによる抑制機構
第59回日本癌学会、横浜、2000.
73. 奥村 浩、住澤 知之、西山 賢龍、古川 龍彦、原口 みさこ、池田 龍二、小松 正治、愛甲 孝、秋山 伸一
LRP は MXR 発現細胞における薬剤耐性に関与する
第59回日本癌学会、横浜、2000.
74. 小松 正治、古川 龍彦、住澤 知之、寺田 邦彦、奥村 浩、池田 龍二、杉山 俊博、秋山 伸一
ATP7B の銅結合ドメインがシスプラチン耐性に与える影響
第59回日本癌学会、横浜、2000.
75. 小松 正治、住澤 知之、古川 龍彦、寺田 邦彦、武藤 昌図、奥村 浩、任 暁琴、池田 龍二、杉山 俊博、秋山 伸一
ATP7B の銅結合ドメインがシスプラチン耐性に与える影響
第73回日本生化学会大会、横浜、2000.
76. 鬼丸 俊司、中村 和男、坂田 隆造、山田 勝士
人工弁置換術後の抗凝固療法とフォン・ビルブランド因子の推移
第53回日本薬理学会西南部会、福岡、2000.
77. 岩下 佳敬、佐多 照正、井ノ下 陽子、本田 香奈恵、中尾 承司、辻 夏織、中野 理美子、石田和久、本屋 敏郎、山田 勝士
自己血輸血推進への取り組みとその成果
医療薬学フォーラム2000/ 第8回クリニカルファーマシーシンポジウム、仙台、2000.

2001年

78. 下畝 千恵、谷 由紀、下堂蘭 権洋、若松 弘文、新川 輝俊、梶 恭子、柴山 良彦、山田 勝士
鹿児島大学病院薬剤部における調剤過誤対策
日本薬学会第121年会、札幌、2001.
79. 有馬 純子、中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、大磯 茂、増田 宏、坂田 隆造、山田 勝士
血小板凝集能測定における Screen Filtration Pressure 法の有用性
日本薬学会第121年会、札幌、2001.
80. 下堂蘭 権洋、本屋 敏郎、若松 弘文、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、仮屋蘭 博子、山田 勝士
鹿児島大学病院薬剤部における医学・薬学教育
日本薬学会第121年会、札幌、2001.
81. 喜田 久美子、下畝 千恵、谷 由紀、下堂蘭 権洋、若松 弘文、山田 勝士
注射薬調剤室における疑義照会とリスクマネジメント対策
第11回日本医療薬学会年会、東京、2001.
82. 屋地 慶子、宮下 正日出、郷司 敦司、下堂蘭 権洋、山田 勝士
脳血管障害患者に対する薬剤管理指導の標準化－質の向上と効率化をめざして－
第11回日本医療薬学会年会、東京、2001.
83. 川原 陽子、中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、大磯 茂、有馬 純子、野田 陽子、鬼丸 俊司、山田 勝士
血小板機能に及ぼす温度の影響—可溶性 P-セレクトリンおよびトロンボキサン B2を指標として—
第11回日本医療薬学会年会、東京、2001.
84. 野田 陽子、山口 辰哉、大磯 茂、山田 勝士
鹿児島大学病院におけるモニタリングの現状及び問題点
第11回日本医療薬学会年会、東京、2001.
85. 糸嶺 達、饒平名 恵子、平良 智子、山内 祐子、芳原 隼男、比嘉 保、有馬 秀樹、神谷 晃、西田 朋子、大石 了三、藤戸 博、森 昌斗、中村 伸理子、佐々木 均、北川明、中野 眞汎、倉成 正恵、武山 正治、小野 浩重、有森 和彦、山口 辰哉、山田 勝士
九州地区における治験業務の実態について
第11回日本医療薬学会年会、東京、2001.
86. 山内 祐子、饒平名 恵子、平良 智子、糸嶺 達、芳原 隼男、比嘉 保、有馬 秀樹、神谷 晃、西田 朋子、大石 了三、藤戸 博、森 昌斗、中村 伸理子、佐々木 均、北川 明、中野 眞汎、倉成 正恵、武山 正治、小野 浩重、有森 和彦、山口 辰哉、山田 勝士
九州地区における治験コーディネーター (CRC) 活動の現状
第11回日本医療薬学会年会、東京、2001.
87. 中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、大磯 茂、有馬 純子、野田 陽子、山田 勝士
全血による血小板凝集と多血小板血漿による血小板凝集の比較

- 第74回日本薬理学会年会、横浜、2001.
88. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、鬼丸 俊司、川原 陽子、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
非ステロイド抗炎症薬の血小板機能抑制作用とシクロオキシゲナーゼ選択性との関連性
第22回日本臨床薬理学会年会、横浜、2001.
89. 下園 拓郎、柴山 良彦、下堂蘭 権洋、山田 勝士
医薬品情報としての薬剤使用動向
第4回日本医薬品情報学研究会総会学術大会、福島、2001.
90. 下堂蘭 権洋、宇都 由美子、村永 文学、熊本 一期、山田 勝士
入院患者のリスクマネジメント支援 -処方オーダー内容と指示変更の実態調査-
第21回医療情報学連合大会(第2回日本医療情報学会学術大会)、東京、2001.
91. 池田 龍二、北蘭 正樹、石塚 賢治、奥村 浩、谷 綾子、小松 正治、住澤 知之、原口 みさこ、
古川 龍彦、本屋 敏郎、山田 勝士、秋山 伸一
低酸素で誘導されるアポトーシスの2'-デオキシ-D-リボースによる抑制機構
第60回日本癌学会、横浜、2001.
92. 佐多 照正、石田 和久、中野 理美子、井ノ下 陽子、本田 香奈恵、中尾 承司、山下 カオリ、
岩下 佳敬、本屋 敏郎、山田 勝士
薬剤管理指導業務におけるビジュアル的効果
医療薬学フォーラム2001/第9回クリニカルファーマシーシンポジウム、熊本、2001.
93. 栗田 美穂、下堂蘭 権洋、下畝 千恵、新川 輝俊、若松 弘文、山田 勝士
薬薬連携におけるリスクマネジメント
第65回九州山口薬学大会、山口、2001.

2002年

94. 下堂蘭 権洋、田中 照夫、後藤 伸之、折井 孝男、政田 幹夫、久保田 潔、清水 直容、真山 武志
薬剤疫学的手法を利用した塩酸バンコマイシン適正使用に関する研究
日本薬学会第122年会、千葉、2002.
95. 有馬 純子、中村 和男、仮屋蘭 博子、増田 宏、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
バイパス術後の血小板機能におけるフローサイトメトリーの有用性
日本薬学会第122年会、千葉、2002.
96. 柴山 良彦、池田 龍二、本屋 敏郎、山田 勝士
ラットにおけるセイヨウオトギリソウ慢性投与による多剤耐性蛋白質2(MRP2)の過剰発現誘導
第75回日本薬理学会年会、熊本、2002.
97. 菅原 英輝、清水 隆雄、岩田 慎一、山田 勝士、宮田 篤郎
Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) 遺伝子の神経特異的発現の制御機構
第75回日本薬理学会年会、熊本、2002.
98. 谷 由紀、内村 聖子、下堂蘭 権洋、喜田 久美子、若松 弘文、山田 勝士
注射剤調剤時の疑義照会とリスクマネジメント
第12回日本医療薬学会年会、福岡、2002.
99. 大磯 茂、山口 辰哉、喜田 久美子、小倉 さと子、山田 勝士、愛甲 孝
鹿児島大学病院における治験コーディネーター活動の現況
第12回日本医療薬学会年会、福岡、2002.
100. 下堂蘭 権洋、栗田 美穂、大磯 茂、若松 弘文、山田 勝士
薬学生早期体験学習の試み-大学1、2年生を対象とした1日病院見学会-
第12回日本医療薬学会年会、福岡、2002.
101. 牛之濱 風見、柴山 良彦、本屋 敏郎、山田 勝士
ラットにおける MRP2発現量に及ぼす methotrexate の影響
第23回日本臨床薬理学会年会、大阪、2002.
102. 菅原 英輝、清水 隆雄、岩田 慎一、山田 勝士、森 望、宮田 篤郎
PC12細胞での Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) 遺伝子の神経特異的発現の制御機構の解析
第75回日本生化学会大会、京都、2002.
103. 下堂蘭 権洋、山口 辰哉、中村 和男、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学病院薬剤部における 医学部ならびに大学院教育への取組み
医療薬学フォーラム2002/第10回クリニカルファーマシーシンポジウム、千葉、2002.
104. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士
無菌調製における問題点-TPN 未実施施設の現状と今後の対応-
第17回日本静脈経腸栄養学会、熊本、2002.
105. 園田 純一郎、小迫 知弘、屋敷 伸治、藤吉 利信、園田 俊郎

- 緑茶飲用による ATL 予防介入 - HTLV-1 プロウイルス DNA 量の追跡評価 -
第61回日本癌学会、東京、2002.
106. 池田 龍二、古川 龍彦、北藪 正樹、奥村 浩、住澤 知之、原口 みさこ、井ノ上 逸朗、山田 勝士、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼ (TP) は抗癌剤によって誘導されるアポトーシスに対して抵抗性を賦与する
第61回日本癌学会、東京、2002.
107. 菅原 英輝、清水 隆雄、岩田 慎一、山田 勝士、森 望、宮田 篤郎
PC12細胞での Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) 遺伝子発現調節における神経選択的サイレンサーの役割
第55回日本薬理学会西南部会、北九州、2002.
108. 清水 隆雄、菅原 英輝、宮田 篤郎
マウス脊髄における下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ペプチド (PACAP) 受容体の痛覚への役割: PACAP と VIP の比較検討
第55回日本薬理学会西南部会、北九州、2002.
109. 屋地 慶子、下堂園 権洋、河内 明夫、新川 輝俊、山田 勝士
重大な処方ミスに対する疑義照会と診療科への報告制度
第66回九州山口薬学大会、沖縄、2002.
110. 下園 拓郎、山田 勝士
適正使用推進のための使用実態調査
第66回九州山口薬学大会、沖縄、2002.

2003年

111. 中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、鬼丸 俊司、増田 宏、四元 剛一、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
バイパス術後の薬物療法とサイトカインレセプター、接着分子、増殖因子および炎症性マーカーの推移
日本薬学会第123年会、長崎、2003.
112. 鮎川 修、中村 和男、仮屋蘭 博子、菰方 輝夫、浜田 信男、坂田 隆造、山田 勝士
TNF RI の炎症性マーカーとしての有用性
日本薬学会第123年会、長崎、2003.
113. 鬼丸 俊司、中村 和男、仮屋蘭 博子、上野 隆幸、福元 祥浩、坂田 隆造、山田 勝士
エダラボンの活性酸素種産生と細胞接着分子放出に及ぼす影響
第76回日本薬理学会年会、福岡、2003.
114. 菅原 英輝、清水 隆雄、岩田 慎一、山田 勝士、森 望、宮田 篤郎
PACAP 遺伝子発現制御機構における神経選択的サイレンサー (NRSE) の関与
第76回日本薬理学会年会、福岡、2003.
115. 宮田 篤郎、菅原 英輝、岩田 慎一、清水 隆雄、二川 俊隆、寒川 賢治
PACAP 遺伝子の神経特異的発現調節機序
第76回日本薬理学会年会、福岡、2003.
116. 清水 隆雄、片平 光昭、菅原 英輝、宮田 篤郎
マウス脊髄に於ける PACAP の痛覚への作用: 痛覚過敏発現の検討
第76回日本薬理学会年会、福岡、2003.
117. 中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、鬼丸 俊司、増田 宏、四元 剛一、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
バイパス術後の薬物療法とサイトカインレセプター、接着分子、増殖因子および炎症性マーカーの推移
第13回日本医療薬学会年会、神戸、2003.
118. 仮屋蘭 博子、中村 和男、武田 泰生、菰方 輝夫、浜田 信男、坂田 隆造、山田 勝士
各種パラメータを用いた消化器癌患者の immunonutrition の評価
第13回日本医療薬学会年会、神戸、2003.
119. 西田 健太郎、下堂園 権洋、山口 辰哉、藤本 貞毅、山田 勝士
性差医学に対する医師の意識調査
第13回日本医療薬学会年会、神戸、2003.
120. 仮屋蘭 博子、中村 和男、武田 泰生、菰方 輝夫、浜田 信男、坂田 隆造、山田 勝士
各種パラメータを用いた消化器癌患者の immunonutrition の評価
第13回日本医療薬学会年会、神戸、2003.
121. 中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、鬼丸 俊司、増田 宏、四元 剛一、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
バイパス術後の薬物療法とサイトカインレセプター、接着分子、増殖因子および炎症性マーカーの推移
第13回日本医療薬学会年会、神戸、2003.

122. 有馬 純子、中村 和男、仮屋蘭 博子、武田 泰生、山田 勝士、四元 剛一、井畔 能文、坂田 隆造
ヘパリン起因性血小板減少症患者の血小板凝集能の評価
医療薬学フォーラム2003/第11回クリニカルファーマシーシンポジウム、広島、2003.
123. 大磯 茂、下堂蘭 権洋、茂見 茜里、宮越 妙子、山田 勝士、上峯 和子、吉永 正夫
新人職員及び実習生等の水痘、麻疹、風疹、ムンプス抗体価の確認及び抗体陰性者のワクチン接種の必要性について
医療薬学フォーラム2003/第11回クリニカルファーマシーシンポジウム、広島、2003.
124. 柴山 良彦、武田 泰生、山田 勝士
アメリカにおける医療薬剤業務に関する調査
医療薬学フォーラム2003/第11回クリニカルファーマシーシンポジウム、広島、2003.
125. 山口 辰哉、柴田 由香里、大磯 茂、小倉 さと子、山田 勝士、高松 英夫
鹿児島大学病院における重篤な有害事象への対応
第24回日本臨床薬理学会年会、横浜、2003.
126. 有馬 純子、中村 和男、仮屋蘭 博子、武田 泰生、四元 剛一、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
ヘパリン起因性血小板減少症と血小板凝集能について
第24回日本臨床薬理学会年会、横浜、2003.
127. 牛山 美奈、菅原 英輝、井上 和彦、山田 勝士、宮田 篤郎
マウス心臓に発現する PACAP 特異的受容体 PAC1バリエーションの機能解析
第56回日本薬理学会西南部会、大分、2003.
128. 武田 泰生、二川 俊隆、大磯 茂、柴山 良彦、李 順姫、Lemmon, V、渡邊 和忠、山田 勝士
後シナプス肥厚部における GPI- アンカー型神経接着分子コンタクト群の局在と機能について
第56回日本薬理学会西南部会、大分、2003.
129. 清水 隆雄、井上 和彦、菅原 英輝、宮田 篤郎
マウス脊髄に於ける PACAP の痛覚への作用：Substance P 及び NMDA による痛み様反応に及ぼす PACAP 前処置の効果
第56回日本薬理学会西南部会、大分、2003.
130. 小倉 さと子、山口 辰哉、大磯 茂、柴田 由香里、山田 勝士、高松 英夫
鹿児島大学医学部附属病院における CRC 活動の現状
第3回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議2003、東京、2003.

2004年

131. 中村 和男、仮屋蘭 博子、菰方 輝夫、濱田 信男、坂田 隆造、山田 勝士
免疫栄養剤の術前投与と術後の n-6系脂肪酸 /n-3系脂肪酸比および炎症反応マーカーの推移について
第19回日本静脈経腸栄養学会、大阪、2004.
132. 鬼丸 俊司、中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、増田 宏、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
バイパス術後のアスピリン・アトルバスタチン併用療法の意義
第77回日本薬理学会年会、大阪、2004.
133. 宮田 篤郎、子亀 浩市、井上 和彦、菅原 英輝、岩田 慎一、寒川 賢治
ラットアストロサイトにおいて PACAP により発現誘導される遺伝子群の網羅的解析
第77回日本薬理学会年会、大阪、2004.
134. 柴山 良彦、李 順姫、Vance, L.、武田 泰生、山田 勝士
神経細胞接着分子 L1の軸索伸長における細胞内ドメインの役割
第77回日本薬理学会年会、大阪、2004.
135. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士
抗凝固療法における薬剤管理指導業務の更なる向上
日本薬学会第124年会サテライトシンポジウム、名古屋、2004.
136. 有馬 純子、仮屋蘭 博子、武田 泰生、山田 勝士
国際的に活躍できる薬剤師養成への取り組み
日本薬学会第124年会サテライトシンポジウム、名古屋、2004.
137. 柴山 良彦、宮内 希弥子、新川 輝俊、武田 泰生、山田 勝士
外国人向けの服薬指導マニュアルの作成について
日本薬学会第124年会サテライトシンポジウム、名古屋、2004.
138. 仮屋蘭 博子、中村 和男、有馬 純子、鬼丸 俊司、増田 宏、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
抗血小板作用の評価における血小板凝集能測定の意味
日本薬学会第124年会、大阪、2004.
139. 鮎川 修、中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、鬼丸 俊司、山田 勝士
血小板の反応性に及ぼす保存温度の影響
日本薬学会第124年会、大阪、2004.

140. 下園 拓郎、松元 一明、下堂 蘭 権洋、山田 勝士
ワルファリンと経腸栄養剤との併用に関する実態調査
日本薬学会第124年会、大阪、2004.
141. 茂見 茜里、桐野 友子、久津輪 久世、谷 由紀、宮越 妙子、下堂 蘭 権洋、田中 信行、山田 勝士
原因解明に至ったフェニトイン中毒患者の症例と薬剤師の関わり
日本薬学会第124年会、大阪、2004.
142. 有馬 純子、中村 和男、仮屋 蘭 博子、鮎川 修、鬼丸 俊司、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
スタチン系薬剤の冠動脈バイパス術後の凝固・線溶系に及ぼす影響
第25回日本臨床薬理学会年会、静岡、2004.
143. 柴山 良彦、松元 一明、宮越 妙子、栗田 美穂、下堂 蘭 権洋、本屋 敏郎、武田 泰生、山田 勝士
メトトレキサート大量療法における血清尿酸値およびメトトレキサート血中濃度に関する遡及的研究
第14回日本医療薬学会年会、千葉、2004.
144. 河内 明夫、大久保 具明、本屋 敏郎、山田 勝士
英国スコットランドにおける病院薬剤師事情
第14回日本医療薬学会年会、千葉、2004.
145. 柴田 由香里、山口 辰哉、大磯 茂、小倉 さと子、山田 勝士、高松 英夫
病院総合および独立法人化に伴う治験業務の改善
第14回日本医療薬学会年会、千葉、2004.
146. 二川 俊隆、大磯 茂、武田 泰生、山田 勝士
ヒト神経系における Contactin associated protein (Caspr) 4の分子間相互作用の解析
第27回日本神経科学大会・第47回日本神経化学学会大会合同大会、大阪、2004.
147. 武田 泰生、渡邊 和忠、山田 勝士
高次脳機能における GPI- アンカー型神経接着分子 NB-3の機能解析
第34回日本神経精神薬理学会、第26回日本生物学的精神医学会合同年会、東京、2004.
148. 二川 俊隆、大磯 茂、三浦 岳彦、南 淳一、武田 泰生、山田 勝士
ヒト神経系における Contactin associated protein (Caspr) 4の分子間相互作用解析
第57回日本薬理学会西南部会、福岡、2004.
149. 武田 泰生、Zhi-cheng, X.、渡邊 和忠、山田 勝士
中枢ミエリン形成における GPI- アンカー型神経接着分子 NB-3の役割
第57回日本薬理学会西南部会、福岡、2004.
150. 池田 龍二、山口 辰哉、牛山 美奈、柴山 良彦、武田 泰生、中村 和男、秋山 伸一、山田 勝士
セファランチンによる抗癌剤アポトーシス増強作用とそのメカニズム
第57回日本薬理学会西南部会、福岡、2004.
151. 池田 龍二、山口 辰哉、牛山 美奈、柴山 良彦、武田 泰生、中村 和男、秋山 伸一、山田 勝士
低酸素で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
第21回日本薬学会年会九州支部大会、長崎、2004.
152. 岩下 佳敬、柴山 良彦、佐多 照正、中尾 承司、石田 和久、武田 泰生、山田 勝士
フルオロウラシルは多剤耐性蛋白質2の過剰発現を誘導する
第21回日本薬学会年会九州支部大会、長崎、2004.
153. 屋地 慶子、下堂 蘭 権洋、新川 輝俊、山田 勝士
処方せんの疑義照会とキャンセル内容の解析
医療薬学フォーラム2004/ 第12回クリニカルファーマシーシンポジウム、札幌、2004.
154. 谷 由紀、茂見 茜里、牛之濱 風見、下堂 蘭 権洋、山田 勝士
リハビリテーション科におけるリスクマネジメント
医療薬学フォーラム2004/ 第12回クリニカルファーマシーシンポジウム、札幌、2004.
155. 菅原 英輝、山田 勝士、寒川 賢治、宮田 篤郎
多機能神経ペプチド Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) 遺伝子の精巢における特異的発現調節機構の解析
第77回日本内分泌学術総会、京都、2004.
156. 菅原 英輝、井上 和彦、森 望、寒川 賢治、山田 勝士、宮田 篤郎
神経選択的サイレンサーによる PACAP 遺伝子の発現調節機序の解析
平成16年度日本生化学会九州支部例会、熊本、2004.
157. 園田 純一郎、郡山 千早、嶽崎 俊郎、小迫 知弘、秋葉 澄伯、園田 俊郎
緑茶カプセル服用による HTLV-1 キャリアの末梢血リンパ球中 HTLV-1 プロウイルス減少効果
第63回日本癌学会、福岡、2004.
158. 中村 和男、仮屋 蘭 博子、菰方 輝夫、濱田 信男、坂田 隆造、山田 勝士
免疫栄養剤インパクトの免疫能および炎症反応に及ぼす影響
第42回癌治療学会総会、京都、2004.

159. 小倉 さと子、山口 辰哉、大磯 茂、柴田 由香里、山田 勝士、高松 英夫
CRC 活動における関連部門との連携
第4回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議2004、山口、2004.

2005年

160. 南 淳一、二川 俊隆、大磯 茂、三浦 岳彦、寶來 佐和子、町田 武生、渡邊 和忠、武田 泰生、
山田 勝士
中枢神経系におけるコンタクチン関連蛋白質4の発現と相互作用分子の探索
第78回日本薬理学会年会、横浜、2005.
161. 鬼丸 俊司、中村 和男、仮屋蘭 博子、池田 龍二、山田 勝士
心筋虚血再灌流障害後の TNF- α 産生と接着分子放出反応におけるエダラボンの作用
第78回日本薬理学会年会、横浜、2005.
162. 岩下 佳敬、石田 和久、佐多 照正、中尾 承司、本田 香奈恵、山下 カオリ、福元 雅子、中目 和彦、
實 操二、堀之内 圭子、川畑 彩子、北野 夏子、高橋 友子、福元 博、木場 雄一、柴山 良彦
TPN 輸液ルートの見直しによる影響 (シェアプラグ輸液セットの有用性)
第20回日本静脈経腸栄養学会、名古屋、2005.
163. 柴山 良彦、牛之濱 風見、本屋 敏郎、武田 泰生、山田 勝士
ラットにおいてメトトレキサートが多剤耐性蛋白質2および有機アニオントランスポーターの発現に与える影響
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
164. 茂見 茜里、中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士
癌化学療法における服薬指導の向上を目指して
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
165. 池田 龍二、吉田 健一、牛山 美奈、山口 辰哉、別府 俊一、武田 泰生、中村 和男、柴山 良彦、
塚原 聡、井ノ上 逸朗、山田 勝士
OPLL 靱帯細胞の骨芽細胞への分化制御機構の解明
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
166. 大磯 茂、下堂蘭 権洋、石塚 洋一、山口 辰哉、武田 泰生、山田 勝士
鹿児島大学病院における抗生物質使用量の推移
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
167. 二川 俊隆、大磯 茂、三浦 岳彦、武田 泰生、山田 勝士
ヒト神経系における Contactin associated protein 4 (Caspr) の分子間相互作用の解析
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
168. 三浦 岳彦、大磯 茂、二川 俊隆、寶來 佐和子、武田 泰生、山田 勝士
中枢ミエリン形成における Caspr2分子間相互作用の解析
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
169. 別府 俊一、住澤 知之、島元 裕一、古川 龍彦、原口 みさこ、池田 龍二、山口 辰哉、武田 泰生、
秋山 伸一、山田 勝士
MVP の発現亢進を指標にした細胞内オルガネラ vault の機能解析
医療薬学フォーラム2005/ 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム、鹿児島、2005.
170. 松元 一明、宮越 妙子、宮内 希弥子、大磯 茂、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
ノモグラムを用いたテイコプラニンの投与設計
第22回日本 TDM 学会、沖縄、2005.
171. 柴山 良彦、河内 明夫、鬼丸 俊司、徳永 仁、池田 龍二、高村 徳人、本屋 敏郎、武田 泰生、
山田 勝士
西洋オトギリソウがシスプラチンの腎毒性に及ぼす影響
第26回臨床薬理学会年会 別府、2005.
172. 池田 龍二、吉田 健一、牛山 美奈、山口 辰哉、別府 俊一、武田 泰生、中村 和男、柴山 良彦、
塚原 聡、井ノ上 逸朗、山田 勝士
OPLL 靱帯細胞の骨芽細胞への分化制御機構の解明
第58回日本薬理学会西南部会、長崎、2005.
173. 佐多 照正、中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、新川 輝俊、山田 勝士
ホスホジエララーゼ阻害剤の全血凝集および多血小板血漿凝集に及ぼす影響
第58回日本薬理学会西南部会、長崎、2005.
174. 池田 龍二、牛山 美奈、山口 辰哉、柴山 良彦、武田 泰生、中村 和男、秋山 伸一、山田 勝士
低酸素で誘導されるアポトーシスの2'-デオキシ-D-リボースによる抑制機構
第22回日本薬学会年会九州支部大会、福岡、2005.
175. 別府 俊一、住澤 知之、島元 祐一、古川 龍彦、原口 みさ子、池田 龍二、山口 辰哉、武田 泰生、
秋山 伸一、山田 勝士

- 高浸透圧による Major Vault Protein (MVP) の発現亢進の機構
第22回日本薬学会年会九州支部大会、福岡、2005.
176. 三浦 岳彦、二川 俊隆、大磯 茂、寶來 佐和子、武田 泰生、山田 勝士
PDZ ドメインを介した Caspr2細胞内分子機構の解析
第22回日本薬学会九州支部大会、福岡、2005.
177. 仮屋蘭 博子、中村 和男、池田 龍二、有馬 純子、鮎川 修、菰方 輝夫、中村 登、山田 勝士
n-3系脂肪酸の炎症反応および免疫能に及ぼす影響
日本薬学会第125年会、東京、2005.
178. 大磯 茂、二川 俊隆、三浦 岳彦、南 淳一、寶來 佐和子、武田 泰生、山田 勝士
ヒト神経系における Contactin associated protein (Caspr) 2の分子間相互作用の解析
日本薬学会第125年会、東京、2005.
179. 二川 俊隆、大磯 茂、三浦 岳彦、寶來 佐和子、渡邊 和忠、武田 泰生、山田 勝士
Tissue distribution and functional analysis for contactin associated protein4 (Caspr4) in central nervous system.
第48回日本神経化学学会大会、福岡、2005.
180. 池田 龍二、山口 辰哉、牛山 美奈、車 暁芳、別府 俊一、武田 泰生、中村 和男、柴山 良彦、原口 みさ子、古川 龍彦、住澤 知之、秋山 伸一、山田 勝士
低酸素で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
第64回日本癌学会、札幌、2005.
181. 屋地 慶子、下堂蘭 権洋、新川 輝俊、山田 勝士
調剤エラーから学ぶリスクマネジメントと新人教育
第15回日本医療薬学会年会、岡山、2005.
182. 菅原 英輝、山田 勝士、宮田 篤郎
多機能神経ペプチド PACAP 遺伝子の神経特異的発現調節機序における神経選択的サイレンサーの関与
第35回日本神経精神薬理学会、大阪、2005.
183. 中村 和男、仮屋蘭 博子、菰方 輝夫、中村 登、坂田 隆造、山田 勝士
免疫栄養剤インパクトの手術前投与と手術後の炎症反応および免疫応答について
第20回日本静脈経腸栄養学会、名古屋、2005.
184. 鮎川 修、中村 和男、仮屋蘭 博子、池田 龍二、山田 勝士
フローサイトメトリーおよびウエスタンブロットを用いた温度の血小板機能に及ぼす影響の検討
日本薬学会第125年会、東京、2005.
185. 尾花 圭太郎、中村 和男、池田 龍二、仮屋蘭 博子、有馬 純子、茂見 茜里、菅原 英輝、新川 輝俊、山田 勝士
血小板と白血球の複合体形成に及ぼす薬物の影響
第22回日本薬学会九州支部大会、福岡、2005.
186. 若松 弘文、中村 千鶴子、下堂蘭 権洋、千田 直三、福岡 龍一、加世田 良一、松元 一明
医師に対する薬剤師の疑義照会の実態と問題点
第69回九州山口薬学大会、長崎、2005.
187. 小倉 さと子、山口 辰哉、大磯 茂、上片平 恵、山田 勝士、河野 嘉文
鹿児島大学病院における CRC 活動-被験者ケアを中心に-
第5回 CRC と臨床試験のあの方を考える会議2005、横浜、2005.

2006年

188. 武田 泰生、二川 俊隆、大磯 茂、三浦 岳彦、山田 勝士
Molecular interaction of contactin-associated protein (Caspr) 2 intracellular domain analyzed by Yeast Two-Hybrid system
3学会合同年会 第28回日本生物学的精神医学会、第36回日本神経精神薬理学会、第49回日本神経化学学会大会、名古屋、2006.
189. 大磯 茂、二川 俊隆、西田 健太郎、石原 義久、口岩 聡、武田 泰生、山田 勝士
Characterization and molecular interaction of contactin associated protein 2 (Caspr2) in the central nervous system.
3学会合同年会 第28回日本生物学的精神医学会・第36回日本神経精神薬理学会・第49回日本神経化学学会大会、名古屋、2006.
190. 久津輪 久世、當房 優子、有馬 純子、下堂蘭 権洋、若松 弘文、山田 勝士
鹿児島大学病院における注射薬調剤エラー減少への取り組み
第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
191. 草留 千恵、柴山 良彦、山口 真理子、西 八重乃、武田 恵視、吉川 好美、武田 泰生、山田 勝士
大量メチルコバラミン注射液の安定性に関する研究

- 第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
192. 有馬 純子、久津輪 久世、當房 優子、柴山 良彦、下堂蘭 権洋、武田 泰生、柳 正和、河野 嘉文、山田 勝士
鹿児島大学病院におけるがん化学療法への参画と課題～薬剤師のレジメンチェックによるリスク回避～
第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
193. 菅原 英輝、仮屋蘭 博子、大磯 茂、永野 みのり、田中 沙也佳、武田 泰生、山田 勝士
鹿児島大学病院における持参薬チェック業務の現状把握と医療経済学的解析
第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
194. 下堂蘭 権洋、松元 一明、恩田 光子、折井 孝男、伊賀 立二
「病院薬剤部門の現状調査」解析による病院薬剤師適正配置の検討
第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
195. 中村 和男、仮屋蘭 博子、池田 龍二、菅原 英輝、鮎川 修、坂田 隆造、山田 勝士
手術侵襲と血小板・白血球複合体形成
第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
196. 仮屋蘭 博子、菅原 英輝、武田 泰生、山田 勝士
入院時患者情報収集における栄養スクリーニングの試み
第16回日本医療薬学会年会、金沢、2006.
197. 下堂蘭 権洋、折井 孝男、恩田 光子、松元 一明、山田 勝士
疑義照会における薬剤師の果たす役割とその意義－全国5施設の調査結果をもとに－
日本薬学会第126年会、仙台、2006.
198. 河内 明夫、柴田 由香里、山田 勝士、マイヤンク デュティア、本屋 敏郎
薬物誘発胴体回転行動とその発現機構
日本薬学会第126年会、仙台、2006.
199. 池田 龍二、別府 俊一、住澤 知之、古川 龍彦、車 暁芳、牛山 美奈、山口 辰哉、山本 雅達、柴山 良彦、武田 泰生、岩下 健一、山田 勝士、秋山 伸一
高浸透圧ストレスによる Major Vault Protein (MVP) の発現亢進機能
第65回日本癌学会学術総会、横浜、2006.
200. 柴山 良彦、牛ノ濱 風見、池田 龍二、吉川 好美、本屋 敏郎、武田 泰生、山田 勝士
メトトレキサートがラットにおいて Mrp2、Bcrp、Oat1、Oat2 および Oat の発現に与える影響
第59回日本薬理学会西南部会、那覇、2006.
201. 池田 龍二、吉田 健一、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、柴山 良彦、塚原 聡、岩下 健一、井ノ上 逸郎、山田 勝士
OPLL 靱帯細胞の骨芽細胞への分化抑制機構の解明
第59回日本薬理学会西南部会、那覇、2006.
202. 西田 健太朗、口岩 聡、大磯 茂、石原 義久、中河 志朗、武田 泰生、山田 勝士
パクリタキセルによる TRP 受容体への影響
第59回日本薬理学会西南部会、那覇、2006.
203. 柴山 良彦、河内 明夫、徳永 仁、池田 龍二、西田 健太朗、口岩 聡、中河 志朗、高村 徳人、本屋 敏郎、武田 泰生、山田 勝士
西洋オトギリソウがシスプラチンの腎毒性に与える影響
第23回日本薬学会九州支部会、熊本、2006.
204. 池田 龍二、牛山 美奈、宮脇 昭彦、山口 辰哉、比地岡 浩志、武田 泰生、岩下 健一、有馬 純子、松元 一明、柴山 良彦、田畑 千穂子、中村 典史、山田 勝士
歯科領域での超選択的動注化学療法に伴う副作用対策
第23回日本薬学会年会九州支部大会、熊本、2006.
205. 石原 義久、二川 俊隆、大磯 茂、西田 健太朗、武田 泰生、山田 勝士
Contactin associated protein (Caspr1) の細胞内部分に結合する機能タンパク質の検索
第23回日本薬学会年会九州支部大会、熊本、2006.
206. 精松 和子、松元 一明、西田 健太朗、大磯 茂、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
ポリコナゾールの血中濃度測定及び遺伝子多型解析による至適投与量の設計
第23回日本薬学会年会九州支部大会、熊本、2006.
207. 茂見 茜里、西 八重乃、仮屋蘭 博子、大磯 茂、松元 一明、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
入院時全患者持参薬調査の試みと持参薬の使用状況の実態調査
医療薬学フォーラム2006/ 第14回クリニカルファーマシーシンポジウム、大阪、2006.
208. 下堂蘭 権洋、松元 一明、深水 知英、武田 泰生、山田 勝士
鹿児島県下におけるグループ実習に対する取り組みと学生の評価
医療薬学フォーラム2006/ 第14回クリニカルファーマシーシンポジウム、大阪、2006.
209. 下堂蘭 権洋、松元 一明、深水 知英、武田 泰生、山田 勝士

- 鹿児島県下におけるグループ実習に対する受け入れ施設側の評価
医療薬学フォーラム2006/第14回クリニカルファーマシーシンポジウム、大阪、2006.
210. 大磯 茂、下堂蘭 権洋、小迫 晶寛、松元 一明、山口 辰哉、武田 泰生、宮之原 弘晃、山田勝士
鹿児島大学病院における抗生物質使用量および検出菌の推移
医療薬学フォーラム2006/第14回クリニカルファーマシーシンポジウム、大阪、2006.
211. 大磯 茂、二川 俊隆、三浦 岳彦、西田 健太郎、石原 義久、武田 泰生、山田 勝士
中枢神経系における contactin associated protein (Caspr) 2の蛋白質間相互作用の解析
第79回日本薬理学会年会、横浜、2006.
212. 仮屋蘭 博子、中村 和男、池田 龍二、有馬 純子、尾花 圭太郎、山本 裕之、坂田 隆造、山田 勝士
開胸術前後の血小板-白血球複合体形成に及ぼす ω -3系脂肪酸の影響
第79回日本薬理学会年会、横浜、2006.
213. 武田 泰生、二川 俊隆、大磯 茂、寶來 佐和子、西田 健太郎、三浦 岳彦、石原 義久、精松 和子、渡邊 和忠、山田 勝士
ミエリン形成に関わるコンタクチン関連蛋白質の分子間相互作用の解析
日本薬学会第126年会、仙台、2006.
214. 松元 一明、荒木 美名、精松 和子、宮越 妙子、大磯 茂、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
テイコプラニン維持量設定ノモグラムの有用性について
第23回日本TDM学会、東京、2006.
215. 富永 愛子、菅原 英輝、井上 和彦、岩田 真一、清水 隆雄、宮田 篤郎
Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide(PACAP) 遺伝子の精巢における特異的発現調節機構の解析
第29回日本分子生物学会年会、名古屋、2006.
216. 山口 真理子、柴山 良彦、草留 千恵、西 八重乃、武田 恵視、久津輪 久世、有馬 純子、下堂蘭 権洋、若松 弘文、武田 泰生、山田 勝士
がん化学療法を行う全ての患者を対象とした無菌調剤業務の取り組み
第69回九州山口薬学大会、鹿児島、2006.
217. 西 八重乃、茂見 茜里、仮屋蘭 博子、大磯 茂、松元 一明、菅原 英輝、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
入院時全患者持参薬調査の試み
第69回九州山口薬学大会、鹿児島、2006.
218. 重永 明恵、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
調剤エラー対策によるリスクマネジメント
第69回九州山口薬学大会、鹿児島、2006.
219. 池田 龍二、車 暁芳、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、柴山 良彦、中村 和男、古川 龍彦、秋山 伸一、山田 勝士
セファランチンによる抗癌剤のアポトーシス増強作用とそのメカニズム
第10回がん分子標的治療研究会総会、東京、2006.
220. 池田 龍二、車 暁芳、牛山 美奈、山口 辰哉、柴山 良彦、武田 泰生、古川 龍彦、山口 雅達、山田 勝士、秋山 伸一
低酸素で誘導されるアポトーシスの2-デオキシ-D-リボースによる抑制機構
第10回がん分子標的治療研究会総会、東京、2006.

2007年

221. 福永 直子、深水 知英、松元 一明、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
薬物血中濃度モニタリングオーダシステムの構築と電子カルテへの活用
第17回日本医療薬学会年会、群馬、2007.
222. 大磯 茂、下堂蘭 権洋、松元 一明、山口 辰哉、武田 泰生、山田 勝士、西 順一郎、折田 美千代
注射薬抗菌薬の使用量の推移とその影響因子の解析
第17回日本医療薬学会年会、群馬、2007.
223. 岩瀬 晴信、仮屋蘭 博子、池田 龍二、有馬 純子、藤崎 裕子、重永 明恵、石塚 洋一、山田勝士、中村 和男
 ω -3系脂肪酸の免疫能に及ぼす影響
第17回日本医療薬学会年会、群馬、2007.
224. 大磯 茂、山口 辰哉、小倉 さと子、牛之濱 風見、田中 沙也佳、池田 美咲、下堂蘭 権洋、村永 文学、熊本 一朗、山田 勝士、河野 嘉文
電子カルテ導入に伴う治験関連システムの構築
第28回日本臨床薬理学会年会、宇都宮、2007.
225. 柴山 良彦、草留 千恵、松元 一明、深水 知英、福永 直子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
メトトレキサート大量療法において半減期が延長する発現機序に関する臨床及び基礎研究によるアプローチ

- 医療薬学フォーラム2007/ 第15回クリニカルファーマシーシンポジウム、山形、2007.
226. 西 八重乃、柴山 良彦、草留 千恵、有馬 純子、牛之濱 風見、上片平 恵、有馬 由佳、武田 泰生、山田 勝士
エトポシド析出に関する分析及び析出させないための業務改善
医療薬学フォーラム2007/ 第15回クリニカルファーマシーシンポジウム、山形、2007.
227. 池田 龍二、吉田 健一、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、柴山 良彦、岩下 健一、田實 裕介、井ノ上 逸郎、山田 勝士
骨芽細胞分化における PLZF の機能的関与
第60回日本薬理学会西南部会、宮崎、2007.
228. 岩下 健一、池田 龍二、住澤 知之、田實 裕介、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士
高浸透圧ストレスによって誘導されるアポトーシスの Major Vault Protein(MVP) による抑制機構
第60回日本薬理学会西南部会、宮崎、2007.
229. 田畑 祥、山本 雅達、池田 龍二、車 暁芳、岩下 健一、武田 泰生、古川 龍彦、向田 直史、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼによる Interleukin-8 (IL-8) の発現亢進機構
第60回日本薬理学会西南部会、宮崎、2007.
230. 斉藤 弘樹、池田 龍二、井上 和彦、宮田 篤郎
骨形成における調節因子としてのニューロメディン B の生理的役割の解明
第60回日本薬理学会西南部会、宮崎、2007.
231. 大磯 茂、二川 俊隆、口岩 聡、西田 健太朗、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士
中枢神経系における contactin associated protein (Caspr) 2と carboxypeptidase E の相互作用解析
第60回日本薬理学会西南部会、宮崎、2007.
232. 吉川 好美、柴山 良彦、西田 健太朗、武田 泰生、山田 勝士
イリノテカン、エトポシドが薬物トランスポーターの発現に及ぼす影響
第24回日本薬学会九州支部大会、福岡、2007.
233. 田實 裕介、池田 龍二、岩下 健一、田畑 祥、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、住澤 知之、秋山 伸一、山田 勝士
高浸透圧ストレスによる MVP (Major Vault Protein) による発現亢進機構
第24回日本薬学会九州支部大会、福岡、2007.
234. 西田 健太朗、口岩 聡、大磯 茂、二川 俊隆、益田 将吾、武田 泰生、山田 勝士
Paclitaxel による末梢神経障害ラットの脊髄後根神経節における matrix metalloproteinase 3 (MMP3) の発現亢進
第24回日本薬学会九州支部大会、福岡、2007.
235. 牛山 美奈、池田 龍二、山口 辰哉、岩下 健一、田實 裕介、牛之濱 風見、武田 泰生、山田 勝士
院内製剤アズノール含嗽水の科学的妥当性の評価
第24回日本薬学会九州支部大会、福岡、2007.
236. 河内 明夫、柴田 由香里、山田 勝士、マイヤンク デュティア、本屋 敏郎
ラットにおける薬物誘発胴体回転行動の発現機構
第24回日本薬学会九州支部大会、福岡、2007.
237. 牛山 美奈、菅原 英輝、池田 龍二、井上 和彦、山田 勝士、宮田 篤郎
PACAP 受容体の細胞内シグナル伝達能に及ぼす第1細胞外ドメインと第3細胞内ループバリエーションの組み合わせの影響
第80回日本薬理学会年会、名古屋、2007.
238. 富永 愛子、菅原 英輝、井上 和彦、岩田 真一、清水 隆雄、宮田 篤郎
Nicotine augments mRNA level of pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide in PC12 cell.
第80回日本薬理学会年会、名古屋、2007.
239. 池田 龍二
Molecular basis for the inhibition of anticancer agents-induced apoptosis by thymidine phosphorylase
第80回日本薬理学会年会、名古屋、2007.
240. 西田 健太朗、口岩 聡、大磯 茂、石原 義久、武田 泰生、山田 勝士
ラット後根神経節でのパクリタキセルによる transient receptor potential チャネル発現増加
第80回日本薬理学会年会、名古屋、2007.
241. 池田 龍二、古川 龍彦、牛山 美奈、車 暁芳、小松 正治、山口 辰哉、山本 雅達、趙 紅葉、柴山 良彦、武田 泰生、岩下 健一、山田 勝士
低酸素で誘導される BNIP3 のチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
第66回日本癌学会、横浜、2007.
242. 王 嘉、車 暁芳、大山 昭雄、山本 雅達、古川 龍彦、池田 龍二、田畑 祥、蓮井 和久、岡 俊範、

- 秋山 伸一
ヒト繊維芽細胞における低酸素による PGIS 発現の増加
第66回日本癌学会、横浜、2007.
243. 車 暁芳、大山 明雄、山本 雅達、古川 龍彦、王 嘉、池田 龍二、田畑 祥、岡 俊範、秋山 伸一
低酸素によるヒト繊維芽細胞 WI-38の遺伝子発現変化
第66回日本癌学会、横浜、2007.
244. 古川 龍彦、池田 龍二、小松 正治、大渡 五月、秋山 伸一
銅輸送体 ATP7A による抗癌剤多剤耐性とベシクル輸送
第66回日本癌学会、横浜、2007.
245. 趙 紅業、大山 明雄、山本 雅達、池田 龍二、原口 みさ子、田畑 祥、古川 龍彦、車 暁芳、
福島 正和、岡 俊範、秋山 伸一
ヒト大腸癌における5-FUによる血管新生阻害因子 TSP-1の誘導
第66回日本癌学会、横浜、2007.
246. 田畑 祥、山本 雅達、池田 龍二、古川 龍彦、車 暁芳、趙 紅業、王 嘉、向田 直史、岩下 健一、
武田 泰生、山田 勝士、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼによる IL-8の発現亢進機構
第66回日本癌学会、横浜、2007
247. 屋地 慶子、下堂蘭 権洋、茂見 茜里、重永 明恵、武田 泰生、山田 勝士
実務実習生はどこまで薬の商品名を知っているのか ―薬学生と薬剤師の認識について―
第10回日本医療情報学会、札幌、2007.
248. 松元 一明、精松 和子、西田 健太郎、福永 直子、深水 知英、大磯 茂、下堂蘭 権洋、武田 泰生、
山田 勝士
フェノバルビタールの併用によりポリコナゾールの血中濃度が低下した症例
第24回日本 TDM 学会、金沢、2007.
249. 大磯 茂、二川 俊隆、口岩 聡、西田 健太郎、池田 龍二、石原 義久、武田 泰生、山田 勝士
中枢神経系における Caspr2と carboxypeptidase E の相互作用解析
日本薬学会第127年会、富山、2007.
250. 松元 一明、小迫 昌寛、下堂蘭 権洋、折井 孝男、山田 勝士、伊賀 立二
薬剤師数、病床数および業務実施状況から算出した病院薬剤師適正配置基準
日本薬学会第127年会、富山、2007.
251. 池田 龍二
抗がん剤で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
第1回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、東京、2007.
252. 牛山 美奈、池田 龍二、菅原 英輝、井上 和彦、山田 勝士、宮田 篤郎
PACAP 受容体の細胞内シグナル伝達能に及ぼす第1細胞外ドメインと第3細胞内ループの組み合わせの影響
第1回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、東京、2007.
253. 岩下 健一、池田 龍二、住澤 知之、田實 裕介、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、秋山 伸一、
山田 勝士
高浸透圧ストレスによって誘導されるアポトーシスの Major Vault Protein(MVP) による抑制機構
第1回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、東京、2007.
254. 西田 健太郎、口岩 聡、大磯 茂、二川 俊隆、益田 将吾、武田 泰生、山田 勝士
Paclitaxel による末梢神経障害ラットの脊髄後根神経節における matrix metalloproteinase 3 (MMP3) の発現
亢進
第1回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、東京、2007.
255. 田畑 祥、山本 雅達、池田 龍二、古川 龍彦、車 暁芳、趙 紅業、王嘉、向田 直史、岩下 健一、
武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士
チミジンホスホリラーゼによる interleukin-8 (IL-8) の発現亢進機構
第1回次世代を担う若手薬科学シンポジウム、東京、2007.
256. 菅原 英輝、富永 愛子、山田 勝士、宮田 篤郎
多機能神経ペプチド PACAP の遺伝子発現調節機序における神経選択的サイレンサーの関与
第80回日本生化学会、横浜、2007.
257. 小田原 一宏、下田 健一、兜坂 浩教、濱田 修一、末永 雄大、森山 裕樹、恵谷 誠司、吉水 久純、
西嶋 徹、藤井 規好、山口 辰哉、寺脇 康文
鹿児島県薬剤師会備蓄薬品管理システム「MyDB」創設
第70回九州山口薬学大会、熊本、2007.

2008年

258. 牛山 美奈、池田 龍二、新田 哲也、宮脇 昭彦、赤塚 千文、山口 辰哉、武田 泰生、松井 竜太郎、

- 杉原 一正、中村 典史、山田 勝士
口腔癌治療患者の口内炎に対する院内製剤アズノール含嗽水の安定性
第26回日本口腔腫瘍学会総会 学術大会、大分、2008.
259. 大磯 茂、二川 俊隆、口岩 聡、西田 健太郎、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士
Caspr2の細胞膜輸送における carboxypeptidase E の関与
第81回日本薬理学会年会、横浜、2008.
260. 池田 龍二、古川 龍彦、岩下 健一、田實 裕介、柴山 良彦、武田 泰生、牛山 美奈、山口 辰哉、
秋山 伸一、山田 勝士
低酸素で誘導される BNIP3のチミジンホスホリラーゼによる抑制機構
第81回日本薬理学会年会、横浜、2008.
261. 柴山 良彦、吉川 好美、西田 健太郎、武田 泰生、山田 勝士
抗悪性腫瘍薬が薬物トランスポーターの発現に及ぼす影響
日本薬学会第128年会、横浜、2008.
262. 松下 茂人、池田 龍二、奥村 浩、秋山 伸一、金蔵 拓郎
P53R2標的 siRNA は悪性黒色腫の腫瘍増殖を抑制して抗癌剤感受性を高める
第67回日本癌学会、名古屋、2008.
263. 田畑 祥、山本 雅達、池田 龍二、古川 龍彦、車 暁芳、趙 紅業、王 嘉、向田 直史、武田 泰生、
山田 勝士、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼ発現腫瘍細胞における NF- κ B を介した IL-8の発現亢進機構
第67回日本癌学会、名古屋、2008.
264. 趙 紅業、大山 明雄、山本 雅達、池田 龍二、原口 みさ子、田畑 祥、古川 龍彦、車 暁芳、岡 俊範、
福島 正和、小野 眞弓、桑野 信彦、秋山 伸一
ヒト大腸癌における5-FU による血管新生阻害因子 TSP-1の誘導
第67回日本癌学会、名古屋、2008.
265. 古川 龍彦、小松 正治、池田 龍二、秋山 伸一
膀胱癌細胞株 MIA PaCa-2由来 Gemcitabine 耐性細胞の耐性機構の解析
第67回日本癌学会、名古屋、2008.
266. 車 暁芳、鄭 春雷、古川 龍彦、山本 雅達、王 嘉、池田 龍二、有馬 直道、秋山 伸一
survivin ペプチド (89-104アミノ酸) による ATL 細胞のアポトーシス誘導
第67回日本癌学会、名古屋、2008.
267. 王 嘉、車 暁芳、大山 明雄、山本 雅達、古川 龍彦、池田 龍二、鄭 春雷、蓮井 和久、岡 俊範、
秋山 伸一
低酸素によるヒト線維芽細胞での PGIS の高発現
第67回日本癌学会、名古屋、2008.
268. 富永 愛子、菅原 英輝、井上 和彦、宮田 篤郎
Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide(PACAP) 遺伝子の精巢における特異的発現調節機構の解析
第81回日本内分泌学会学術総会、青森、2008.
269. 河内 明夫、柴田 由香里、山田 勝士、本屋 敏郎
ラットにおける第4脳室内 muscimol 持続投与による姿勢制御障害
第67回日本めまい平衡医学会総会、秋田、2008.
270. 岩瀬 晴信、仮屋 蘭 博子、池田 龍二、有馬 純子、茂見 茜里、菅原 英輝、高濱 和夫、山田 勝士、
坂田 隆造、中村 和男
周術期の CD4陽性細胞活性化およびサイトカイン産生能における手術前栄養負荷の効果
フォーラム2008 衛生薬学・環境トキシコロジー、熊本、2008.
271. 菅原 英輝、藤崎 裕子、園田 純一郎、牛ノ濱 風見、牛山 美奈、下堂園 権洋、新川 輝俊、武田 泰生、
山田 勝士
鹿児島大学病院における医療用麻薬の使用状況調査
第2回日本緩和医療薬学会年会、横浜、2008.
272. 大磯 茂、池田 龍二、中村 和男、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士、仮屋 蘭 博子
シスプラチン耐性咽頭がん細胞 KCP-4における ABC トランスポーターの発現解析
第25回日本薬学会九州支部大会、延岡、2008.
273. 柴山 良彦、岩下 佳敬、吉川 好美、柴川 智子、武田 泰生、山田 勝士
フルオロウラシルが SN38の小腸における吸収に及ぼす影響
第25回日本薬学会九州支部大会、延岡、2008.
274. 益田 将吾、西田 健太郎、二川 俊隆、藤井 寛樹、武田 泰生、山田 勝士
がん細胞における神経接着分子コンタクトチンのシグナル伝達機構の解析
第25回日本薬学会九州支部大会、延岡、2008.
275. 田實 裕介、池田 龍二、岩下 健一、田畑 祥、西澤 由紀彦、南 謙太郎、山口 辰哉、牛山 美奈、

- 山本 雅達、車 暁芳、住澤 知之、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士
高浸透圧によって誘導されるアポトーシスの major vault protein (MVP) による抑制機構
第25回日本薬学会九州支部大会、延岡、2008.
276. 岩下 健一、池田 龍二、武田 泰生、住澤 知之、田實 裕介、西澤 由紀彦、山口 辰哉、秋山 伸一、山田 勝士
Major vault protein (MVP) はヒト腎癌由来細胞株 ACHN 細胞において hypoxia-inducible factor-1 α (HIF-1 α) レベルを負に制御する
第61回日本薬理学会西南部会、米子、2008.
277. 二川 俊隆、Quan-Hong, M., Zhi-Cheng, X., 武田 泰生、山田 勝士
神経接着分子 TAG-1 が amyloid precursor protein (APP) と相互作用し、APP intracellular domain (AICD) 遊離を増加させる
第61回日本薬理学会西南部会、米子、2008.
278. 松元 一明、福永 直子、西田 健太郎、深水 知英、大磯 茂、下堂 権洋、武田 泰生、山田 勝士
腎機能障害患者へのリネゾリド投与で好発した血小板減少
第56回日本化学療法学会総会、岡山、2008.
279. 松元 一明、猪川 和朗、椿松 和子、福永 直子、西田 健太郎、福原 慶、深水 知英、大磯 茂、下堂 権洋、武田 泰生、森川 則文、山田 勝士
CYP2C19の遺伝子多型解析に基づくポリコナゾールの pharmacodynamics - 肝機能障害リスクを増加させる血中トラフ濃度域の解明 -
第25回日本 TDM 学会、東京、2008.
280. 福永 直子、深水 知英、松元 一明、大磯 茂、下堂 権洋、武田 泰生、山田 勝士
TDM 介入によるテイコプラニンの効果的投与方法について
第25回日本 TDM 学会、東京、2008.
281. 金子 生、福原 慶、猪川 和朗、池田 佳代、森川 則文、福永 直子、深水 知英、菅原 英輝、松元 一明、下堂 権洋、武田 泰生、山田 勝士
シクロスポリンおよびタクロリムスの Therapeutic PK-PD Monitoring ソフトウェアの構築による投与支援の試み
第25回日本 TDM 学会、東京、2008.
282. 松元 一明、福永 直子、猪川 和朗、深水 知英、茂見 茜里、下堂 権洋、森川 則文、武田 泰生、山田 勝士
MRSA 感染症患者に対するテイコプラニンの初期投与設計
第23回日本薬物動態学会年会、熊本、2008.
283. 茂見 茜里、松元 一明、屋地 慶子、宮之原 弘晃、川村 英樹、折田 美千代、徳田 浩一、西 順一郎、山田 勝士
鹿児島大学病院における検出分離菌の抗菌薬に対する感受性の変動
第56回日本化学療法学会西日本支部総会、広島、2008.
284. 深水 知英、瀬戸 真由美、下堂 権洋、武田 泰生、山田 勝士
鹿児島大学病院における漢方薬の使用動向および適正使用に関する調査
医療薬学フォーラム2008/ 第16回クリニカルファーマシーシンポジウム、東京、2008.
285. 重永 明恵、屋地 慶子、上野 恵、下堂 権洋、武田 泰生、山田 勝士
経口抗がん剤のカレンダー式薬歴簿の有用性
医療薬学フォーラム2008/ 第16回クリニカルファーマシーシンポジウム、東京、2008.
286. 中村 有貴、岩瀬 晴信、仮屋 博子、池田 龍二、有馬 純子、山田 勝士、坂田 隆二、中村和男
解離性動脈瘤および腹部動脈瘤の術期における血液凝固系、炎症反応および血小板機能の推移
第18回日本医療薬学会年会、札幌、2008.
287. 二川 俊隆、Quan-Hong, M., Zhi-Cheng, X., 武田 泰生、山田 勝士
神経接着関連分子 Contactin associated protein(Caspr)4の機能解析
第2回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、京都、2008.
288. 池田 龍二、吉田 建一、武田 泰生、井ノ上 逸朗、山田 勝士
骨芽細胞分化における PLZF の機能的関与
第2回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、京都、2008.

2009年

289. 田實 裕介、池田 龍二、岩下 建一、武田 泰生、田畑 祥、西澤 由紀彦、牛山 美奈、山口 辰哉、山本 雅達、車 暁芳、古川 龍彦、秋山 伸一、山田 勝士
高浸透圧による Major Vault Protein (MVP) の発現亢進機構
第82回日本薬理学会年会、横浜、2009.
290. 大田 哲也、松元 一明、福永 直子、深水 知英、茂見 茜里、屋地 慶子、下堂 権洋、武田 泰生、

- 岡野 善郎、山田 勝士
バンコマイシン初回投与設計における種々の腎機能推算式の評価
日本薬学会第129年会、京都、2009.
291. 牛山 美奈、池田 龍二、宮脇 昭彦、田實 裕介、西澤 由紀彦、山口 辰哉、中村 典史、武田 泰生、
山田 勝士
口腔癌治療における抗がん剤感受性試験の取り組み
日本薬学会第129年会、京都、2009.
292. 大磯 茂、池田 龍二、中村 和男、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士、仮屋蘭 博子
咽頭がん細胞 KCP4のシスプラチン耐性機序の解明
日本薬学会第129年会、京都、2009.
293. 益田 将吾、西田 健太郎、二川 俊隆、田畑 祥、藤井 寛樹、武田 泰生、山田 勝士
肺腺がん細胞における神経接着分子コンタクチンのシグナル伝達機構解析
日本薬学会第129年会、京都、2009.
294. 有馬 由佳、有馬 純子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
注射薬調剤手順の再検討による調剤過誤減少への取り組み
日本薬学会第129年会、京都、2009.
295. 松元 一明、茂見 茜里、屋地 慶子、猪川 和朗、森川 則文、宮之原 弘晃、川村 英樹、折田 美千代、
徳田 浩一、西 順一郎、山田 勝士
MRSA 検出率に対する抗菌薬、速乾性手指消毒薬および手袋の使用量の影響
第57回日本化学療法学会総会、東京、2009.
296. 竹下 鮎美、松元 一明、猪川 和朗、茂見 茜里、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、森川 則文、武田 泰生、
山田 勝士
腎機能障害患者におけるリネゾリドの薬物動態
第26回日本 TDM 学会、新潟、2009.
297. 福原 慶、猪川 和朗、森川 則文、福永 直子、深水 知英、松元 一明、下堂蘭 権洋、武田 泰生、
山田 勝士
日本人成人がん患者におけるメトトレキサートの母集団薬物動態解析に基づいた TDM 支援ソフトウェアの
開発
第26回日本 TDM 学会、新潟、2009.
298. 茂見 茜里、松元 一明、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
ATC/DDD システムを用いた抗菌薬使用量調査の意義
日本医薬品情報学会第14回学術大会、福岡、2009.
299. 菅原 英輝、藤崎 裕子、富宿 麻美、山口 寛子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
マトリックス製剤への切り替え前後におけるフェンタニル貼付剤の使用状況変化
第3回日本緩和医療薬学会年会、横浜、2009.
300. 深水 知英、大脇 哲洋、出口 尚寿、加治 建、甲斐 敬子、佐藤 加奈子、鈴木 真由美、福田 ゆかり、
福永 直子、高松 英夫、山田 勝士
固形化補助食品リフランを用いた半固形化法により、胃食道逆流による誤嚥を改善できた2症例
第24回日本静脈経腸栄養学会、鹿児島、2009.
301. 古川 龍彦、池田 龍二、小松 正治、秋山 伸一
銅輸送体 ATP7A・核酸輸送体 CNT の関する抗癌剤耐性
第82回日本薬理学会年会、横浜、2009.
302. 田實 裕介、池田 龍二、岩下 健一、武田 泰生、田畑 祥、西澤 由紀彦、牛山 美奈、山口 辰哉、
山本 雅達、車 暁芳、古川 龍彦、秋山 伸一、山田 勝士
高浸透圧ストレスによる major vault protein (MVP) の発現亢進機構
第82回日本薬理学会年会、横浜、2009.
303. 小宮 孝俊、口岩 聡、口岩 俊子、アブドアイニ・アブドラヒマン、村上 理、森 司朗、口岩 琢哉、
武田 泰生、山田 勝士
新規行動指標を用いた向精神薬の評価法
第82回日本薬理学会年会、横浜、2009.
304. 田畑 祥、山本 雅達、池田 龍二、古川 龍彦、車 暁芳、新里 能成、南 謙太郎、向田 直史、
武田 泰生、山田 勝士、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼによる NF- κ B の活性化機構
第68回日本癌学会、横浜、2009.
305. 古川 龍彦、池田 龍二、小松 正治、秋山 伸一
Gemcitabine 耐性細胞での CNT1、RRM1の発現変化
第68回日本癌学会、横浜、2009.
306. 大磯 茂、池田 龍二、中村 和男、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士、仮屋蘭 博子

- 咽頭がん細胞 KCP-4のシスプラチン耐性への細胞内シグナル伝達系の関与
第19回日本医療薬学会年会、長崎、2009.
307. 柴山 良彦、長野 正信、藤井 暁、田口 深雪、武田 泰生、山田 勝士
壺つくり黒酢が薬物代謝酵素およびトランスポーターの発現に及ぼす影響
第19回日本医療薬学会年会、長崎、2009.
308. 中野 公、柴山 良彦、前田 弘志、田口 深雪、池田 龍二、寿 伸一郎、武田 泰生、山田 勝士
ソラフェニブおよびスニチニブのMRP2 (ABCC2) に対する基質認識性
第19回日本医療薬学会年会、長崎、2009.
309. 前田 弘志、柴山 良彦、中野 公、田口 深雪、池田 龍二、寿 伸一郎、武田 泰生、山田 勝士
抗がん薬耐性細胞におけるマイクロRNA30b、93、98、126、210発現に及ぼす低酸素条件の影響。
第19回日本医療薬学会年会、長崎、2009.
310. 富重 恵利紗、河内 明夫、柴田 由香里、園田 純一郎、鳴海 恵子、山田 勝士、本屋 敏郎
実務実習事前学習における薬局製剤実習の実施とその評価
第19回日本医療薬学会年会、長崎、2009.
311. 武田 泰生、益田 将吾、二川 俊隆、西田 健太郎、田畑 祥、藤井 寛樹、山田 勝士
神経接着分子コンタクチンを介した癌浸潤・転移の解析
医療薬学フォーラム2009/ 第17回クリニカルファーマシーシンポジウム、京都、2009.
312. 益田 将吾、二川 俊隆、西田 健太郎、田畑 祥、藤井 寛樹、武田 泰生、山田 勝士
神経接着分子コンタクチンを介した癌浸潤および転移の機構
第3回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、福岡、2009.
313. 田實 裕介、池田 龍二、岩下 健一、田畑 祥、西澤 由紀彦、山口 辰哉、牛山 美奈、山本 雅達、
車 暁芳、古川 龍彦、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士
高浸透圧によって誘導される major vault protein (MVP) の発現亢進機序の解明
第62回日本薬理学会西南部会、松山、2009.
314. 益田 将吾、二川 俊隆、西田 健太郎、田畑 祥、藤井 寛樹、武田 泰生、山田 勝士
神経接着分子コンタクチンを介した癌浸潤・転移のメカニズム
第62回日本薬理学会西南部会、松山、2009.
315. 岩下 健一、池田 龍二、武田 泰生、住澤 知之、古川 龍彦、山口 辰哉、秋山 伸一、山田 勝士
RNA-タンパク質複合体 vault はヒト腎癌由来細胞株 ACHN 細胞において hypoxia-inducible factor-1 α (HIF-
1 α) と結合し、そのユビキチン依存的な分解を促進する
第62回日本薬理学会西南部会、松山、2009.
316. 二川 俊隆、益田 将吾、藤井 寛樹、鬼丸 貴裕、末廣 淑子、山口 沙織、Zhong-can, C., 武田 泰生、
山田 勝士
神経接着関連分子 Contactin associated protein (Caspr) 4の機能解析
第62回日本薬理学会西南部会、松山、2009.
317. 田畑 祥、山本 雅達、池田 龍二、古川 龍彦、車 暁芳、武田 泰生、向田 直史、秋山 伸一、山田勝士
チミンホスホリラーゼ発現腫瘍細胞におけるNF- κ Bの活性化機構
第62回日本薬理学会西南部会、松山、2009.
318. 西澤 由紀彦、池田 龍二、田實 裕介、俣木 博徳、武田 泰生、古川 龍彦、牛山 美奈、山口 辰哉、
車 暁芳、山本 雅達、松下 茂人、秋山 伸一、山田 勝士
チミンホスホリラーゼ発現腫瘍での5-fluorouracil (5-FU) による early growth response factor-1 (EGR-1) 発
現誘導
第26回日本薬学会九州支部大会、福岡、2009.
319. 藤井 寛樹、二川 俊隆、益田 将吾、石原 義久、鬼丸 貴裕、末廣 淑子、山口 沙織、武田 泰生、
山田 勝士
Contactin Associated Protein1(Caspr1)の機能解析
第26回日本薬学会九州支部大会、福岡、2009.
320. 田口 深雪、柴山 良彦、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士
抗がん薬耐性細胞におけるマイクロRNA-126の発現とその役割
第26回日本薬学会九州支部大会、福岡、2009.
321. 竹下 鮎美、松元 一明、猪川 和朗、森川 則文、武田 泰生、山田 勝士
腎機能正常患者と腎機能障害患者におけるリネズリドの薬物動態比較
第26回日本薬学会九州支部大会、福岡、2009.
322. 南 謙太郎、古川 龍彦、新里 能成、車 暁芳、山本 雅達、池田 龍二、武田 泰生、秋山 伸一、
山田 勝士
Gemcitabine 耐性細胞での Nucleoside transporter と ribonucleotide reductase の変化
第26回日本薬学会九州支部大会、福岡、2009.
323. 小宮 孝俊、アブドアイニ・アブドラヒマン、口岩 俊子、村上 理、武田 泰生、山田 勝士

ストレス行動評価、HPLC法による脳内モノアミン定量およびc-Fos免疫染色による統合失調症モデルマウスの解析

第26回日本薬学会九州支部大会、福岡、2009.

324. 神野 真幸、岐部 俊郎、中村 葉子、生駒 今日子、武田 泰生、山田 勝士、岸田 想子、飯島 幹雄、平野 宏文、岸田 昭世

Expression of Wnt Signaling Molecules in Human Glioma

第32回日本分子生物学会、横浜、2009.

2010年

325. 大磯 茂、池田 龍二、中村 和男、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士、仮屋蘭 博子
クルクミンはシスプラチン耐性咽頭がん細胞 KCP4のシスプラチン感受性を増強する
日本薬学会第130年会、岡山、2010.
326. 川村 英樹、徳田 浩一、松元 一明、宮之原 弘晃、西 順一郎
整形外科領域における手術部位検出菌と抗菌薬使用状況の関連
第84回日本感染症学会、京都、2010.
327. 茂見 茜里、松元 一明、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
アムホテリシンBリポソーム製剤の忍容性に関する検討
第58回日本化学療法学会総会、長崎、2010.
328. 松元 一明、竹下 鮎美、猪川 和朗、茂見 茜里、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、森川 則文、武田 泰生、山田 勝士
リネゾリドによって血小板減少が惹起される要因分析
第27回日本TDM学会、北海道、2010.
329. 金澤 直子、菊永 奈穂美、深水 知英、藤崎 裕子、松元 一明、下堂蘭 権洋、猪川 和朗、森川 則文、武田 泰生、山田 勝士
重症感染症患者におけるテイコプラニンの初回高用量負荷投与についての検討
第27回日本TDM学会、北海道、2010.
330. 横山 雄太、松元 一明、山本 裕之、井畔 能文、井本 浩、猪川 和朗、森川 則文、石田 志朗、岡野 善郎、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
心臓血管手術時におけるampicillin/sulbactamの手術部位感染予防投与法の至適化
第27回日本TDM学会、北海道、2010.
331. 小澄 俊博、猪川 和朗、森川 則文、金澤 直子、深水 知英、松元 一明、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
小児がん患者におけるメトトレキサートの母集団薬物動態～血清中および尿中濃度データの同時解析～
第27回日本TDM学会、北海道、2010.
332. 益田 将吾、二川 俊隆、西田 健太朗、田畑 祥、藤井 寛樹、武田 泰生、山田 勝士
癌浸潤・転移におけるコンタクチンの役割
第83回日本薬理学会年会、大阪、2010.
333. 神野 真幸、岐部 俊郎、中村 葉子、生駒 今日子、武田 泰生、山田 勝士、岸田 想子、飯島 幹雄、平野 宏文、岸田 昭世
ヒトグリオーマにおけるWntシグナルの作用解析(細胞運動を中心とする)
平成22年度日本生化学会九州支部例会、鹿児島、2010.
334. 徳留 麻美、菅原 英輝、柴田 由香里、牛之濱 風見、藤崎 裕子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
6年制薬学教育での「がん性疼痛治療」に関する実務実習プログラムの導入と評価
第4回日本緩和医療薬学会年会、鹿児島、2010.
335. 松下 格司、小玉 哲史、落合 美智子、菅原 英輝、松井 竜太郎、武元 明子、馬場 美穂子
緩和ケアチームとして推奨した鎮痛補助薬の内容と効果
第4回日本緩和医療薬学会年会、鹿児島、2010.
336. 大納 哲也、星野 一、米満 亨、永田 悦朗、松永 明、上村 裕一、松下 格司、落合 美智子、菅原 英輝、中野 一司、五郎 丸毅
大量のフェンタニル貼付剤をオピオイドローテーションとサドルブロックでコントロールした旧肛門部痛の一症例
第4回日本緩和医療薬学会年会、鹿児島、2010.
337. 池田 龍二
ゲムシタピン耐性非小細胞肺癌細胞の耐性化機構
第4回日本緩和医療薬学会年会、鹿児島、2010.
338. Kondo, T., Matsumoto, K., Yamaguchi, T., Ueno, K., Takeda, Y., Yamada, K.
Analysis for the effect of pharmaceutical education about diabetes mellitus by pharmacists to medical staff.
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.

339. Sugawara, H., Tokudome, A., Shibata, Y., Shimodozono, Y., Takeda, Y., Yamada, K.
Propose to take practical training program about cancer pain control in the six-year pharmaceutical education course and its evaluation.
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.
340. Takeda, Y.
Molecular mechanism for neuropathic pain induced by anti-cancer drug paclitaxel.
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.
341. 有馬 純子、有馬 由佳、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
がん化学療法レジメンオーダーリングシステム導入の問題点
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.
342. 西 八重乃、藤崎 裕子、徳留 麻美、菅原 英輝、下堂蘭 権洋、山口 辰哉、武田 泰生、山田 勝士
アプレピタント、パロノセトロンおよびデキサメタゾンの3剤併用制吐療法を行った胃がん化学療法の評価
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.
343. 金澤 正智、松元 一明、財間 富士子、徳永 浩美、川原 成一、寿 伸一郎、山田 勝士
鹿児島県内の医療施設での後発医薬品に関する実態調査
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.
344. 柴田 由香里、深水 知英、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
疑義照会データベースの解析と実務実習教育プログラムへの応用
第20回日本医療薬学会年会、千葉、2010.
345. 河内 明夫、柴田 由香里、富重 恵利紗、鳴海 恵子、園田 純一郎、高田 洋子、山田 勝士、本屋 敏郎
地域住民を対象とした調剤報酬講義とその効果
医療薬学フォーラム2010/第18回クリニカルファーマシーシンポジウムイン、広島、2010.
346. 重永 明恵、武田 恵視、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
さらなる調剤エラー減少への試み - 調剤支援情報の処方せん表示について -
医療薬学フォーラム2010/第18回クリニカルファーマシーシンポジウムイン、広島、2010.
347. Takeda, Y., Matsumoto, K., Takeshita, A., Ikawa, K., Morikawa, N., Yamada, K.
Pharmacokinetic analysis for linezolid-induced thrombocytopenia.
第25回日本薬物動態学会年会、東京、2010.
348. 柴山 良彦、田口 深雪、池田 龍二、古川 龍彦、武田 泰生、山田 勝士
抗がん薬耐性細胞におけるマイクロ RNA の発現変動
第37回日本トキシコロジー学会年会、沖縄、2010.
349. 深水 知英、大脇 哲洋、出口 尚寿、甲斐 敬子、佐藤 香奈子、福田 ゆかり、落司 治代、徳留 麻美、
加治 建、高松 英夫、福枝 幹雄、山田 勝士
小腸大量切除後患者へNST が介入した1症例
第2回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会、久留米、2010.
350. 新塘 麻奈、松元 一明、池田 龍二、牛山 美奈、横山 雄太、武田 泰生、石神 純也、前村 公成、
有上 貴明、夏越 祥次、山田 勝士
5-fluorouracil の血中濃度および遺伝子診断に基づいた投与量に関する検討
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
351. 鬼丸 貴裕、二川 俊隆、益田 将吾、末廣 淑子、山口 沙織、武田 泰生、山田 勝士
脳形成過程における Contactin associated protein(Caspr)4の機能解析
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
352. 山口 沙織、益田 将吾、二川 俊隆、鬼丸 貴裕、末廣 淑子、武田 泰生、山田 勝士
グリオーマ細胞における Contactin associated protein1(Caspr1) の機能解析
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
353. 田口 深雪、柴山 良彦、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士
抗がん薬耐性細胞におけるマイクロ RNA の発現とその役割
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
354. 高山 明子、和田 忠久、田上 聖徳、王 宇清、三井 薫、武田 泰生、山田 勝士、小賤 健一郎
革新的な癌治療薬を目指したオリジナルの癌特異的増殖型アデノウイルスの開発
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
355. 中山 尚子、浅川 明弘、牛飼 美晴、武田 泰生、山田 勝士、乾 明夫
Kisspeptin の摂食に対する影響
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
356. 池田 龍二、武田 泰生、牛山 美奈、山口 辰哉、下堂蘭 権洋、山田 勝士
現場の薬剤師が実践している研究活動と6年制薬学生への期待 - 抗がん剤耐性機序の解明に向けて -
第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、2010.
357. 末廣 淑子、二川 俊隆、益田 将吾、鬼丸 貴裕、山口 沙織、武田 泰生、山田 勝士

脳形成過程における Amyloid Precursor Protein(APP) の機能解析

第63回日本薬理学会西南部会、鹿児島、2010.

358. 神野 真幸、岸田 想子、岐部 俊郎、生駒 今日子、飯島 幹雄、平野 宏文、徳留 舞、陳 琳、郡山 千早、
武田 泰生、山田 勝士、有田 和徳、岸田 昭世
ヒトグリオーマ浸潤活性における Wnt シグナルの作用機序
第63回日本薬理学会西南部会、鹿児島、2010.
359. 俣木 博徳、池田 龍二、田畑 祥、田實 裕介、西澤 由紀彦、南 謙太郎、山口 辰哉、牛山 美奈、
山本 雅達、古川 龍彦、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士
抗癌剤によって誘導される major vault protein (MVP) の発現亢進機構の解明
第63回日本薬理学会西南部会、鹿児島、2010.
360. 新川 純平、神戸 悠輝、井上 和彦、栗原 崇、武田 泰生、山田 勝士、宮田 篤郎
中枢神経への高脂肪食の影響に関与する受容体の解析
第63回日本薬理学会西南部会、鹿児島、2010.
361. 梶木 文郎、原口 みさ子、武田 泰生、山田 勝士、小澤 政之
胚性癌腫細胞の分化にともなう細胞接着分子を中心とした分子マーカーの発現の機序について
第63回日本薬理学会西南部会、鹿児島、2010.
362. Kamino, M., Kishida, M., Kibe, T., Ikoma, K., Iijima, M., Hirano, H., Tokudome, M., Chen, L., Koriyama, C.,
Takeda, Y., Yamada, K., Arita, K., Kishida, S.
Wnt-5a Signaling is Correlated with Infiltrative Activity in Human Glioma by Inducing Cellular Migration
and MMP-2
第33回日本分子生物学会、神戸、2010.
363. 柴山 良彦、田口 深雪、池田 龍二、古川 龍彦、菅原 満、井関 健、武田 泰生、山田 勝士
マイクロ RNA126、210が抗がん薬感受性に及ぼす影響
第31回日本臨床薬理学会年会、京都、2010.
364. 新田 哲也、池田 龍二、上川 善昭、坂元 亮一、永山 知宏、向井 洋、山口 辰哉、杉原 一正
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院口腔外科における注射用抗菌薬の使用状況
第30回日本歯科薬物療法学会、東京、2010.

2011年

365. 金澤 直子、松元 一明、茂見 茜里、屋地 慶子、下堂 蘭 権洋、郡山 豊泰、宮之原 弘晃、武田 泰生、
山田 勝士
Clostridium difficile トキシン陽性患者の患者背景および治療効果に関する検討
日本嫌気性菌感染症研究会、兵庫、2011.
367. 横山 雄太、松元 一明、山本 裕之、井畔 能文、井本 浩、猪川 和朗、森川 則文、石田 志朗、
岡野 善郎、渡辺 英里香、下堂 蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
心臓血管手術の人工心肺使用下における ampicillin/sulbactam の手術部位感染予防投与法の至適化
日本薬学会第131年会、静岡、2011.

V その他 (Proceeding, Letter, 班会議報告等)

1978年

1. 古川 達雄、山田 勝士
Litium の作用と serotonergic neuron
精神神経薬理シンポジウム、4、24-30、1978.
2. 山田 勝士、古川 達雄
長時間作用型 fluphenazine の中枢作用について
精神神経薬理シンポジウム、5、51-63、1978.

1981年

3. 牛島 逸子、山田 勝士、古川 達雄
Thyrotropin releasing hormone の行動作用とその神経機構
精神神経薬理シンポジウム、7、14-34、1981.

1985年

4. 山田 勝士、古川 達雄

ラットにおけるあくび行動発現の神経機構について
精神神経薬理シンポジウム、11、65-76、1985.

1987年

5. 古川 達雄、山田 勝士、松尾 直裕、熊谷 雅之、永島 真理子、福田 健夫
抗精神病薬による $\alpha 1$ 受容体を介する断頭けいれんの抑制
精神神経薬理シンポジウム、13、32-45、1987.

1988年

6. 古川 達雄、山田 勝士、松本 信一郎、永島 真理子、堂前 真理子
新しい抗精神病薬としてのドパミン D2特異的作動薬について
精神神経薬理シンポジウム、14、54-68、1988.

1994年

7. 山口 辰哉
服薬に関する説明について
第27回全国統一薬事講習会、鹿児島、1994.
8. 平川 亘、門田 紘輝、朝倉 哲彦、横山 俊一、寺田 耕作、春園 明宏、平野 宏文、八代 一孝、
窪田 優子、下堂 権洋
MTX 封入 Fibrin Glue による脳腫瘍に対する定位的局所化学療法の試み
機能的脳神経外科、33、160-166、1994.
9. 下堂 権洋、児島 誠治、本屋 敏郎、山田 勝士、宇都 由美子、熊本 一朗
薬品管理業務のシステム化と問題点 - 特に注射オーダーリングと薬品管理支援システムについて -
平成5年度国立大学付属病院医療情報処理部門連絡会議、医療情報システムシンポジウム演題抄録集、
216-219、1994.
10. 宇都 由美子、永松 巖、下堂 権洋、熊本 一朗
鹿児島大学の物流システム ~ 適正な医療費の執行を目指して ~
平成5年度国立大学付属病院医療情報処理部門連絡会議、医療情報システムシンポジウム演題抄録集、
103-106、1994.
11. 下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、松崎 聖一、宇都 由美子、熊本 一朗
薬剤疫学の医療業務への応用
医療情報学連合大会論文集、14、221-224、1994.

1995年

12. 山口 辰哉、本屋 敏郎、山田 勝士、安部 智、野添 新一、田中 弘允、前田 博子
薬剤管理指導業務において経験した副作用に対する取り組み
第14回臨床薬理阿蘇九重カンファレンス、大分、1995.
13. 下堂 権洋、下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
DI 業務の変遷とインターネットへの展開
医療情報システムシンポジウム演題論文集、139-142、1995.
14. 下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、松崎 聖一、熊本 一朗、宇都 由美子
多剤投与外来患者における処方背景の検討
医療情報学連合大会論文集、15、869-872、1995.
15. 下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、松崎 聖一、宇都 由美子、熊本 一朗
外来処方オーダーリング10年間の推移
平成6年度国立大学付属病院医療情報処理部門連絡会議、医療情報システムシンポジウム演題抄録集、
177-180、1995.
16. 中村 和男、新川 輝俊、山田 勝士、夏越 祥次、熊之細 透、愛甲 孝
ポリ DL-乳酸による徐放性抗癌剤の有用性について
日本神経精神薬理学雑誌、15、544、1995.

1996年

17. 中村 和男、仮屋 博子、山田 勝士、豊平 均、久保 博昭、森山 由紀則、平 明
塩酸サルボグレラートの血小板凝集抑制効果の測定法について
第1回九州セロトニン研究会、福岡、1996.
18. 久保 博昭、有川 和宏、豊平 均、平 明、中村 和男、仮屋 博子
慢性動脈閉塞症に対する塩酸サルボグレラートの効果に関する検討
第1回九州セロトニン研究会、福岡、1996.

19. 河内 明夫、岡田 三津子、岩崎 克典、中西 博、本屋 敏郎、山本 健二、山田 勝士、矢澤 一良、藤原 道弘
 ラットの学習・記憶におけるドコサヘキサエン酸 (DHA) の関与
 第2回行動薬理研究会ならびに神経行動薬理若手研究者の集い5周年記念シンポジウム、仙台、1996.
20. 柴山 良彦、本屋 敏郎、山田 勝士、前田 稔
 PET 応用をめざしたレセプターイメージングリガンドの開発
 ニューロトランスミッター懇話会、鹿児島、1996.
21. 河内 明夫、宮下 正日出、本屋 敏郎、山田 勝士
 胴体回転行動におけるバソプレッシン受容体の役割に関する研究
 「脳機能に関与するバソプレッシン受容体サブタイプの同定から新規脳機能改善薬をめざす」試験研究 (B) 班会議、福岡、1996.
22. Tokuda, K., Natsugoe, S., Shimada, M., Kumanohoso, T., Yoshizawa, H., Uemura, Y., Hatate, Y., Nakamura, K., Yamada, K., Nedachi, M., Aikou, T.
 Cisplatin incorporated polylactide microspheres blending with water-soluble polymers.
 Proceed Intern Symp Control Rel Bioact Mater, 23: 385-386, 1996.
23. Shimada, M., Natsugoe, S., Tokuda, K., Kumanohoso, K., Nakamura, K., Yamada, K., Aikou, T.
 Enhanced efficacy of bleomycin adsorbed on silica particles against lymph node metastasis.
 Proceed Intern Symp Control Rel Bioact Mater, 23: 387-388, 1996.
24. 下堂 権洋
 在宅患者のためのシステム検討
 日本ME学会専門別研究会「在宅医療とME技術」研究報告集、4、16-19、1996.
25. 下堂 権洋、下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士、村永 文学、宇都 由美子、熊本 一朗
 DI業務の変遷とインターネットへの展開
 平成7年度国立大学付属病院医療情報処理部門連絡会議、医療情報システムシンポジウム演題抄録集、139-142、1996.
26. 下堂 権洋、村永 文学、熊本 一朗、下園 拓郎、宇都 由美子、本屋 敏郎、山田 勝士
 WWW を利用した医薬品情報の検索と提供
 医療情報学連合大会論文集、16、869-872、1996.

1997年

27. 中村 和男、仮屋 博子、田中 絃輝、浜田 信男、門野 潤、豊平 均、山田 勝士、平 明
 腹部外科手術後のサイトカインおよび rapid turnover protein (RTP) の推移について
 第22回九州外科代謝・栄養研究会、鹿児島、1997.
28. 河内 明夫、宮下 正日出、郷司 敦司、本屋 敏郎、山田 勝士
 Arg8-vasopressin 及び endothelin-1の脳室内投与による胴体回転行動
 鹿児島ブレインサイエンスカンファランス、鹿児島、1997.
29. 下堂 権洋 (分担執筆)
 在宅患者の投薬のためのシステムの検討
 在宅医療推進のための技術的支援の展開に関する研究 (研究成果報告書)、東京、財団法人セコム科学技術振興財団、41-47、1997.
30. 下堂 権洋、下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士、熊本 一朗
 鹿児島大学病院における抗生物質の使用実態
 薬剤疫学、2、S50-S51、1997.
31. 下堂 権洋、仮屋 博子、本屋 敏郎、山田 勝士、宇都 由美子、熊本 一朗
 院内製剤・消毒薬オーダリングシステムの開発
 平成8年度国立大学付属病院医療情報処理部門連絡会議、医療情報システムシンポジウム演題抄録集、103-106、1997.
32. 清水 秀行、土屋 文人、古川 裕之、下堂 権洋、堀口 雅巳、永井 肇
 用法入力標準化のための多施設比較調査
 医療情報学連合大会論文集、17、232-233、1997.
33. 下堂 権洋、本屋 敏郎、山田 勝士、宇都 由美子、熊本 一朗
 注射オーダリングシステムの運用評価 - 新たなシステム構築に向けての提案 -
 医療情報学連合大会論文集、17、246-247、1997.
34. 中村 和男、山田 勝士
 鹿児島大学病院における薬剤管理指導業務の変遷
 日本薬剤学会報、13、1、1997.

1998年

35. 中村 和男、仮屋蘭 博子、山田 勝士
外科病棟における薬剤管理業務～人工弁置換術後患者の場合～
Hospita、8、14-15、1998.
36. 下堂 権洋
ワークショップ報告－薬物療法の評価－
薬剤疫学、3、150-151、1998.
37. 下堂 権洋、若松 弘文、本屋 敏郎、山田 勝士
血液製剤管理システムの開発に向けて
平成9年度国立大学付属病院医療情報処理部門連絡会議、医療情報システムシンポジウム演題抄録集、
121-124、1998.
38. 下堂 権洋、熊本 一朗、本屋 敏郎、山田 勝士、岡田 好一、春木 康夫、佐々木 順子、石川 澄、
大櫛 陽一
患者便益からみた薬剤情報提供の評価
医療情報学連合大会論文集、18、240-241、1998.
39. 仮屋蘭 博子、中村 和男、山下 珠代、新川 輝俊、豊平 均、森山 由紀則、久保 博昭、平 明、
山田 勝士
In vitro におけるシロスタゾールの血小板凝集抑制効果と P-selectin 濃度との関連性について
臨床薬理、29、367-368、1998.
40. 中村 和男、仮屋蘭 博子、豊平 均、森山 由紀則、平 明、山田 勝士
サイトカイン、CRP および RTP による術後早期の栄養管理について
臨床薬理、29、163-164、1998.
41. 河内 明夫、宮下 正日出、本屋 敏郎、山田 勝士
アンジオテンシンタイプ1 (AT1) 受容体拮抗薬ロサルタンの脳室内投与による胴体回転行動
第23回鹿児島てんかん研究会、鹿児島、1998.

1999年

42. 山口 辰哉
多剤耐性肺結核症における副作用対策の1例
FAX.DI ニュース、No.744、1999.
43. 下園 拓郎、川原 陽子、大磯 茂、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、本屋 敏郎、山田 勝士
鹿児島大学病院における院内製剤の実態について
九州薬学会報、53、89-92、1999.
44. 下園 拓郎、本屋 敏郎、山田 勝士
非ステロイド性消炎鎮痛剤の適正使用と医薬品情報
鹿児島県病院薬剤師会臨床薬学研究会、鹿児島、1999.
45. 山口 辰哉
服薬指導で経験したアスピリン喘息・テオフィリンの相互作用
第1回鹿児島喘息患者指導セミナー、鹿児島、1999.
46. 下堂 権洋、熊本 一朗、本屋 敏郎、山田 勝士
副作用経験の有無によるコンプライアンスの違い
薬剤疫学、4、S56-S57、1999.
47. 中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、山下 珠代、森山 由紀則、豊平 均、四元 剛一、
平 明、山田 勝士
H₂-受容体拮抗剤の血小板凝集および P-セレクチン放出に及ぼす影響
臨床薬理、30、167-168、1999.
48. 仮屋蘭 博子、中村 和男、森山 由紀則、豊平 均、四元 剛一、平 明、山田 勝士
塩酸サルボグレラートの血小板凝集抑制作用とセロトニンおよび P-セレクチン放出との関連性
臨床薬理、30、161-162、1999.
49. 郷司 敦司、小迫 知弘、河内 明夫、本屋 敏郎、山田 勝士
ラットにおける体温調節に対するドパミン D1/D3受容体の関与について
第13回鹿児島ブレインサイエンスカンファレンス、鹿児島、1999.
50. 大磯 茂、本屋 敏郎、下堂 権洋、山崎 陽子、梶 恭子、山田 勝士
バンコマイシン処方モニタリング及び適正使用推進活動による同薬剤使用状況の変化
第24回西日本薬剤学研究会、九重、1999.

2000年

51. 下堂 権洋、柴山 良彦、本屋 敏郎、山田 勝士、熊本 一郎

くすりに関するコミュニケーションツール「薬剤情報提供文書」の効果的な利用に関する研究 薬剤情報提供文書がもたらす患者への便益

鹿児島大学教育研究学内特別経費 全学プロジェクト 新しい関係性を求めて - コミュニケーションの諸相 -、2000.

52. 中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、森山 由紀則、山田 勝士
シロスタゾールの抗血小板作用と顆粒内容物放出抑制作用について
臨床薬理、31、53-54、2000.
53. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、森山 由紀則、山田 勝士
P-セレクチンおよび血小板内サイクリック AMP に及ぼすシロスタゾールの影響
臨床薬理、31、45-46、2000.

2001年

54. 山田 勝士 監修、下堂蘭 権洋 編集
IT で変わる薬剤師実務 IT 導入の目的と活用、4-5、第一製薬、2001.
55. 下堂蘭 権洋 (分担執筆)
薬剤師の実務に生かせる情報検索 「医薬品の評価」30-36、三共株式会社、2001.
56. 下堂蘭 権洋
IT 関連の話題から 医療薬剤業務への IT 導入と活用、BS 放送「病院薬剤師の時間」、2001.
57. 山口 辰哉
治験の現状と問題点：治験推進のための解決策を求めて；現場から
治験推進協議会 九州・沖縄地区ワーキンググループ会議、福岡、2001.
58. 柴山 良彦、池田 龍二、栗田 美穂、久津輪 久世、本屋 敏郎、山田 勝士
St John's Wort (*Hypericum perforatum*) 慢性投与による多剤耐性関連蛋白質、CYP1A2およびグルタチオン S 転移酵素 P の発現誘導に関する検討
第26回西日本薬剤学研究会、九重、2001.
59. 園田 純一郎、園田 俊郎
HTLV-I Provirus Load in Peripheral Blood of HTLV-I Carriers is Decreased by Green Tea Drinking.
文部科学省特定領域研究「がん」6領域若手研究者ワークショップ、長野、2001.
60. 山田 勝士
院外処方せん発行と保険薬局との連携
平成13年度国公私立大学病院実務研修会、東京、2001.
61. 下畝 千恵
鹿児島大学病院薬剤部における調剤過誤対策
リスクマネジメント研修会、鹿児島、2001.
62. 有馬 純子
お薬の効果と飲む時間～経口糖尿病治療薬編～
第13回天保山松風会夏季合宿講習会、鹿児島、2001.
63. 仮屋蘭 博子、中村 和男、新川 輝俊、山口 辰哉、大磯 茂、坂田 隆造、山田 勝士
コルフォルシンダロパート血小板機能に及ぼす影響
臨床薬理、32、31S-32S、2001.
64. 中村 和男、仮屋蘭 博子、新川 輝俊、山口 辰哉、増田 宏、坂田 隆三、山田 勝士
アスピリンの血小板凝集に及ぼす影響
臨床薬理、32、243S-244S、2001.
65. 古川 裕之、北川 明、工藤 正純、中尾 泰史、手島 みどり、山口 辰哉、西原 茂樹、比嘉 保、手塚 春樹、宮本 謙一、中野 眞汎
被験者の治験に対する意識に関する多施設共同調査の試み
臨床薬理、32、183S-184S、2001.
66. 山口 辰哉、本屋 敏郎、中村 和男、山田 勝士、時任 紀明、鴨川 泰之、竹中 俊宏、山口 昭彦、鄭 忠和、前田 博子
ベラプロスト投与により肺高血圧野著明な改善が得られ社会復帰に成功した原発性肺高血圧症の1症例
臨床薬理、32、225S-226S、2001.
67. 小迫 知弘、河内 明夫、程 世斌、本屋 敏郎、口岩 聡、中河 志朗、山田 勝士
c-Fos 蛋白を指標とした Endothelin-1誘発胴体回転行動発現機構の解析
第10回神経行動薬理若手研究者の集い、船橋、2001.
68. 小迫 知弘、河内 明夫、程 世斌、本屋 敏郎、口岩 聡、中河 志朗、山田 勝士
c-Fos タンパクを指標とした内因性ペプチド誘発胴体回転行動発現機構の解析
第10回ニューロトランスミッター懇話会、鹿児島、2001.
69. 山口 辰哉、本屋 敏郎、大磯 茂、中村 和男、山田 勝士

2002年

70. 山田 勝士
医療過誤防止と薬剤部の役割
平成14年度国公立大学病院実務研修会、東京、2002.
71. 山田 勝士
リスクマネジメント(2)～疑義照会と薬薬連携～
BS放送「病院薬剤師の時間」、2002.
72. 下堂 権洋
病院実習の役割とあり方 病院実習を受入れる大学病院薬剤部ならびに県病院薬剤師会の立場から
BS放送「病院薬剤師の時間」、2002.
73. 下堂 権洋
医療施設における薬剤疫学 病院薬剤師と薬剤疫学との関わり
日病薬学術小委員会・日本RAD-AR協議会 第3回薬剤疫学セミナー、小郡、2002.
74. 下堂 権洋
薬薬連携におけるリスクマネジメント
鹿児島県薬剤師会生涯教育研修会、鹿児島、2002.
75. 下堂 権洋
医療施設における薬剤疫学 病院 薬剤師と薬剤 疫学との関わり
徳島文理大学大学院セミナー、2002.
76. 仮屋 博子、中村 和男、鮎川 修、鬼丸 俊司、山田 勝士
人工弁置換術後遠隔期における抗血栓療法の評価
第21回臨床薬理阿蘇九重カンファレンス、大分、2002.
77. 仮屋 博子、中村 和男、鮎川 修、山田 勝士、菰方 輝夫、浜田 信男、坂田 隆造
周術期におけるTNF RIおよびRIIと各種サイトカインの推移
第23回鹿児島栄養代謝研究会、鹿児島、2002.
78. 山口 辰哉
服薬指導ケーススタディー アスピリン喘息(内科)
Clinical Pharmacist (BANYU)、39、6-7、2002.
79. 山口 辰哉
鹿児島大学医学部附属病院の治験事務局の組織と役割
平成14年度第2回新GCPのもとでの治験推進研修会、福岡、2002.
80. 下堂 権洋(分担執筆)
薬剤師の実務に生かせる情報検索 改訂版「医薬品の評価」30～35、三共株式会社、2002.
81. 下堂 権洋(分担執筆)
MRのための実践薬剤疫学 12-15、日本RAD-AR協議会、2002.
82. 下園 拓郎、山田 勝士
薬剤師の使命と業務
平成14年度薬剤師指導者伝達講習会、鹿児島、2002.
83. 園田 純一郎、小迫 知弘、屋敷 伸治、李 洪川、郡山 千早、吉永 光弘、秋葉 澄伯、永田 行博、
山田 勝士、園田 俊郎
緑茶成分によるHTLV-1プロウイルスDNA量の減少効果
日本がん分子疫学研究会、鹿児島、2002.
84. 園田 純一郎、小迫 知弘、屋敷 伸治、李 洪川、藤吉 利信、郡山 千早、吉永 光弘、山元 志奈子、
秋葉 澄伯、永田 行博、山田 勝士、園田 俊郎
緑茶飲用によるATLの発症予防－ATLハイリスクのHTLV-1プロウイルス抑制効果－
日本がん予防研究会、日本がん疫学研究会、熊本、2002.
85. 河内 明夫、小迫 知弘、程 世斌、本屋 敏郎、口岩 聡、中河 志朗、山田 勝士
ラットにおける薬物誘発胴体回転行動に関する研究
第11回神経行動薬理若手研究者の集い、福岡、2002.
86. 小迫 知弘、河内 明夫、程 世斌、本屋 敏郎、口岩 聡、中河 志朗、山田 勝士
c-Fosタンパクを指標としたラットにおける薬物誘発胴体回転行動発現機構の解明
第6回活性アミンに関するワークショップ、神戸、2002.
87. 仮屋 博子、中村 和男、新川 輝俊、鬼丸 俊司、川原 陽子、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
非ステロイド抗炎症薬の血小板機能抑制作用とシクロオキシゲナーゼ選択性との関連性
臨床薬理、33、303S-304S、2002.

2003年

88. 鬼丸 俊司、中村 和男、仮屋蘭 博子、有馬 純子、増田 宏、井畔 能文、坂田 隆造、政元 いずみ、丸山 征郎、山田 勝士
全血血小板凝集能およびフローサイトメトリーを用いた閉塞性動脈硬化症の血小板機能改善の評価
第8回九州セロトニン研究会、福岡、2003.
89. 山口 辰哉
鹿児島大学医学部附属病院における治験の現状
鹿児島大学医学部附属病院治験推進セミナー、鹿児島、2003.
90. 山口 辰哉
鹿児島大学医学部附属病院におけるモニタリングと監査の実際
平成15年度第1回新 GCP のもとの治験推進研修会、福岡、2003.
91. 山口 辰哉
鹿児島大学医学部附属病院における治験の現状
第3回財団法人慈愛会薬剤師研修会（今村病院分院）、鹿児島、2003.
92. 下園 拓郎、山田 勝士
適正使用推進のための使用実態調査
生涯教育研修会、鹿児島、2003.
93. 武田 泰生、渡邊 和忠、山田 勝士
神経接着分子 NB-2と聴覚機能
第28回鹿児島てんかん研究会、鹿児島、2003.
94. 柴山 良彦、Vance, L、李 順姫、武田 泰生、山田 勝士
接着分子 L1の軸索伸長における役割 - L1細胞内ドメインの軸索伸長における重要性 -
第1回鹿児島ニューロフォーラム、鹿児島、2003.
95. 池田 龍二、古川 龍彦、住澤 知之、原口 みさ子、大磯 茂、山田 勝士、井ノ上 逸朗、秋山 伸一
チミジンホスホリラーゼ (TP) は抗癌剤によって誘導されるアポトーシスに対して抵抗性を賦与する
日薬理誌、122、補冊1、84-86、2003.
96. 下園 拓郎、山田 勝士
薬剤適正使用推進のための使用実態調査
九州山口薬学大会記念誌、96-97、2003.
97. 牛之濱 風見、柴山 良彦、本屋 敏郎、山田 勝士
ラットにおける MRP2発現量に及ぼす Methotrexate の影響
臨床薬理、34、105S、2003.

2004年

98. 柴田 由香里、山口 辰哉、大磯 茂、小倉 さと子、山田 勝士、高松 英夫
鹿児島大学病院における CRC 業務
平成15年度薬剤師治験コーディネーター養成フォローアップ研修会、東京、2004.
99. 柴山 良彦、池田 龍二、宝来 佐和子、武田 泰生、山田 勝士
西洋オトギリソウと薬物相互作用
平成16年度科学技術振興調整費報告会「漢方有効性の検証方法の確立と応用展開」、鹿児島、2004.
100. 山口 辰哉
鹿児島大学病院における重篤な有害事象への対応
鹿児島大学病院治験推進セミナー、鹿児島、2004.
101. 山口 辰哉
歯科の薬剤について
歯科研修医臨床研修セミナー、鹿児島、2004.
102. 牛山 美奈、菅原 英輝、井上 和彦、山田 勝士、宮田 篤郎
マウス心臓に発現する PACAP 特異的受容体 PAC1バリエーションの機能解析
第1回 GPCR 研究会、東京、2004.
103. 牛山 美奈、菅原 英輝、井上 和彦、山田 勝士、宮田 篤郎
マウス心臓に発現する PACAP 特異的受容体 PAC1バリエーションの機能解析
第32回薬物活性シンポジウム～習慣生活病への創薬アプローチ～、大阪、2004.
104. 柴田 由香里、山口 辰哉、大磯 茂、小倉 さと子、山田 勝士、高松 英夫
鹿児島大学病院における CRC 業務
平成15年度薬剤師治験コーディネーター養成フォローアップ研修会、東京、2004.
105. 池田 龍二、吉田 健一、古川 賢一、山口 辰哉、牛山 美奈、武田 泰生、中村 和男、山田 勝士、井ノ上 逸朗
OPLL 靱帯細胞の骨芽細胞への分化制御機構の解明

-
- 第29回鹿児島てんかん研究会、鹿児島、2004.
106. 武田 泰生、山田 勝士
ミエリン形成および高次脳機能における神経接着分子 NB-3の役割
第2回鹿児島ニューロフォーラム、鹿児島、2004.
107. 武田 泰生、川野 仁、山田 勝士
縫線核 (raphe nuclei) の形成に関わる substance P 受容体-神経-グリア細胞相互作用を介して-
第18回鹿児島ブレインサイエンスカンファレンス、鹿児島、2004.
108. 山口 辰哉、柴田 由香里、大磯 茂、小倉 さと子、山田 勝士、高松 英夫
鹿児島大学病院における重篤な有害事象への対応
臨床薬理、35、76S、2004.
109. 有馬 純子、中村 和男、仮屋蘭 博子、武田 泰生、四元 剛一、井畔 能文、坂田 隆造、山田 勝士
ヘパリン起因性血小板減少症と血小板凝集能について
臨床薬理、35、153S、2004.

2005年

110. 牛山 美奈、菅原 英輝、井上 和彦、山田 勝士、宮田 篤郎
マウス心臓に発現する PACAP 特異的受容体 PAC1バリエーションの機能解析
第2回 GPCR 研究会、東京、2005.
111. 桜井 都衣、霜田 靖、武田 泰生、渡邊 和忠
脳の発達過程における神経認識分子 NB-3の役割
分子生物学会春季シンポジウム、新潟、2005.
112. 山口 辰哉
歯科の薬剤と治験について
歯科研修医臨床研修セミナー、鹿児島、2005.
113. 宝来 佐和子、渡邊 泉、武田 泰生、山田 勝士、阿部 慎太郎、安藤 哲夫、秋葉 澄伯、久野 勝治
奄美大島で捕獲されたジャワマンゲースにおける Hg 蓄積と細胞内分布の解析
第14回環境化学討論会、大阪、2005.
114. 下園 拓郎、山田 勝士
大学院教育及び高次医療に関わる病院における薬剤師育成のための臨床教育の習得に関する研究
平成16年度医薬品、医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究推進事業報告書 (P835~ P850)、2005.

2006年

115. 松元 一明、加世田 良一、福岡 龍一、千田 直三、下堂蘭 権洋、中村 千鶴子、若松 弘文、山田 勝士
医師に対する薬剤師の疑義照会の実態と問題点
九州薬学会会報、60、71-75、2006.
116. 武田 泰生、大磯 茂、二川 俊隆、西田 健太郎、石原 義久、山田 勝士
皮質形成異常を伴う症候性てんかんとコンタクチン関連蛋白質 Caspr2
第31回鹿児島てんかん研究会、鹿児島、2006.
117. 西田 健太郎、長澤 一樹、武田 泰生、藤本 貞毅、山田 勝士
培養神経細胞におけるホスホリパーゼCアイソザイムのストレス応答性に関する検討、
第4回鹿児島ニューロフォーラム、鹿児島、2006.
118. 池田 龍二、車 暁芳、牛山 美奈、山口 辰哉、武田 泰生、柴山 良彦、中村 和男、古川 龍彦、
秋山 伸一、山田 勝士
セファランチンによる抗癌剤のアポトーシス増強作用とそのメカニズム
第32回アルカロイド研究会、東京、2006.
119. 武田 泰生
人生のナビゲーター
週刊 薬事新報「人と人」 通巻第2424号、38、2006.
120. 武田 泰生
ミエリン形成ならびに跳躍伝導に関わる神経接着分子群
第70回産総研 RICE セミナー、産業技術総合研究所、大阪、2006.

2007年

121. 柴山 良彦、吉川 好美、西田 健太郎、武田 泰生、山田 勝士
塩酸イリノテカンおよびエトポシドが薬物トランスポーターの発現に及ぼす影響
第1回トランスポーター研究会九州部会、熊本、2007.
122. 深水 知英、松元 一明、あべ松 和子、福永 直子、下堂蘭 権洋、山口 辰哉、武田 泰生、山田 勝士
遺伝子多型が関連したポリコナゾールによる肝障害

-
- 第26回臨床薬理阿蘇九重カンファレンス、福岡、2007.
123. 茂見 茜里、松元 一明、深水 知英、福永 直子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、川平 和美、山田 勝士
フェニトイン中毒患者の症例と薬物血中濃度モニタリング (TDM) の重要性
第32回鹿児島てんかん研究会、鹿児島、2007.
124. 深水 知英、福永 直子、松元 一明、大磯 茂、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
鹿児島大学病院における抗 MRSA 薬に対する TDM への取組みについて
日本 TDM 学会第26回セミナー、鹿児島、2007.
125. 菅原 英輝、落合 美智子、吉本 男也、松井 竜太郎、馬場 美穂子、竹元 明子、小玉 哲史
一般病院における、緩和ケアチームのあり方～薬剤師の立場から～
鹿児島緩和ケアネットワーク第10回大会、鹿児島、2007.
126. 武田 泰生
第66回国際薬学会議 (FIP) 参加報告
東京都病院薬剤師会雑誌、56: 55-60、2007.
127. 武田 泰生
個人別医療に向けた期待される薬剤師の役割 - 医療・教育・研究 -
第305回愛媛県病院薬剤師会南与支部学習会、愛媛、2007.
128. 岩瀬 晴信、仮屋蘭 博子、池田 龍二、有馬 純子、山田 勝士、坂田 隆造、中村 和男
 ω -3系脂肪酸の免疫能および炎症反応に及ぼす影響
第9回応用薬理年会シンポジウム、東京、2007.

2008年

129. 武田 泰生
FIP2008 in Basel に参加して (学会報告)
日本病院薬剤師会雑誌、44: 1809-1811、2008.
130. 武田 泰生
FIP2008 in Basel に参加して
薬事日報、10月6日版19面、2008.
131. 武田 泰生
難治性てんかんとミエリン関連分子
第30回神経組織培養研究会、東京、2008.
132. 深水 知英、大脇 哲洋、出口 尚寿、加治 建、甲斐 敬子、佐藤 加奈子、鈴木 真由美、福田 ゆかり、
福永 直子、高松 英夫、山田 勝士
固形化補助食品リフランを用いた胃内固形化により、胃食道逆流を改善できた症例
第41回鹿児島栄養代謝研究会、鹿児島、2008.

2009年

133. 武田 泰生
TAG-1/APP 相互作用を介した神経分化制御機構
第30回神経組織培養研究会、神奈川、2009.
134. 武田 泰生
バイオ医療の夜明け
第5回鹿児島県曾於肝属地区病院薬剤師会研修会、鹿児島、2009.
135. 武田 泰生
バイオ医療の夜明け
第67回鹿児島県始良地区薬剤師会研修会、鹿児島、2009.
136. 松元 一明、竹下 鮎美、金澤 直子、茂見 茜里、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
リネゾリド投与によって血小板減少はどのように起こるの？
鹿児島 ICT ネットワーク、鹿児島、2009.
137. 茂見 茜里、松元 一明、屋地 慶子、下堂蘭 権洋、武田 泰生、宮之原 弘晃、川村 英樹、折田 美千代、
徳田 浩一、西 順一郎、山田 勝士
緑膿菌耐性化に及ぼすカルバペネム系抗菌薬使用量の影響
鹿児島 ICT ネットワーク、鹿児島、2009.
138. 二川 俊隆、益田 将吾、藤井 寛樹、鬼丸 貴裕、末廣 淑子、山口 沙織、Zhong-can, C., 武田 泰生、
山田 勝士
神経接着分子群の神経発生過程における機能解析
第28回臨床薬理阿蘇九重カンファレンス、熊本、2009.
139. 南 謙太郎、古川 龍彦、新里 能成、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士、秋山 伸一
Gemcitabine 耐性細胞での nucleoside transporter と ribonucleotide reductase の変化

-
- 第3回トランスポーター研究会九州部会、鹿児島、2009.
140. 二川 俊隆、益田 将吾、藤井 寛樹、鬼丸 貴裕、末廣 淑子、山口 沙織、Zhong-can, C., 武田 泰生、山田 勝士
神経接着分子 Contactin associated protein (Caspr) 4の機能解析
第3回トランスポーター研究会九州部会、鹿児島、2009.
141. 益田 将吾、二川 俊隆、西田 健太郎、田畑 祥、藤井 寛樹、武田 泰生、山田 勝士
肺腺癌細胞における接着分子コンタクチンの役割
第3回トランスポーター研究会九州部会、鹿児島、2009.
142. 田口 深雪、柴山 良彦、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士
抗がん薬耐性細胞におけるマイクロRNA30b、93、98、126、210 発現に及ぼす低酸素条件の影響
第3回トランスポーター研究会九州部会、鹿児島、2009.

2010年

143. 武田 泰生
薬学管理と栄養管理の接点 -医薬品・食品相互作用の妙-
平成21年度診療ガイドライン薬剤コース研修会、鹿児島、2010.
144. 武田 泰生
薬学管理 対 栄養管理 -動態学的相互作用の妙-
第58回北九州栄養薬物研究会、北九州、2010.
145. 松元 一明、金澤 直子、深水 知英、下堂蘭 権洋、武田 泰生、山田 勝士
最近10年間における抗てんかん薬使用状況の推移と血中濃度測定業務の変遷
第35回鹿児島てんかん研究会、鹿児島、2010.
146. 大磯 茂、池田 龍二、中村 和男、武田 泰生、秋山 伸一、山田 勝士、仮屋蘭 博子
シスプラチン耐性咽頭がん細胞 KCP-4における耐性機序の解析
第4回トランスポーター研究会九州部会、佐世保、2010.
147. 南 謙太郎、古川 龍彦、新里 能成、池田 龍二、武田 泰生、山田 勝士
Gemcitabine 耐性細胞での nucleoside transporter と ribonucleotide reductase の変化
第4回トランスポーター研究会九州部会、佐世保、2010.
148. 西澤 由紀彦、池田 龍二、田實 裕介、俣木 博徳、武田 泰生、古川 龍彦、牛山 美奈、山口 辰哉、車 暁芳、山本 雅達、松下 茂人、秋山 伸一、山田 勝士
チミジンホスホリラーゼ発現腫瘍での5-fluorouracil (5-FU) による thrombospondin-1 (TSP-1) 発現誘導
第4回トランスポーター研究会九州部会、佐世保、2010.
149. 佐多 照正、松元 一明、野間口 寛、久保井 康郎、田上 昭代、若松 健太郎、塚田 祥子、藤村 慎一、種子島 岩男
鹿児島県下7病院における抗菌薬使用量比較と適正使用への取り組み
鹿児島 ICT ネットワーク、鹿児島、2010.